琉球列島におけるイットウダイ科魚類相

江口慶輔[1]・本村浩之[2]

[1] 〒890–0065　鹿児島市郡元 1–21–30　鹿児島大学総合研究博物館（水産学研究科）
[2] 〒890–0065　鹿児島市郡元 1–21–30　鹿児島大学総合研究博物館

はじめに

キンメダイ目イットウダイ科魚類は，三大洋の熱帯から温帯域に広く分布する（Randall, 1998）．本科魚類は体が側偏し，比較的硬い鱗に被われる，目が大きい，腹鰭が胸鰭の下方にあり，1 棘 5–8 軟条，背鰭の棘部と軟条部の間に欠刻がある，臀鰭が 4 棘 7–16 軟条，および体色が基本的に赤色であることによって特徴づけられる（池田・中坊，2015）．本科魚類は，これまで日本からイットウダイ亜科 Holocentrinae 2 属 19 種，アカマツカサ亜科 Myripristinae 4 属 21 種が報告されており（林，2013），前者は前鰓蓋骨隅角部に強い棘をもつこと（後者はもたない）と臀鰭軟条数が 7–10 であること（10 以上）から後者と識別される（林，2013）．

琉球列島は大隅諸島から八重山諸島までの南北約 1,000 km からなり，同海域には熱帯性・亜熱帯性から温帯性のさまざまな魚類が分布しており，同海域が分布の北限あるいは南限となっている種もが多い．そのため，琉球列島におけるイットウダイ科魚類を明らかにすることは，魚類の多様性を知る上できわめて重要である．

イットウダイ科魚類は形態的に酷似した種が多く，写真のみに基づく正確な種同定を行うことが困難であり，同定には標本の調査が必要である．しかし，これまで琉球列島における標本に基づいたイットウダイ科魚類の包括的な分布調査は行われていない．

そこで，本研究では大隅諸島から八重山諸島までの琉球列島を調査地として，イットウダイ科魚類相を調査した．886 標本に基づいた正確な種の同定を行うとともに，今後の分類学的研究に寄与するために各種の記載を行った．

材料と方法

本研究では，鹿児島県大隅諸島から沖縄県八重山諸島までを琉球列島と定義し，宇治群島，草垣群島，尖閣諸島，大東諸島などは同列島に含めなかった．調査は採集，文献，および既存の標本に基づき，これらの記録を統合して目録を作製した．目録では，種毎に調査標本リスト，標本に基づく形態と色彩の記載，分布，および備考を記した．現地での採集調査は琉球列島の各島嶼で釣り，ダイビング，および水揚げされた漁獲物の買い取りによって行われた．標本調査は高知大学理学部（BSKU），鹿児島大学総合研究博物館（KAUM），宮崎大学農学部海洋生物環境学科（MUFS），国立科学博物館（NSMT），一般財団法人沖縄美ら島財団（URM），および横須賀市自然・人文博物館（YCM）に所蔵されている琉球列島から得られたイットウダイ科魚類を対象として行った．新規標本の作製，登録，撮影，および固定方法は本村（2009）に準拠した．

アカマツカサ属は Randall and Greenfield (1996)，イットウダイ属は Randall (1998)，ウケグチイットウダイ属は Shimizu and Yamakawa (1979)，エビスダイ属とリュウキュウエビス属は Randall et al. (1982) にそれぞれしたがい同定を行った．計数・計測も種の同定と同じ文献に基づき，標準体長は

Eguchi, K. and H. Motomura. 2016. Holocentrid fishes of the Ryukyu Islands, Japan. *Nature of Kagoshima* 42: 57–112.
✉ HM: the Kagoshima University Museum, 1–21–30 Korimoto, Kagoshima 890–0065, Japan (e-mail: motomura@kaum.kagoshima-u.ac.jp).

体長と示し，計測はデジタルノギスを用いて小数第 2 位まで計測し，小数第 2 位を四捨五入して小数第 1 位までの数値で示した．各種の生鮮時の体色の記載は，固定前に撮影された鹿児島県産標本のカラー写真に基づく．種の標準和名と学名は原則として林（2013）にしたがった．

結果と考察

本研究の結果，琉球列島からイットウダイ科魚類 5 属 34 種（イットウダイ亜科 2 属 17 種，アカマツカサ亜科 3 属 17 種）が確認された．以下に琉球列島から記録されたイットウダイ科魚類を目録としてまとめた．

MYRIPRISTISNAE アカマツカサ亜科

Myripristis adusta Bleeker, 1853

ツマグロマツカサ　（Figs. 1A, 5; Tables 1–3, 9–10）

標本　3 個体（体長 47.6–190.7 mm）：URM-P 34730，体長 47.6 mm，沖縄県宜野湾市沖縄コンベンションセンター前沖縄島（26°16′N, 127°43′E）；URM-P 43692，体長 190.7 mm，沖縄県那覇市港町泊いゆまちで水揚げ，2006 年 4 月 8 日；URM-P 48754，体長 147.0 mm，沖縄県八重山郡与那国町久部良漁港　与那国島（24°27′13″N, 122°56′28″E），2013 年 7 月 25 日，釣り，小枝圭太.

記載　背鰭鰭条数 X-I, 13–16；臀鰭鰭条数 IV, 14；胸鰭軟条数 15；側線有孔鱗数 27–28；側線上方横列鱗数 2.5；鰓耙数 12–13 + 22–25 = 34–38.

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 43.0；体幅 20.3；頭長 37.4；吻長 6.2；眼径 20.6；両眼間隔 9.2；上顎長 21.3；尾柄高 6.7；尾柄長 12.6；背鰭前長 44.2；臀鰭前長 70.0；腹鰭前長 43.8；背鰭第 1 棘条長 15.4；背鰭第 2 棘条長 19.5；背鰭最長棘条長 20.7；背鰭第 10 棘条長 3.8；背鰭第 11 棘条長 10.0；背鰭最長軟条長 24.4；臀鰭第 1 棘条長 2.2；臀鰭第 2 棘条長 4.2；臀鰭第 3 棘条長 15.4；臀鰭第 4 棘条長 13.7；臀鰭最長軟条長 26.1；尾鰭長 26.8；胸鰭長 23.5；腹鰭棘条長 20.7；腹鰭軟条長 27.7.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 43.0% と高く，背鰭起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端よりやや前方に突出する．下顎先端の歯塊は 1 対．口裂は大きく，上顎後端は瞳孔の後縁直下に位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在する．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 55.2%．鰓耙は細長く，先端は丸い．胸鰭起部は腹鰭，および背鰭の起部よりもやや前方に位置し，胸鰭後端は背鰭第 6 棘条起部直下に達する．胸鰭腋部に小鱗がない．腹鰭起部は胸鰭第 2 軟条起部直下に位置し，後端は背鰭第 7 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 10–11 棘間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭軟条部直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 11 棘条直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 53.1%. 尾鰭は深く湾入し, 二叉型. 体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体は黒みがかった銀色. 頭部背面は黒色. 側線上部の鱗は銀色で後縁は黒色．側線下部は銀白色．鰓蓋棘の周囲は黒色．背鰭，臀鰭，および尾鰭の縁辺は黒色．背鰭軟条部は縁辺が黒色，基部は白色がかった透明で，両方の間は赤色．背鰭棘条部は縁辺が黒色，基部は白色がかった透明で薄い黒色帯が入る．胸鰭は一様に赤色がかった透明．腹鰭は白色で鰭条はやや赤味をおびる．臀鰭縁辺が黒色，基部は白色がかった透明で，両方の間は赤色．尾鰭は赤みがかった白色で，縁辺は黒色．虹彩は赤色で，瞳孔は黒色.

分布　インド洋北西部とハワイ諸島を除くインド・太平洋に分布する（Randall and Greenfield, 1996；林，2013）．日本国内では，高知県，沖縄諸島（沖縄島）と八重山諸島（石垣島，西表島，与那国島）（具志堅，1972；清水，1997；林，2013；本研究）から報告がある．本研究によって与那国島から初めて記録された．

備考　本種は体が銀色であること，背鰭，臀鰭，および尾鰭の縁辺が黒く縁どられることから同属他種と容易に識別される．

Myripristis berndti Jordan and Evermann, 1903

アカマツカサ （Figs. 1B, 5, 7A; Tables 1–3, 9–10）

標本 87 個体（体長 48.7–189.8 mm）：KAUM–I. 7865, 体長 155.3 mm，琉球列島南部（奄美諸島から八重山諸島；沖縄県那覇市の鮮魚店で購入），2007 年 12 月 29 日，桜井 雄；KAUM–I. 29545，体長 78.7 mm，鹿児島県鹿児島郡三島村硫黄島南側（30°46′32″N, 130°16′43″E），水深 10–60 m, 2010 年 5 月 26 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 31708，体長 142.0 mm，鹿児島県鹿児島郡三島村硫黄島西側（30°47′04″N, 130°15′42″E），水深 5–10 m，2013 年 8 月 13 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 42293，体長 52.8 mm，KAUM–I. 42294，体長 48.7 mm，鹿児島県大島郡与論町供利漁港内 与論島（27°01′58″N, 128°24′35″E），水深 1–2 m，2011 年 11 月 4 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 50276，体長 158.1 mm，KAUM–I. 50277，体長 176.3 mm，鹿児島県西之表市安城から立山にかけての沿岸沖 種子島（30°37′N, 131°03′E），水深 12–13 m，2012 年 7 月 28 日，刺網，松沼瑞樹・目黒昌利・田代郷国；KAUM–I. 51152，体長 126.0 mm，鹿児島県与論島沖，2012 年 10 月 22 日，釣り，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 56130，体長 174.6 mm，鹿児島県馬毛島沖（30°35′N, 130°41′E），2013 年 9 月 3 日，釣り，高山真由美；KAUM–I. 57260，体長 179.2 mm，鹿児島県西之表市田之脇沖 種子島（30°41′N, 131°05′E），2013 年 11 月 15 日，刺網，高山真由美；KAUM–I. 57739，体長 94.2 mm，KAUM–I. 57937，体長 89.4 mm，鹿児島県大島郡瀬戸内町蘇刈 奄美大島（28°07′50″N, 129°21′07″E），水深 3–15 m，2013 年 12 月 13 日，タモ網，萩原清司・中江雅典・千葉 悟・目黒昌利・吉田朋弘・田代郷国・横山貞夫；KAUM–I. 63193，体長 148.0 mm，鹿児島県口之島北方（30°11′N, 130°06′E），2014 年 8 月 28 日，釣り，畑 晴陵・江口慶輔；KAUM–I. 63362，体長 163.2 mm，鹿児島県鹿児島郡十島村中之島港内 中之島（29°50′22″N, 129°50′50″E），水深 4 m，2014 年 8 月 31 日，釣り，本村浩之・小枝圭太・吉田朋弘・田代郷国；KAUM–I. 65911，体長 100.3 mm，KAUM–I. 65912，体長 104.3 mm，鹿児島県大島郡天城町平土野港 徳之島（27°48′46″N, 128°53′20″E），水深 8–10 m，2014 年 10 月 2 日，釣り，吉田朋弘・金出侑佳；KAUM–I. 66277，体長 187.7 mm，鹿児島県熊毛郡南種子町西之砂坂漁港沖 種子島（30°28′N, 131°51′E），2014 年 9 月 17 日，釣り，高山真由美・畑 晴陵；KAUM–I. 66383，体長 157.0 mm，KAUM–I. 66384，体長 172.8 mm，鹿児島県西之表市東岸 種子島（30°47′N, 131°05′E），水深 50–60 m，2014 年 9 月 20 日，釣り，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 66595，体長 99.6 mm，KAUM–I. 66596，体長 63.9 mm，鹿児島県大島郡天城町平土野港 徳之島（27°48′46″N, 128°53′20″E），水深 8–10 m，2014 年 9 月 30 日，釣り，吉田朋弘；KAUM–I. 68072，体長 78.1 mm，KAUM–I. 68078，体長 66.8 mm，KAUM–I. 68091，体長 85.6 mm，沖縄県宜野湾市宜野湾漁港 沖縄島（26°17′12″N, 127°44′30″E），2008 年 12 月 4 日，釣り，小枝圭太；KAUM–I. 71038，体長 75.3 mm，鹿児島県大島郡与論町茶花港 与論島（27°02′14″N, 128°24′03″E），水深 1–2 m，2015 年 3 月 16 日，釣り，上城拓也；KAUM–I. 71100，体長 122.1 mm，KAUM–I. 71101，体長 93.5 mm，鹿児島県大島郡与論町茶花港の堤防先 与論島（27°03′01″N, 128°24′26″E），水深 2–3 m，2015 年 3 月 17 日，釣り，畑 晴陵・江口慶輔；KAUM–I. 71187，体長 86.8 mm，鹿児島県大島郡与論町茶花漁港 与論島（27°02′57″N, 128°24′17″E），水深 1–2 m，2015 年 3 月 18 日，釣り，吉田朋弘・畑 晴陵・Byeol Jeong・上城拓也・江口慶輔・安藤ゆきの・吉浦 藍・大澤洋太；KAUM–I. 72322，体長 90.2 mm，鹿児島県大島郡喜界町赤連湾港 喜界島（28°19′42″N, 129°56′09″E），水深 6 m，2015 年 5 月 4 日，釣り，稲葉智樹；KAUM–I. 78301，体長 81.0 mm，KAUM–I. 78302，体長 79.8 mm，沖縄県八重山郡与那国町久部良漁港 与那国島（24°27′05″N, 122°56′34″E），水深 3 m，2015 年 9 月 16 日，釣り，三木涼平・稲葉智樹・上城拓也・和田英敏；KAUM–I. 78373，体長 160.5 mm，沖縄県八重山郡与那国町久部良漁港 与那国島（24°27′10″N, 122°56′12″E），水深 3–5 m，2015 年 9 月 18 日，釣り，西岡洋平；KAUM–I. 78753，体長 158.3 mm，KAUM–I. 78754，体長 141.5 mm，琉球列島南部（奄美諸島から八重山諸島；泊いゆまちで購入），2015 年 9 月 12 日，桜井 雄；KAUM–I. 82564，体長 159.9 mm，鹿児島県大島郡伊仙町伊仙崎 徳之島（27°39′39″N, 128°58′08″E），水深 5 m，2015 年 11 月 28 日，釣り，餅田 樹；MUFS 12623，体長 167.6 mm，MUFS 12624，体長 157.8 mm，MUFS 12626，体長 158.5 mm，沖縄県那覇市 沖縄島；MUFS 12639，体長 161.2 mm，MUFS 12647，体長 183.9 mm，MUFS 12648，体長 181.0 mm，沖縄県国頭郡伊江村 伊江島，1996 年 11 月 8 日；MUFS 12659，体長 160.7 mm，MUFS 12661，体長 158.6 mm，MUFS 12662，体長 162.1 mm，MUFS 12663，体長 158.3 mm，MUFS 12664，体長 174.3 mm，MUFS 12665，体長 162.3 mm，MUFS 12666，体長 159.0 mm，MUFS 12667，体長 153.1 mm，MUFS 12668，体長 168.4 mm，MUFS 12670，体長 153.1 mm，MUFS 12671，体長 187.4 mm，MUFS 12672，体長 187.8 mm，MUFS 12673，体長 186.2 mm，MUFS 12674，体長 182.3 mm，MUFS 12675，体長 179.5 mm，MUFS 12676，体長 168.0 mm，MUFS 12677，体長 183.5 mm，沖縄県 沖縄島，1996 年 11 月 8 日；MUFS 15931，体長 166.0 mm，MUFS 15934，体長 153.3 mm，MUFS 15938，体長 151.3 mm，MUFS 15939，体長 164.3 mm，MUFS 15941，体長 162.8 mm，MUFS 15942，体長 139.7 mm，MUFS 15943，体長 168.7 mm，MUFS 15944，体長 149.0 mm，MUFS 15945，体長 144.1 mm，MUFS 15947，体長 159.4 mm，MUFS 15948，体長 145.5 mm，MUFS 15949，体長 189.8 mm，MUFS 15950，体長 170.0 mm，MUFS 15951，体長 153.8 mm，MUFS 15952，体長 151.7 mm，MUFS 15953，体長 163.3 mm，MUFS 15955，体長 163.5 mm，MUFS 15956，体長 159.6 mm，MUFS 15964，体長 139.7 mm，MUFS 15965，体長 139.7 mm，MUFS 15966，体長 159.0 mm，沖縄県国頭郡伊江村 伊江島，1998 年 7 月 7 日；MUFS 32776，体長 170.4 mm，MUFS 32777，体長 167.9 mm，MUFS 32778，体長 172.3 mm，MUFS 32779，体長 184.9 mm，沖縄県那覇市泊 沖縄島，2010 年 5 月 22 日；URM-P 679，体長 182.0 mm，沖縄県島尻郡座間味村 屋嘉比島，1978 年 6 月 6 日；URM-P 1330，体長 110.1 mm，沖縄県 沖縄島，1960 年代；URM-P 15107，体長 139.3 mm，沖縄県南城市知念知念漁業協同組合で水揚げ，1985 年 11 月 14 日，刺網；URM-P 30693，体長 166.3 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1993 年 11 月 8 日.

記載 背鰭鰭条数 X-I, 13–15（最頻値 14）；臀鰭鰭条数 IV, 11–13 (12)；胸鰭軟条数 14–16 (15)；側線有孔鱗数 27–30 (28)；側線上方横列鱗数 2.5；鰓耙数 10–16 (12) + 22–28 (25) = 32–43 (37).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 39.5–50.9；体幅 18.1–22.5；頭長 33.2–41.7；

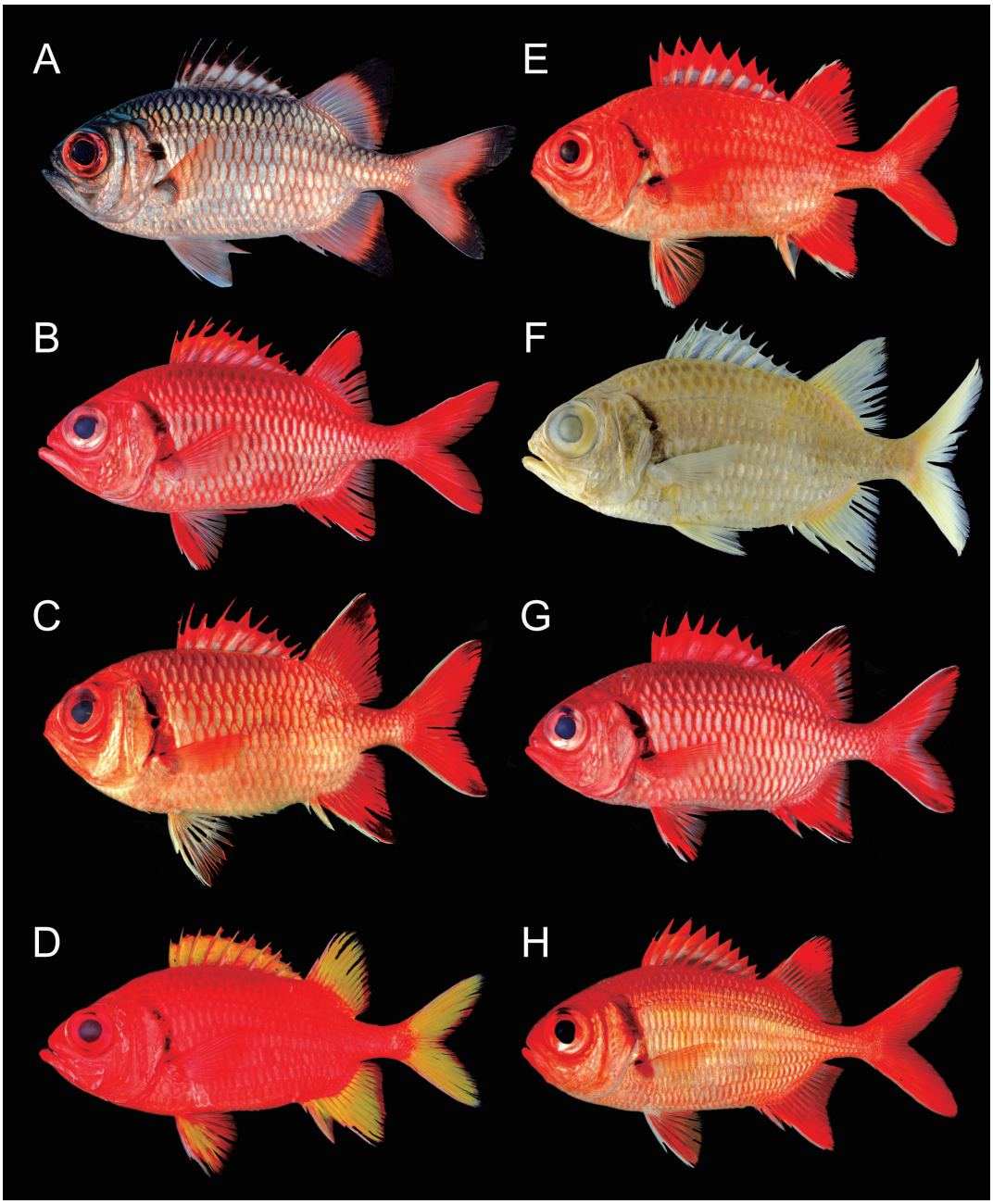

Fig. 1. Specimens of Myripristinae collected from the Ryukyu Islands, Japan — 1. A, *M. adusta*, URM-P 48754, 147.0 mm SL, Yonaguni-jima island; B, *M. berndti*, KAUM–I. 56130, 174.6 mm SL, Mage-shima island; C, *M. botche*, KAUM–I. 62392, 212.5 mm SL, Tanega-shima island; D, *M. chryseres*, KAUM–I. 53891, 180.4 mm SL, Amami-oshima island; E, *M. greenfieldi*, KAUM–I. 63194, 140.0 mm SL, Kuchino-shima island; F, *M. hexagona*, KAUM–I. 65438, 163.9 mm SL, Tanega-shima island; G, *M. kochiensis*, KAUM–I. 56131, 157.4 mm SL, Mage-shima island; H, *M. kuntee*, KAUM–I. 55905, 85.2 mm SL, Tanega-shima island.

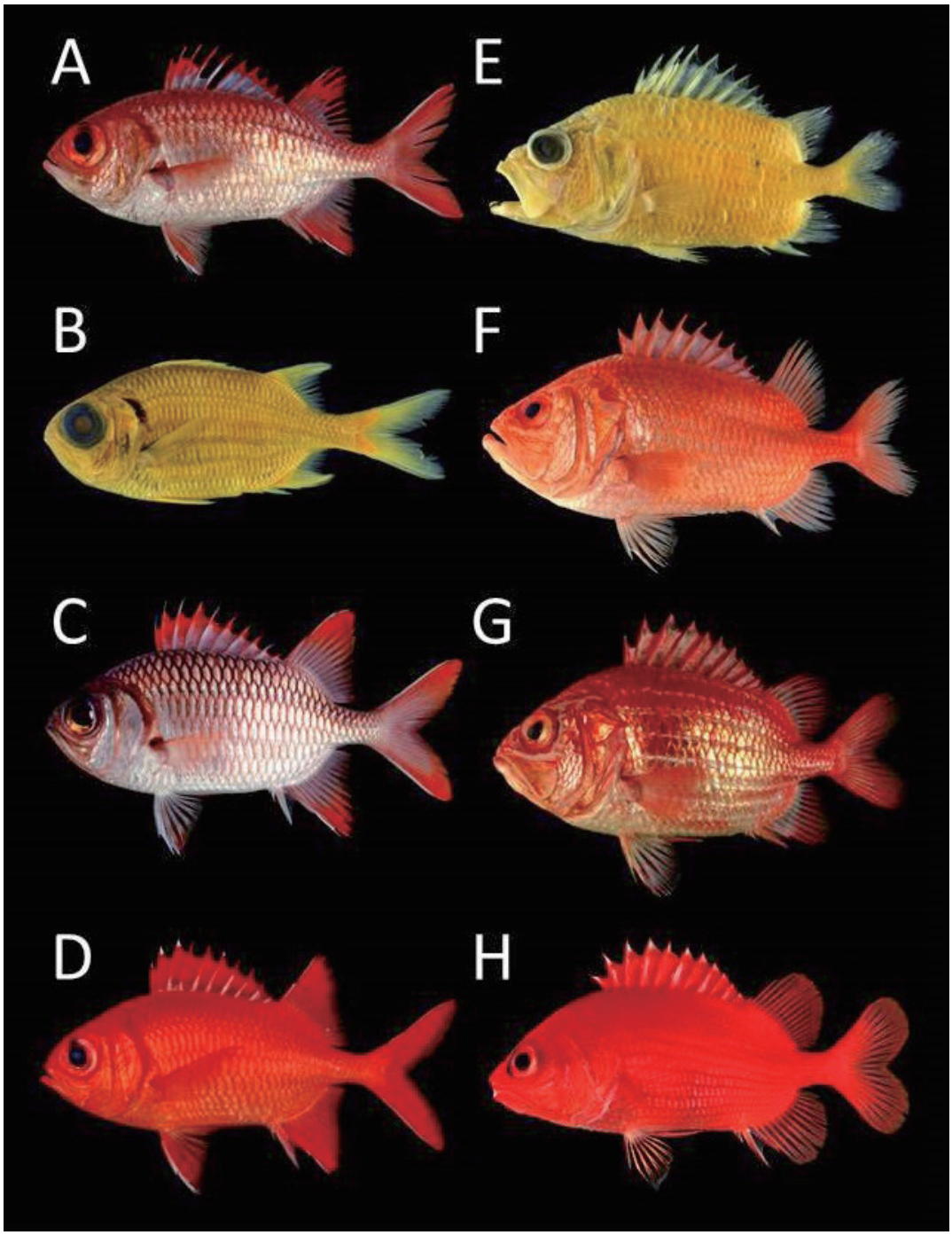

Fig. 2. Specimens of Myripristinae collected from the Ryukyu Islands, Japan — 2. A, *M. murdjan*, KAUM–I. 39804, 158.5 mm SL, Yoron-jima island; B, *M. pralinia*, YCM-P 36167, 132.1 mm SL, Amami-oshima island; C, *M. violacea*, KAUM–I. 50813, 113.0 mm SL, Yoron-jima island; D, *M. vittata*, KAUM–I. 41822, 141.7 mm SL, Yaku-shima island; E, *O. hypsipterygion*, URM-P 37355, 203.4 mm SL, Okinawa-jima island; F, *O. japonicus*, KAUM–I. 7411, 285.3 mm SL, Yaku-shima island; G, *O. kaianus*, KAUM–I. 62393, 242.9 mm SL, Tanega-shima island; H, *P. lima*, KAUM–I. 50823, 71.5 mm SL, Yoron-jima island.

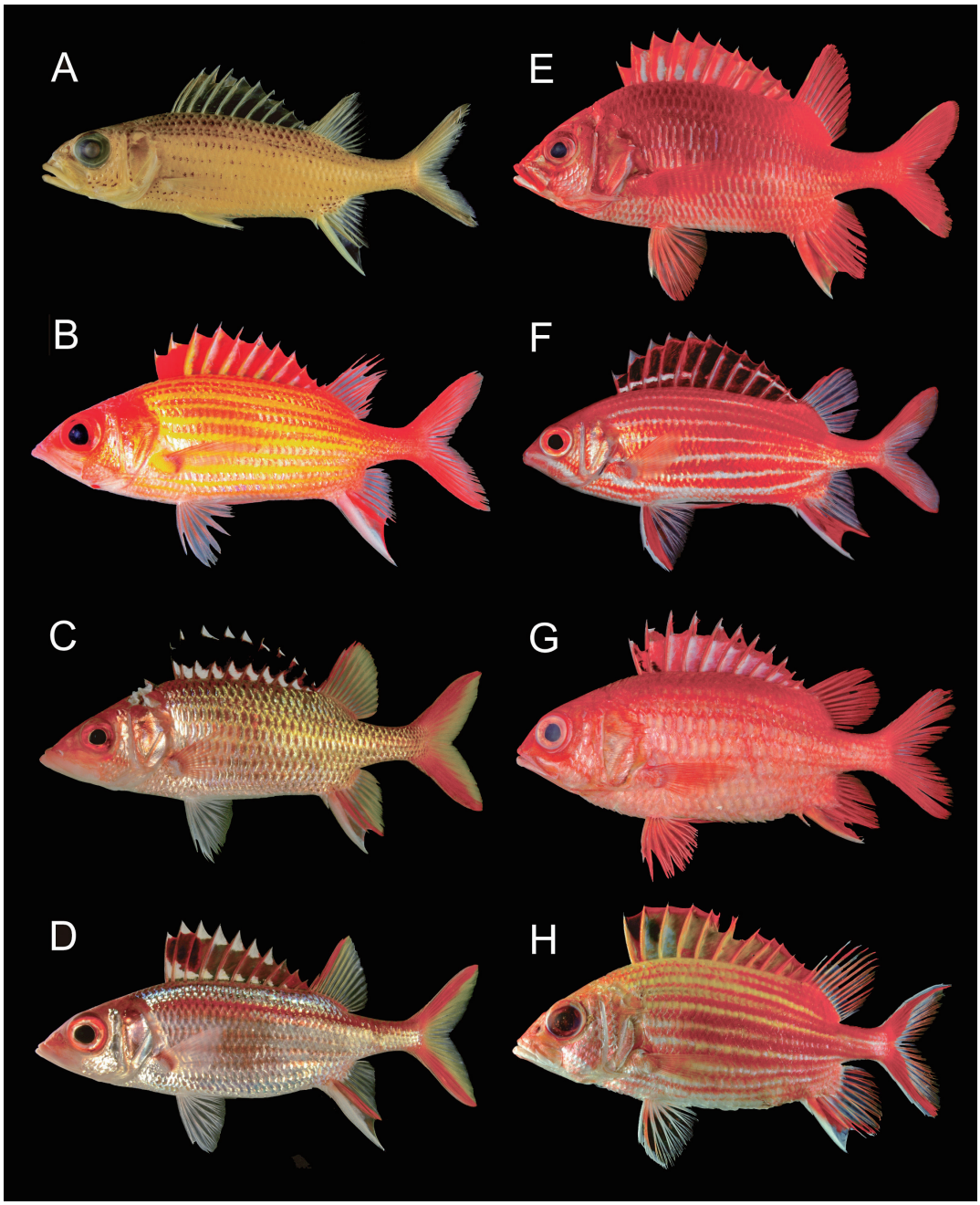

Fig. 3. Specimens of Holocentrinae collected from the Ryukyu Islands, Japan — 1. A, *N. argenteus*, URM-P 36414, 131.3 mm SL, Iriomote-jima island; B, *N. aurolineatus*, KAUM–I. 37629, 149.3 mm SL, Iou-jima island; C, *N. opercularis*, KAUM–I. 41248, 228.2 mm SL, Yoron-jima island; D, *N. sammara*, KAUM–I. 39803, 152.5 mm SL, Yoron-jima island; E, *S. caudimaculatum*, KAUM–I. 63196, 206.0 mm SL, Kuchino-shima island; F, *S. diadema*, KAUM–I. 61827, 132.9 mm SL, Tanega-shima island; G, *S. dorsomaculatum*, KAUM–I. 59436, 172.9 mm SL, Okinawa-jima island; H, *S. ensiferum*, KAUM–I. 63680, 173.7 mm SL, Okinawa-jima island.

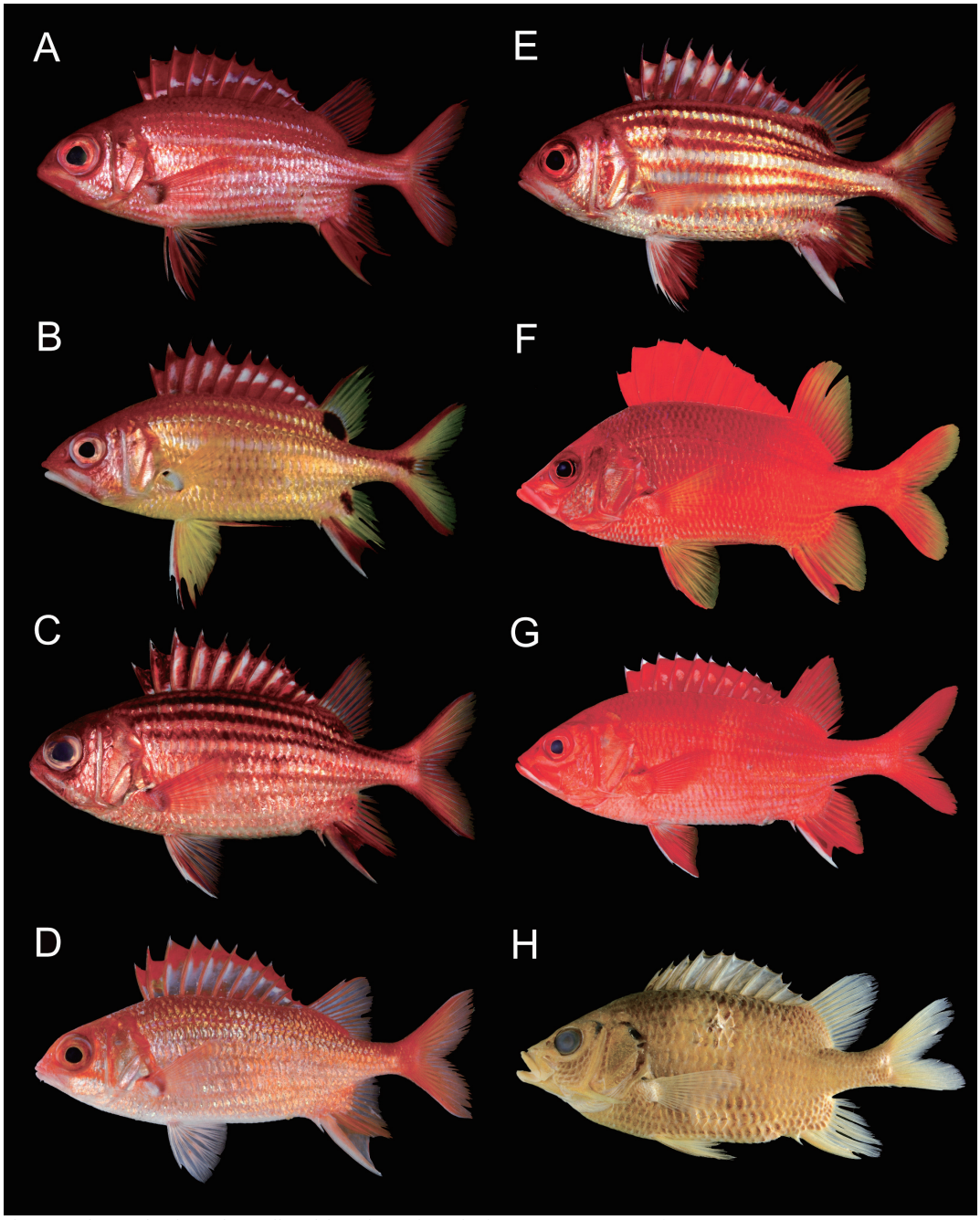

Fig. 4. Specimens of Holocentrinae collected from the Ryukyu Islands, Japan — 2. A, *S. ittodai*, KAUM–I. 44002, 146.8 mm SL, Tanega-shima island; B, *S. melanospilos*, KAUM–I. 41824, 163.2 mm SL, Yaku-shima island; C, *S. praslin*, KAUM–I. 57271, 191.4 mm SL, Tanega-shima island; D, *S. punctatissimum*, KAUM–I. 11255, 125.5 mm SL, Yaku-shima island; E, *S. rubrum*, KAUM–I. 66357, 132.4 mm SL, Tanega-shima islnad; F, *S. spiniferum*, KAUM–I. 56616, 127.4 mm SL, Tanega-shima island; G, *S. tiere*, KAUM–I. 41049, 207.6 mm SL, Yoron-jima island; H, *S. violaceum*, URM-P 35074, 208.9 mm SL, Okinawa-jima island.

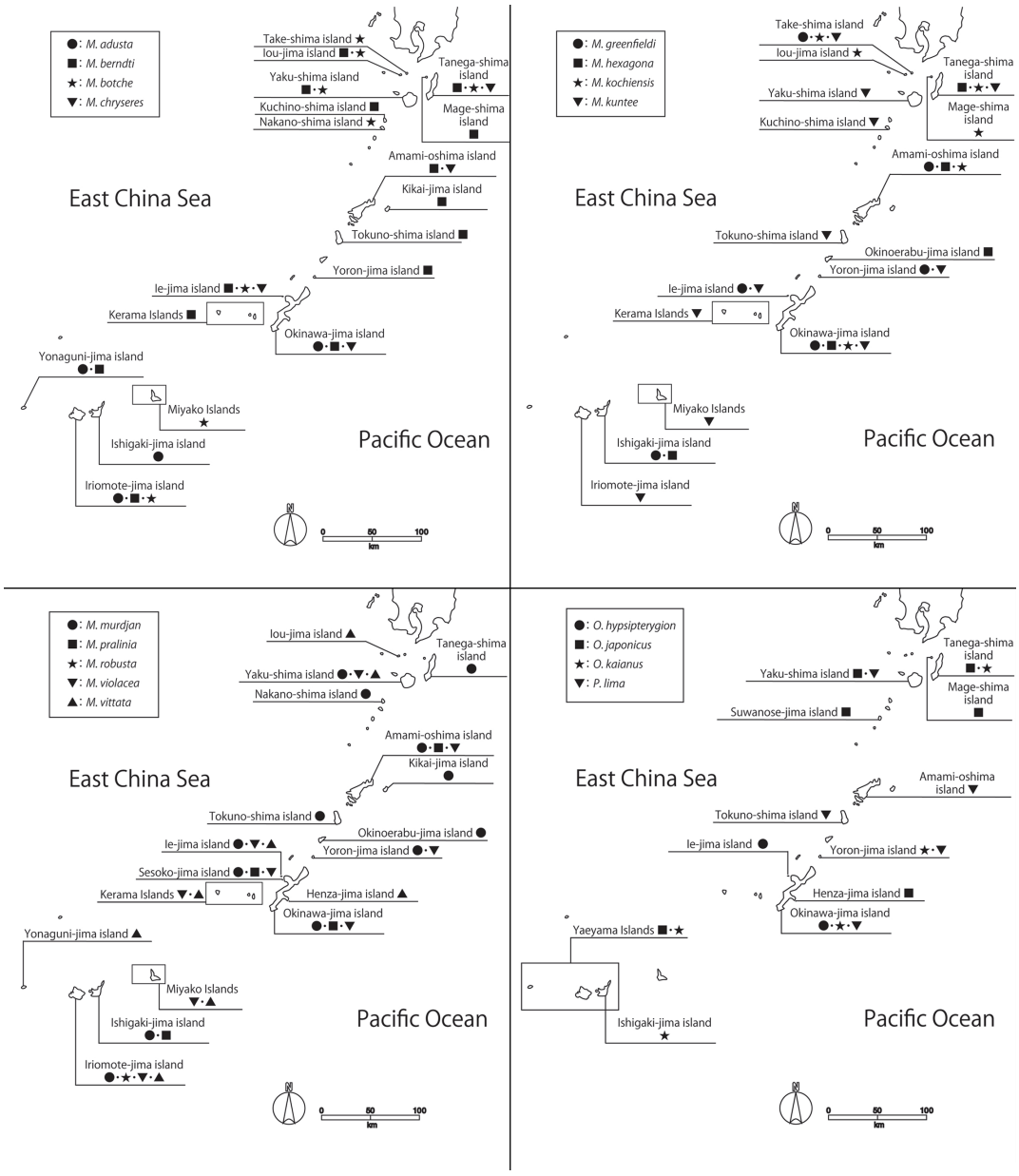

Fig. 5. Distributional records of Myripristinae based on specimens and literatures examined in this study. Some symbols include more than one specimens.

吻長 5.8–8.0；眼径 13.6–19.8；両眼間隔 6.7–9.8；上顎長 18.4–24.7；尾柄高 9.8–12.0；尾柄長 9.8–17.9；背鰭前長 38.2–42.2；臀鰭前長 68.6–74.4；腹鰭前長 40.0–42.7；背鰭第 1 棘条長 6.8–12.6；背鰭第 2 棘条長 11.5–14.9；背鰭最長棘条長 13.0–17.9；背鰭第 10 棘条長 3.2–5.6；背鰭第 11 棘条長 7.6–12.2；背鰭最長軟条長 16.7–25.0；臀鰭第 1 棘条長 0.9–2.2；臀鰭第 2 棘条長 3.8–5.4；臀鰭第 3 棘条長 10.0–16.4；臀鰭第 4 棘条長 9.2–16.4；臀鰭最長軟条長 19.5–23.2；尾鰭長 26.4–37.5；胸鰭長 21.8–27.6；腹鰭棘条長 13.4–17.5；腹鰭軟条長 20.0–26.4.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄

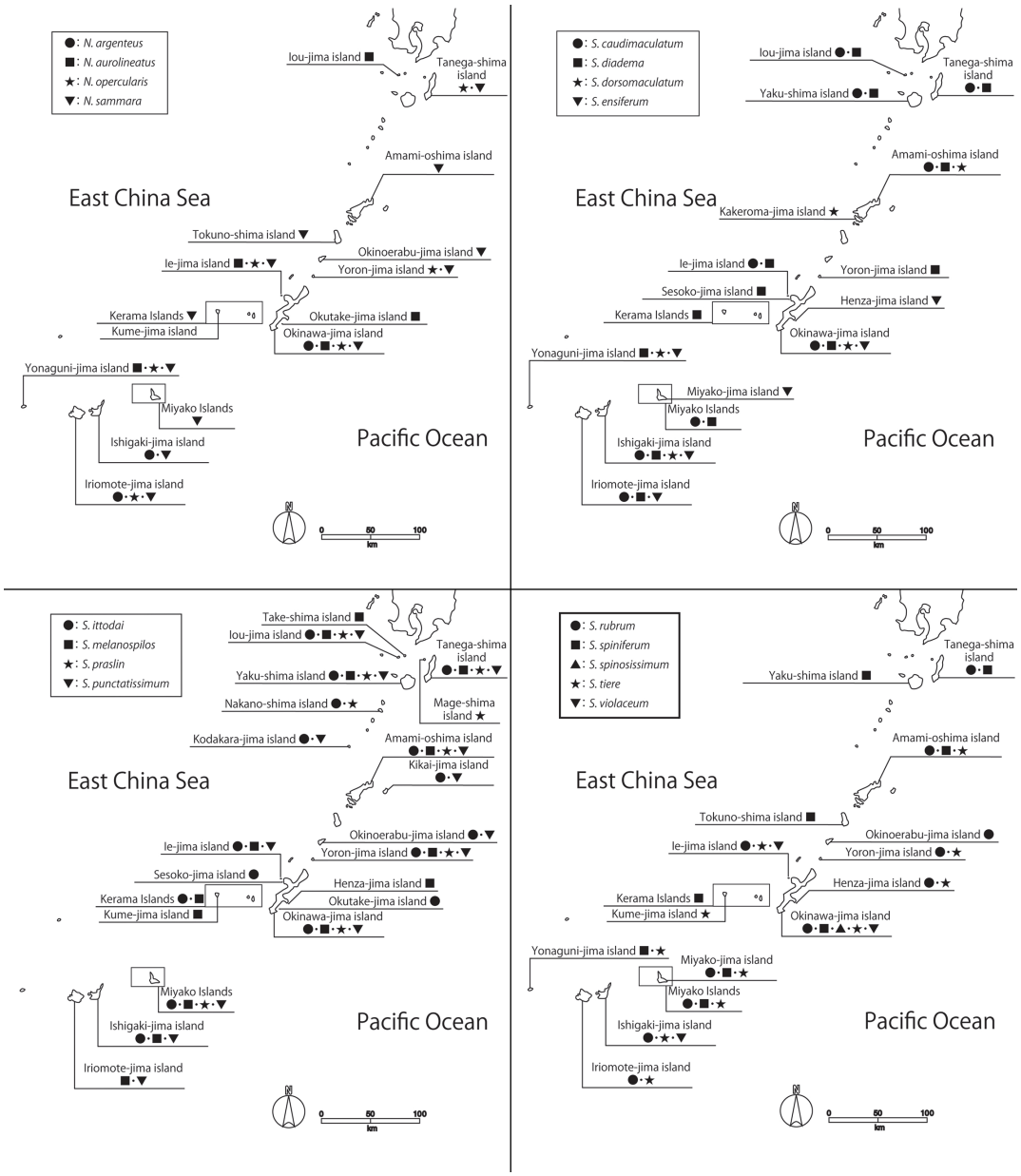

Fig. 6. Distributional records of Holocentrinae based on specimens and literatures examined in this study. Some symbols include more than one specimens.

は強く側偏する．体高は体長の 39.5–50.9% と高く，背鰭起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端より前方に突出する．下顎先端の歯塊は 1 対．口裂は大きく，上顎後端は瞳孔の後縁直下に位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在する．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 38.3–52.4%．鰓耙は細長く，先端は丸い．胸鰭起部は腹鰭，および背鰭の起部よりもやや前方に位置し，胸鰭後端は背鰭第 7 棘条起部直下に達する．胸鰭腋部に小鱗がある．腹鰭起部は胸鰭第 2 軟条起部直下に

位置し，後端は背鰭第 7 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 10–11 棘間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭軟条部直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 11 棘条直下よりわずかに前方に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 59.8–97.0%．尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体は赤色，背側に向かうにつれ濃い赤色．頭部背面は赤色．側線上部の鱗は赤色で後縁は赤茶色．側線下部は赤みがかった褐色．鰓蓋膜は鰓蓋棘のやや下まで濃黒色で，残りの部分は薄くなる．背鰭棘条部は上部が黄色，下部は赤みがかった白色で分かれており，後ろに向かうにつれ，黄色部が狭くなる．背鰭軟条部は第 1 軟条の半分より上が白色，第 2 軟条から第 5 軟条の先端部は濃赤色，その他の部分は赤みがかった白色．胸鰭は一様に赤色がかった透明．腹鰭は第 1 軟条の先端が白色で，先端部を除いた第 1 軟条から第 3 軟条まで濃赤色，その他の部分は白みがかった透明．臀鰭は第 4 棘から第 2 軟条の先端まで濃赤色，第 1 軟条の先端は白色，その他の部分は白みがかった透明．尾鰭は上下両端が赤みがかった白色，他の部分は赤色．虹彩は瞳孔の上が黒色で，その他は赤色．瞳孔は黒色．

分布　インド洋北部とイースター島を除くインド・太平洋と東太平洋熱帯島嶼域に分布する（Randall and Greenfield, 1996；林，2013）．日本国内では，小笠原諸島，大隅諸島（硫黄島，種子島，馬毛島，屋久島），トカラ列島（口之島，中之島），奄美群島（奄美大島，喜界島，徳之島，与論島），沖縄諸島（沖縄島，伊江島），慶良間諸島（屋嘉比島）と八重山諸島（石垣島，西表島，与那国島）（増田・アレン，1991；清水，1997；辰馬，1999；Motomura et al., 2010；林，2013；西山，2013, 2014；本研究）から報告がある．

備考　本種はナミマツカサやヨゴレマツカサと酷似するが，前者は下顎が前方に著しく突出すること（後者 2 種では著しく突出しない）と生鮮時に背鰭棘上部の鰭膜が黄色または橙色であること（後者 2 種は赤）から識別される．

Myripristis botche Cuvier, 1829

ウロコマツカサ　（Figs. 1C, 5; Tables 1–3, 9–10）

標本　10 個体（体長 148.9–203.5 mm）：KAUM–I. 29797，体長 148.9 mm，鹿児島県鹿児島郡三島村竹島オンボ崎南側　竹島（30°48′32″N, 130°24′33″E），水深 5–20 m，2010 年 5 月 27 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 61569，体長 197.5 mm，沖縄県うるま市与那城平安座与那城町漁業協同組合で水揚げ，2014 年 4 月 19 日，桜井　雄；KAUM–I. 62392，体長 196.7 mm，鹿児島県熊毛郡中種子町熊野沖　種子島（30°28′13″N, 130°58′32″E），2014 年 6 月 20 日，定置網，高山真由美；KAUM–I. 65436，体長 203.5 mm，鹿児島県西之表市田之脇沖　種子島（30°41′N, 131°05′E；西之表市の魚市場で購入），2014 年 7 月 18 日，刺網，高山真由美；KAUM–I. 66612，体長 149.6 mm，鹿児島県鹿児島郡十島村中之島中之島港内　中之島（29°50′22″N, 129°50′50″E），水深 4 m，2014 年 8 月 31 日，釣り，本村浩之・小枝圭太・吉田朋弘・田代郷国；KAUM–I. 79722，体長 201.6 mm，鹿児島県西之表市洲之崎沖堤防下　種子島（30°44′08″N, 130°59′19″E），水深 12 m，2015 年 9 月 24 日，刺網，安栄丸；MUFS 12646，体長 179.8 mm，沖縄県国頭郡伊江村　伊江島，1996 年 11 月 8 日，小型定置網；URM-P 15066，体長 163.1 mm，URM-P 15067，体長 184.2 mm，沖縄県八重山郡竹富町宇奈利崎　西表島（24°25′N, 123°45′E），水深 35 m，1985 年 11 月 11 日；URM-P 35614，体長 177.0 mm，沖縄県那覇市港町那覇地区漁業協同組合で水揚げ，1996 年 5 月 31 日．

記載　背鰭鰭条数 X-I, 14–16（最頻値 14）；臀鰭鰭条数 IV, 12–14 (13)；胸鰭軟条数 14–16 (15)；側線有孔鱗数 26–28 (28)；側線上方横列鱗数 2.5；鰓耙数 11–15 + 21–27 (24) = 32–40 (36).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 43.0–52.4；体幅 20.4–26.4；頭長 32.8–42.4；吻長 6.3–8.5；眼径 13.2–18.6；両眼間隔 5.8–8.5；上顎長 19.4–23.6；尾柄高 10.0–15.5；尾柄長 11.2–14.1；背鰭前長 37.8–41.7；臀鰭前長 71.1–76.5；腹鰭前長 39.6–41.8；背鰭第 1 棘条長 9.8–13.6；背鰭第 2 棘条長 13.1–16.8；背鰭最長棘条長 15.1–19.7；背鰭第 10 棘条長 4.4–6.2；背鰭第 11 棘条長 8.5–11.2；背鰭最長軟条長 21.0–24.7；臀鰭第 1 棘条長 1.1–2.3；臀鰭第 2 棘条長 4.3–5.4；臀鰭第 3 棘条長 11.9–19.3；臀鰭第 4 棘条長 8.0–15.8；臀鰭最長軟条長 20.1–25.9；尾鰭長 30.0–36.1；胸鰭長 21.5–28.1；腹鰭棘条長 15.8–17.8；腹鰭軟条長 23.9–26.1.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 43.0–52.4% と高く，背鰭起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端よりごくわずかに前方に突出する．下顎先端の歯塊は 2 対．口裂は大きく，上顎後端は瞳孔の後縁直下に位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在する．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 40.3–51.1%．鰓耙は細長く，先端は丸い．胸鰭起部は腹鰭，および背鰭の起部よりもやや前方に位置し，胸鰭後端は背鰭第 7 棘条起部直下に達する．胸鰭腋部に小鱗がない．腹鰭起部は胸鰭第 2 軟条起部直下に位置し，後端は背鰭第 7 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 10–11 棘間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭軟条部直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 11 棘条直下よりわずかに前方に位置する．尾柄はやや太く，尾柄高は尾柄長の 72.7–94.6%．尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体背面の鱗は黒みがかった赤色で覆われた白色，腹側に向かうにつれて縁どりが細くなる．体腹面は赤みがかった白色．頭部は眼の後端まで赤色．鰓蓋は白色．鰓蓋膜は黒色．背鰭棘条部は棘と鰭膜上部が赤色，他の部分は白色で分かれており，背鰭第 5 鰭膜を最大に白色の面積が狭くなる．背鰭軟条部は第 1 軟条が白色，第 2–5 軟条の先端部は黒色，他の部分は赤色．胸鰭は一様に赤みがかった透明．腹鰭は先端が赤色で，他は赤みがかった白色．臀鰭は先端から第 1 軟条の先端まで白色，第 2–4 軟条の先端は黒色，他の部分は赤色．尾鰭は上下両端が白色，末端に黒色斑，他の部分は赤色．虹彩は瞳孔の上が黒色で，その他は赤色．瞳孔は黒色．

分布　インド・西太平洋に分布する（Randall and Greenfield, 1996；林，2013）．日本国内では，八丈島，小笠原諸島，和歌山県串本，高知県以布利・柏島，愛媛県宇和海，鹿児島県笠沙・野間池，大隅諸島（硫黄島，竹島，種子島，屋久島），トカラ列島（中之島），沖縄諸島（沖縄島，伊江島），宮古諸島，および八重山諸島（西表島）（清水，1997；平田ほか，2001；Senou et al., 2006；Motomura et al., 2010；林，2013；西山，2013；本研究）から報告がある．

備考　本種はアカマツカサ属魚類の中では最も大きくなる種で，体長 247 mm の個体がインド洋から記録されている（Randall and Greenfield, 1996）．本研究でも琉球列島産アカマツカサ属魚類標本の中で最大体長（201.6 mm，種子島産）の個体はウロコマツカサであった．

Myripristis chryseres Jordan and Evermann, 1903
キビレマツカサ　（Figs. 1D, 5, 7C; Tables 1–3, 9–10）

標本　17 個体（体長 155.4–195.4 mm）：KAUM–I. 53889，体長 175.3 mm，KAUM–I. 53890，体長 180.4 mm，KAUM–I. 53891，体長 180.4 mm，鹿児島県奄美大島沖（28°15′N, 131°01′E；鹿児島市中央卸売市場魚類市場で購入），水深 100 m 以浅，2013 年 5 月 7 日，釣り，松沼瑞樹；KAUM–I. 58057，体長 195.4 mm，鹿児島県熊毛郡中種子町熊野沖　種子島（30°28′N, 130°58′E），2013 年 12 月 23 日，釣り，高山真由美；KAUM–I. 66921，体長 190.3 mm，鹿児島県西之表市田之脇沖　種子島（30°41′N, 131°05′E），2014 年 11 月 20 日，刺網，高山真由美；MUFS 12636，体長 166.4 mm，MUFS 12637，体長 167.8 mm，沖縄県国頭郡伊江村　伊江島，1996 年 11 月 8 日；MUFS 12678，体長 181.5 mm，MUFS 12679，体長 170.0 mm，MUFS 12680，体長 189.2 mm，沖縄県　沖縄島，1996 年 11 月 8 日，小型定置網；MUFS 12740，体長 182.2 mm，沖縄県　沖縄島，1996 年 11 月 25 日；URM-P 647，体長 170.6 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1973 年 12 月 22 日；URM-P 8261，体長 160.7 mm，沖縄県糸満市糸満漁業協同組合で水揚げ，1983 年 9 月 13 日；URM-P 20006，体長 171.3 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1988 年 11 月 2 日，釣り；URM-P 32114，体長 169.5 mm，URM-P 32115，体長 155.5 mm，沖縄県名護市名護漁業協同組合で水揚げ，1994 年 7 月 26 日；URM-P 37545，体長 155.4 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1996 年 12 月 29 日．

記載　背鰭 X-I, 14–15（最頻値 15）；臀鰭鰭条数 IV, 12–13 (13)；胸鰭軟条数 14–16 (15)；側線有孔鱗数 32–35 (33)；側線上方横列鱗数 2.5；鰓耙数 12–14 (13) + 22–26 (24) = 36–40 (37).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 38.8–44.2；体幅 18.9–21.2；頭長 33.4–38.6；吻長 6.4–7.9；眼径 13.7–17.8；両眼間隔 6.6–8.4；

上顎長 19.4–21.2；尾柄高 8.8–9.7；尾柄長 10.8–12.5；背鰭前長 35.9–40.8；臀鰭前長 70.3–77.0；腹鰭前長 38.4–45.6；背鰭第 1 棘条長 8.0–11.8；背鰭第 2 棘条長 12.9–17.2；背鰭最長棘条長 14.8–18.1；背鰭第 10 棘条長 4.7–6.6；背鰭第 11 棘条長 7.4–10.2；背鰭最長軟条長 18.9–20.9；臀鰭第 1 棘条長 1.3–1.7；臀鰭第 2 棘条長 2.9–5.3；臀鰭第 3 棘条長 14.7–18.0；臀鰭第 4 棘条長 12.5–15.5；臀鰭最長軟条長 20.0–23.5；尾鰭長 25.8–32.3；胸鰭長 24.3–29.5；腹鰭棘条長 16.1–17.5；腹鰭軟条長 24.1–24.9.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 38.8–44.2% と高く，背鰭起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端より前方に突出する．下顎先端の歯塊は 1 対．口裂は大きく，上顎後端は瞳孔の後縁直下に位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在する．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 39.9–51.0%．鰓耙は細長く，先端は丸い．胸鰭起部は腹鰭, および背鰭の起部よりもやや前方に位置し，胸鰭後端は背鰭第 8 棘条起部直下に達する．胸鰭腋部に小鱗がない．腹鰭起部は胸鰭第 3 軟条起部直下に位置し，後端は背鰭第 7 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 10–11 棘間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭軟条部直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 11 棘条直下よりわずかに前方に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 75.9–87.4%．尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体と頭部は一様に赤色．鰓蓋膜は黒色．背鰭棘条部は赤みがかった黄色．背鰭軟条部は第 11 棘条と第 1 軟条が赤みがかった白色，他の部分は黄色．胸鰭は一様に赤みがかった透明で，鰭条はやや白色．腹鰭は第 1 棘と第 1 軟条が白色で，他は赤みがかった黄色．臀鰭は先端から第 1 軟条の先端まで白色，他の部分は黄色．尾鰭は上下両端が赤みがかった白色，他の部分は黄色．虹彩は瞳孔の上が黒色で，その他は赤色．瞳孔は黒色．

分布　本種はインド洋北西部やイースター島を除くインド・太平洋に広く分布する（Randall and Greenfield, 1996；林，2013）．日本国内では，八丈島，嫂婦岩，小笠原諸島，静岡県大瀬崎，和歌山県串本，高知県柏島，大隅諸島（種子島），奄美群島（奄美大島），および沖縄諸島（沖縄島，伊江島）から記録されている（新垣・吉野，1984；Senou et al., 2006；林，2013；本研究）．

備考　本種は胸鰭を除く全ての鰭が明瞭に黄色いことから同属他種と容易に識別される．

Myripristis greenfieldi Randall and Yamakawa, 1996
ツマリマツカサ (Figs. 1E, 5, 7B, 8B; Tables 1–3, 9–10)

標本　18 個体（体長 116.2–180.0 mm）：BSKU 82130，体長 121.3 mm，鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋　奄美大島，1972 年 3 月？；KAUM–I. 63194，体長 136.1 mm，鹿児島県口之島北方（30°11′N, 130°06′E；鹿児島市中央卸売市場魚類市場で購入），2014 年 8 月 28 日，釣り，畑　晴陵・江口慶輔；KAUM–I. 68054，体長 124.6 mm，KAUM–I. 68058，体長 116.2 mm，KAUM–I. 68075，体長 123.8 mm，KAUM–I. 68089，体長 128.9 mm，沖縄県　石垣島（沖縄県漁業協同組合連合会で購入），2009 年 6 月 12 日，小枝圭太；NSMT-P 106167，体長 180.0 mm，鹿児島県鹿児島郡三島村竹島オンボ崎南側　竹島（30°48′32″N, 130°24′33″E），2011 年 5 月 14 日；NSMT-P 111561，体長 146.1 mm，沖縄県　沖縄島，1974 年 3 月 4 日；NSMT-P 111562，体長 149.6 mm，沖縄県石垣市　石垣島 1974 年 3 月 25–31 日；MUFS 12717，体長 159.6 mm，沖縄県　沖縄島，1996 年 11 月 11 日，小型定置網；MUFS 12669，体長 169.1 mm，沖縄県　沖縄島，1996 年 11 月 8 日，小型定置網；URM-P 726，体長 136.1 mm，沖縄県　沖縄島，1972 年夏；URM-P 15108，体長 126.3 mm，沖縄県南城市知念漁業協同組合で水揚げ，1983 年 9 月 13 日；URM-P 28571，体長 127.3 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1992 年 9 月 11 日；URM-P 34709，体長 116.6 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1995 年 10 月 30 日；URM-P 37744，体長 138.8 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1997 年 5 月 13 日；YCM-P 34218，体長 137.8 mm，鹿児島県大島郡瀬戸内町　奄美大島，YCM-P 36167，体長 118.5 mm，鹿児島県大島郡瀬戸内町　奄美大島．

記載　背鰭 X-I, 13–15（最頻値 15）；臀鰭鰭条数 IV, 11–13 (12)；胸鰭軟条数 14–16 (15)；側線有孔鱗数 27–30 (28)；側線上方横列鱗数 2.5；鰓耙数 14–17 (15) + 23–31 (29) = 38–46 (45).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 39.6–46.9；体幅 17.9–22.6；頭長 32.8–36.5；

吻長 6.1–7.2；眼径 14.6–19.5；両眼間隔 6.9–10.6；上顎長 19.1–21.4；尾柄高 9.4–10.2；尾柄長 11.3–12.9；背鰭前長 37.8–42.2；臀鰭前長 68.8–74.9；腹鰭前長 37.6–41.6；背鰭第 1 棘条長 9.9–13.9；背鰭第 2 棘条長 12.4–17.7；背鰭最長棘条長 15.9–19.6；背鰭第 10 棘条長 4.3–6.9；背鰭第 11 棘条長 8.9–12.1；背鰭最長軟条長 17.7–24.0；臀鰭第 1 棘条長 1.4–2.4；臀鰭第 2 棘条長 5.1–6.9；臀鰭第 3 棘条長 12.4–20.2；臀鰭第 4 棘条長 12.0–17.4；臀鰭最長軟条長 16.8–21.8；尾鰭長 26.0–32.2；胸鰭長 24.1–30.1；腹鰭棘条長 14.7–18.3；腹鰭軟条長 23.8–25.5.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 39.6–46.9% と高く，背鰭起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端よりわずかに前方に突出する．下顎先端の歯塊は 1 対．口裂は大きく，上顎後端は瞳孔後縁のやや後ろに位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在する．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 43.3–54.0%．鰓耙は細長く，先端は丸い．胸鰭起部は腹鰭起部直上，および背鰭の起部よりもやや前方に位置し，胸鰭後端は背鰭第 8 棘条起部直下に達する．胸鰭腋部に小鱗がない．腹鰭起部は胸鰭第 1 軟条起部直下に位置し，後端は背鰭第 7 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 10–11 棘間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭軟条部直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 10 棘条直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 74.6–90.6%．尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体と頭部は背側が赤色で，腹側に向かうにつれて赤みがかった白色になる．鰓蓋膜は鰓蓋棘の下まで黒色．背鰭棘条部は第 1 鰭膜が赤色，第 2–10 鰭膜まで鰭膜の 1/2 から下 1/5 ぐらいまで白色帯がはいる．背鰭棘は赤色．背鰭軟条部は第 11 棘条が赤みがかった白色，第 1 軟条は上 1/2 が白色．他の部分は赤色．胸鰭は一様に赤みがかった透明．腹鰭は第 1 棘と第 1 軟条の上 1/2 が白色で，鰭膜は透明，鰭条は白みがかった赤色．臀鰭は先端から第 1 軟条の上 1/2 まで白色，他の部分は赤色．尾鰭は上下両端が赤みがかった白色，他の部分は赤色．虹彩は瞳孔の上がやや黒く，その他は赤色．瞳孔は黒色．

分布　本種は小笠原諸島，高知県柏島，大隅諸島（竹島），トカラ列島（口之島），奄美群島（奄美大島，与論島），沖縄諸島（沖縄島，伊江島），および八重山諸島（石垣島）から記録されている（Randall and Yamakawa, 1996; Senou et al., 2006；三浦，2012；林，2013；西山，2014；本研究）．

備考　本種は他のアカマツカサ属魚類と比較して，鰓耙数が 42–49 と多い（同属他種は 32–42）ことから識別される．ツマリマツカサの側線有孔鱗は 27–30 枚であるが，林（2013）の検索表では本種が誤って 32–43 枚と多いグループに入れられており，同書の手順では同定することができないので注意が必要である．

Myripristis hexagona (Lacepède, 1802)
マルマツカサ　（Figs. 1F, 5; Tables 1–3, 9–10）

標本　11 個体（体長 44.5–160.7 mm）：KAUM–I. 36349，体長 55.5 mm，鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋　沖永良部島（27°22′N, 128°34′E）；KAUM–I. 65438，体長 160.7 mm，鹿児島県西之表市田之脇沖　種子島（30°41′N, 131°05′E；西之表市の魚市場で購入），2014 年 7 月 18 日，刺網，高山真由美；MUFS 45676，体長 138.1 mm，MUFS 45677，体長 142.8 mm，沖縄県南城市知念漁業協同組合で購入，2014 年 7 月 16 日；URM-P 21166，体長 44.5 mm，沖縄県　沖縄島，1989 年 1–4 月；URM-P 33606，体長 148.5 mm，沖縄県中頭郡中城村中城村浜漁港で水揚げ，1995 年 3 月 8 日；URM-P 33620，体長 144.7 mm，沖縄県中頭郡中城村中城村浜漁港で水揚げ，1995 年 5 月 9 日；URM-P 42144，体長 139.6 mm，沖縄県中頭郡中城村中城村浜漁港で水揚げ，2004 年 4 月 13 日；YCM-P 29314，体長 120.9 mm，YCM-P 36579，体長 119.8 mm，YCM-P 36587，体長 125.7 mm，鹿児島県　奄美大島．

記載　背鰭 X-I, 13–15（最頻値 14）；臀鰭鰭条数 IV, 12–13 (12)；胸鰭軟条数 13–15 (15)；側線有孔鱗数 27–28 (28)；側線上方横列鱗数 2.5；鰓耙数 13–16 (14) + 23–29 (29) = 36–45 (43).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：

体高 35.1–47.2；体幅 20.8–22.8；頭長 33.0–38.3；吻長 4.3–8.0；眼径 15.1–20.0；両眼間隔 6.9–10.2；上顎長 18.8–21.4；尾柄高 8.1–10.3；尾柄長 10.5–16.0；背鰭前長 41.3–42.3；臀鰭前長 70.7–75.8；腹鰭前長 41.5–41.9；背鰭第 1 棘条長 7.8–12.9；背鰭第 2 棘条長 10.9–16.2；背鰭最長棘条長 13.9–27.0；背鰭第 10 棘条長 4.5–5.8；背鰭第 11 棘条長 8.9–11.1；背鰭最長軟条長 22.8–27.0；臀鰭第 1 棘条長 1.1–2.2；臀鰭第 2 棘条長 3.2–7.0；臀鰭第 3 棘条長 11.5–17.0；臀鰭第 4 棘条長 9.8–16.0；臀鰭最長軟条長 22.8–25.6；尾鰭長 24.3–39.9；胸鰭長 25.0–36.2；腹鰭棘条長 14.9–17.6；腹鰭軟条長 22.7–28.1.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 35.1–47.2% と高く，背鰭起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端より前方に突出する．下顎先端の歯塊は 2 対．口裂は大きく，上顎後端は瞳孔後縁のやや後ろに位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在する．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 44.1–52.2%．鰓耙は細長く，先端は丸い．胸鰭起部は腹鰭, および背鰭の起部よりもやや前方に位置し，胸鰭後端は背鰭第 8 棘条起部直下に達する．胸鰭腋部に小鱗がある．腹鰭起部は胸鰭第 6 軟条起部直下に位置し，後端は背鰭第 8 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 10–11 棘間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭軟条部直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 10 棘条のやや後ろに位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 50.9–98.5%. 尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　固定後は体と頭部は褐色で，腹側に向かうにつれて白色になる．鰓蓋膜は鰓蓋棘の下を境に濃黒色と薄黒色に分かれる．各鰭は褐色．虹彩は瞳孔の上がやや黒く，その他は褐色．瞳孔は褐色がかった黒色.

分布　本種はインド洋北部を除くインド・太平洋に広く分布する（Randall and Greenfield, 1996）．日本国内では，小笠原諸島，大隅諸島（種子島），奄美群島（奄美大島，沖永良部島），沖縄諸島（沖縄島），および八重山諸島（石垣島）から記録されている（三浦，2012；林，2013；本研究）.

備考　本種は歯塊が 2 対であることからウロコマツカサと似るが，胸鰭腋部に小鱗をもつ（後者はもたない）ことから識別される．種子島から採集された標本（KAUM–I. 65438，体長 163.9 mm）によって，従来の報告より約 530 km 北限を更新した.

Myripristis kochiensis Randall and Yamakawa, 1996
ナミマツカサ　（Figs. 1G, 5, 8C; Tables 1–3, 9–10）

標本　30 個体（体長 57.2–179.8 mm）：KAUM–I. 29646，体長 129.6 mm，KAUM–I. 29647，体長 128.3 mm，KAUM–I. 29648，体長 130.0 mm，鹿児島県鹿児島郡三島村硫黄島南側（30°46′32″N, 130°16′43″E），水深 10–60 m，2010 年 5 月 25 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 30564，体長 73.6 mm，鹿児島県鹿児島郡三島村硫黄島南側（30°47′04″N, 130°15′42″E），水深 2–22 m，2010 年 6 月 27 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 31709，体長 100.2 mm，KAUM–I. 31710，体長 117.1 mm，KAUM–I. 31711，体長 133.6 mm，KAUM–I. 31712，体長 80.0 mm，鹿児島県鹿児島郡三島村竹島港　竹島（30°49′03″N, 130°25′11″E），水深 5–10 m，2010 年 8 月 13 日，釣り，目黒昌利・山下真広；KAUM–I. 44000，体長 170.7 mm，鹿児島県南種子町島間港近く　種子島（30°20′N, 130°51′E），2011 年 11 月 29 日，刺網，山田守彦；KAUM–I. 56131，体長 157.4 mm，KAUM–I. 56132，体長 147.4 mm，鹿児島県馬毛島沖（30°35′N, 130°41′E），2013 年 9 月 13 日，釣り，高山真由美；KAUM–I. 57261，体長 169.1 mm，KAUM–I. 57263，体長 148.7 mm，KAUM–I. 57264，体長 165.8 mm，鹿児島県西之表市田之脇沖　種子島（30°41′N, 131°05′E），2013 年 11 月 15 日，刺網，高山真由美；KAUM–I. 57930，体長 166.5 mm，KAUM–I. 57944，体長 154.0 mm，KAUM–I. 57945，体長 146.1 mm，KAUM–I. 57946，体長 142.3 mm，鹿児島県大島郡瀬戸内町蘇刈　奄美大島（28°07′50″N, 129°21′07″E），水深 3–15 m，2013 年 12 月 13 日，タモ網，萩原清司・中江雅典・千葉　悟・目黒昌利・吉田朋弘・田代郷国・横山貞夫；KAUM–I. 61923，体長 70.5 mm，KAUM–I. 61924，体長 57.7 mm，鹿児島県西之表市上古田漁港沖　種子島（30°48′N, 131°02′E），水深 10–18 m，2014 年 6 月 10 日，タモ網，本村浩之・小枝圭太・吉田朋弘・田代郷国・福井美乃；KAUM–I. 62041，体長 88.5 mm，鹿児島県西之表市国上浦田沖　種子島（30°49′36″N, 131°02′11″E），水深 10–15 m，2014 年 6 月 12 日，タモ網，小枝圭太・吉田朋弘・田代郷国・福井美乃；KAUM–I. 62179，体長 57.2 mm，鹿児島県西之表市国上浦田

沖　種子島（30°49′36″N, 131°02′11″E），水深 10–15 m，2014 年 6 月 13 日，タモ網，小枝圭太・吉田朋弘・田代郷国・福井美乃；KAUM–I. 62179，体長 57.2 mm，鹿児島県西之表市国上浦田沖　種子島（30°49′36″N, 131°02′11″E），水深 10–15 m，2014 年 6 月 13 日，タモ網，小枝圭太・吉田朋弘・田代郷国・福井美乃；KAUM–I. 65436，体長 166.2 mm，KAUM–I. 65437，体長 156.9 mm，鹿児島県西之表市田之脇沖　種子島（30°41′N, 131°05′E；西之表市の魚類市場で購入），2014 年 7 月 18 日，刺網，高山真由美；KAUM–I. 65649，体長 154.5 mm，鹿児島県西之表市国上沖　種子島（30°49′N, 131°01′E；西之表市の魚類市場で購入），2014 年 7 月 30 日，刺網，小枝圭太；KAUM–I. 68055，体長 165.9 mm，沖縄県国頭郡恩納村真栄田岬青の洞窟　沖縄島（26°26′33″N, 127°46′24″E），2008 年 9 月 22 日，刺網，小枝圭太；KAUM–I. 68064，体長 113.4 mm，沖縄県宜野湾市宜野湾漁港　沖縄島（26°17′12″N, 127°44′30″E），2008 年 12 月 4 日，釣り，小枝圭太；KAUM–I. 80410，体長 142.7 mm，鹿児島県西之表市大崎沖　種子島（30°39′N, 130°54′E），水深 25 m，2015 年 10 月 6 日，刺網，安栄丸；KAUM–I. 80907，体長 175.1 mm，鹿児島県西之表市箱崎沖　種子島（30°43′39″N, 130°58′43″E），水深 30 m，2015 年 11 月 7 日，刺網，安栄丸；KAUM–I. 82598，体長 179.8 mm，鹿児島県西之表市箱崎沖　種子島（30°43′39″N, 130°58′43″E），水深 30 m，2015 年 11 月 6 日，刺網，安栄丸.

記載　背鰭 X-I, 13–16（最頻値 14）；臀鰭鰭条数 IV, 12–13 (12)；胸鰭軟条数 14–16 (15)；側線有孔鱗数 27–34 (28)；側線上方横列鱗数 2.5；鰓耙数 10–14 (11) + 21–26 (23) = 32–40 (35).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 40.1–49.0；体幅 19.6–22.3；頭長 32.6–40.3；吻長 6.2–7.7；眼径 15.0–20.0；両眼間隔 7.2–9.1；上顎長 17.3–22.2；尾柄高 8.7–11.4；尾柄長 8.9–13.6；背鰭前長 39.1–43.2；臀鰭前長 72.6–75.5；腹鰭前長 39.8–42.7；背鰭第 1 棘条長 7.3–12.7；背鰭第 2 棘条長 10.9–15.2；背鰭最長棘条長 13.0–17.5；背鰭第 10 棘条長 3.6–7.6；背鰭第 11 棘条長 8.0–11.3；背鰭最長軟条長 19.7–23.1；臀鰭第 1 棘条長 1.3–2.6；臀鰭第 2 棘条長 3.8–5.5；臀鰭第 3 棘条長 10.6–16.3；臀鰭第 4 棘条長 10.7–14.7；臀鰭最長軟条長 20.2–23.1；尾鰭長 27.4–34.3；胸鰭長 24.5–28.3；腹鰭棘条長 14.2–16.7；腹鰭軟条長 22.1–24.3.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 40.1–49.0% と高く，背鰭起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端より前方に突出する．下顎先端の歯塊は 1 対．口裂は大きく，上顎後端は瞳孔後縁のやや後ろに位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在する．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 40.2–51.3%．鰓耙は細長く，先端は丸い．胸鰭起部は腹鰭，および背鰭の起部よりもやや前方に位置し，胸鰭後端は背鰭第 8 棘条起部直下に達する．胸鰭腋部に小鱗がある．腹鰭起部は胸鰭第 2 軟条起部直下に位置し，後端は背鰭第 8 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 10–11 棘間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭軟条部直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 10 棘条のやや後ろに位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 77.1–99.1%. 尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体と頭部は暗赤色で，腹側に向かうにつれて鱗が赤く縁どられた銀色になる．鰓蓋膜は黒色．背鰭棘条部は赤色，鰭膜の下 1/2 が白みがかった赤色，背鰭棘は赤色，背鰭軟条部は第 1 軟条の上 1/2 が白色，第 2–4 軟条の上 1/2 は黒赤色，他の部分は赤色. 胸鰭は一様に赤みがかった透明. 腹鰭は第 1 棘と第 1 軟条の上 1/2 が白色で，第 1 軟条下から第 2 軟条まで赤色．鰭膜は透明，鰭条は白みがかった赤色．臀鰭棘は先端のみ白色，他は赤色．第 1 軟条の上 1/2 から第 2 軟条までは白色，第 2–3 軟条の上 1/2 は赤黒色，他の部分は赤色．尾鰭は上下両端が白色, そのそばは薄い黒色, 他の部分は赤色．虹彩は瞳孔の上がやや黒く，その他は赤みがかった銀色．瞳孔は黒色.

分布　日本固有種．八丈島，伊豆半島東岸から鹿児島県内ノ浦にかけての太平洋沿岸，大隅諸島（竹島, 硫黄島, 種子島, 馬毛島), 奄美群島（奄美大島），および沖縄諸島（沖縄島）から記録されている（Randall and Yamakawa, 1996；平田ほか, 2001；林，2013；西山，2013；本研究）.

備考　本種は高知県柏島から得られた標本に基づき，Randall and Yamakawa（1996）によって新種として記載された.

Myripristis kuntee Valenciennes, 1831

クロオビマツカサ (Figs. 1H, 5; Tables 1–3, 9–10)

標本 41 個体（体長 81.5–151.5 mm）：KAUM–I. 29670, 体長 106.7 mm，KAUM–I. 29671，体長 133.1 mm，鹿児島県鹿児島郡三島村オンボ崎南側　竹島（30°48′32″N, 130°24′33″E），水深 5–20 m，2010 年 5 月 29 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 48036，体長 82.4 mm，KAUM–I. 48037，体長 81.5 mm，鹿児島県大島郡与論町茶花海岸　与論島（27°02′09″N, 128°24′08″E），水深 1–3 m，2012 年 8 月 16 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 55905，体長 85.2 mm，鹿児島県熊毛郡南種子町島間港　種子島（30°28′02″N, 130°51′38″E），水深 1–10 m，2013 年 8 月 1 日，釣り，目黒昌利・吉田朋弘・田代郷国；KAUM–I. 63191，体長 151.5 mm，KAUM–I. 63192，体長 139.4 mm，鹿児島県口之島北方（30°11′N, 130°06′E；鹿児島市中央卸売市場魚類市場で購入），2014 年 7 月 28 日，釣り，畑　晴陵・江口慶輔；KAUM–I. 63594，体長 140.6 mm，鹿児島県鹿児島郡十島村七ツ山海岸沖　中之島（29°50′33″N, 129°53′51″E），水深 10 m，2014 年 8 月 31 日，モリ，小枝圭太；KAUM–I. 65921，体長 120.4 mm，鹿児島県大島郡天城町与名間漁港沖　徳之島（27°53′09″N, 128°53′29″E），2014 年 9 月 30 日，モリ，小枝圭太；KAUM–I. 67899，体長 127.8 mm，KAUM–I. 67900，体長 125.2 mm，KAUM–I. 67901，体長 132.7 mm，鹿児島県西之表市田之脇沖　種子島（30°41′N, 131°05′E），水深 30 m，2014 年 12 月 27 日，刺網，高山真由美；KAUM–I. 68052，体長 126.8 mm，KAUM–I. 68059，体長 127.1 mm，KAUM–I. 68077，体長 123.3 mm，KAUM–I. 68086，体長 128.1 mm，KAUM–I. 68088，体長 119.7 mm，KAUM–I. 68090，体長 129.3 mm，沖縄県　石垣島（沖縄県漁業協同組合連合会で購入），2009 年 6 月 12 日，小枝圭太；KAUM–I. 68087，体長 125.3 mm，沖縄県宜野湾市宜野湾漁港　沖縄島（26°17′12″N, 127°44′30″E），2008 年 12 月 4 日，釣り，小枝圭太；KAUM–I. 71410，体長 130.8 mm，鹿児島県西之表市上古田漁港沖　種子島（30°48′N, 131°02′E），水深 15 m，2015 年 4 月 8 日，刺網，磯川次夫（安栄丸）；KAUM–I. 72807，体長 137.6 mm，鹿児島県熊毛郡南種子町広田港沖　種子島（30°25′29″N, 130°58′50″E），水深 20 m，2015 年 3 月 29 日，定置網，高山真由美；KAUM–I. 76421，体長 106.1 mm，鹿児島県熊毛郡中種子町熊野沖　種子島（30°28′13″N, 130°58′32″E），2015 年 6 月 27 日，定置網，高山真由美；KAUM–I. 78191，体長 149.4 mm，鹿児島県鹿児島郡十島村西之浜漁港西側　口之島（29°59′30″N, 129°54′42″E），水深 18 m，2015 年 8 月 28 日，モリ，小枝圭太；KAUM–I. 79730，体長 144.9 mm，鹿児島県西之表市大崎沖　種子島（30°39′N, 130°54′E），水深 25 m，2015 年 9 月 23 日，刺網，安栄丸；KAUM–I. 80292，体長 145.4 mm，鹿児島県西之表市花里浜海岸　種子島（30°44′45″N, 130°59′44″E），水深 17 m，2015 年 10 月 7 日，刺網，安栄丸；KAUM–I. 80908，体長 138.7 mm，鹿児島県西之表市箱崎沖　種子島（30°43′39″N, 130°58′43″E），水深 30 m，2015 年 11 月 7 日，刺網，安栄丸；KAUM–I. 82601，体長 137.4 mm，鹿児島県西之表市箱崎沖　種子島（30°43′39″N, 130°58′43″E），水深 30 m，2015 年 11 月 6 日，刺網，安栄丸；KAUM–I. 83416，体長 117.8 mm，KAUM–I. 83417，体長 133.4 mm，沖縄県沖縄市泡瀬（沖縄県泡瀬パヤオ市場で購入），2015 年 10 月 29 日，桜井　雄；KAUM–I. 83437，体長 129.3 mm，鹿児島県大島郡伊仙町伊仙崎　徳之島（27°39′39″N, 128°58′08″E），水深 5 m，2015 年 12 月 5 日，釣り，餅田　樹；MUFS 15936，体長 139.8 mm，MUFS 15937，体長 137.3 mm，沖縄県　伊江島，1998 年 7 月 7 日；URM-P 5965，体長 86.9 mm，沖縄県八重山郡竹富町豊原　西表島，1976 年 8 月 3 日，モリ；URM-P 6622，体長 130.7 mm，沖縄県南城市知念漁業協同組合で水揚げ，1983 年 1 月 28 日；URM-P 28280，体長 124.2 mm，URM-P 28281，体長 131.3 mm，八重山諸島（沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ），1992 年 7 月 13 日；URM-P 28299，体長 124.5 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1992 年 7 月 17 日；URM-P 30288，体長 131.8 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1993 年 9 月 30 日；URM-P 36510，体長 142.8 mm，沖縄県国頭郡恩納村万座毛　沖縄島，水深 12 m，1996 年 9 月 13 日；URM-P 38219，体長 130.4 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1997 年 7 月 10 日；URM-P 39412，体長 89.0 mm，沖縄県八重山郡竹富町大見謝川　西表島，1998 年 8 月 10 日.

記載 背鰭 X-I, 15–17（最頻値 16）；臀鰭鰭条数 IV, 14–16 (15)；胸鰭軟条数 14–16 (15)；側線有孔鱗数 36–42 (38)；側線上方横列鱗数 2.5；鰓耙数 10–14 (12) + 19–27 (25) = 32–40 (37).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 41.9–45.5；体幅 18.1–21.6；頭長 31.2–35.2；吻長 5.1–7.4；眼径 13.0–18.3；両眼間隔 7.3–9.3；上顎長 16.9–19.2；尾柄高 9.0–17.8；尾柄長 10.1–17.6；背鰭前長 38.6–42.4；臀鰭前長 68.3–72.8；腹鰭前長 38.1–40.7；背鰭第 1 棘条長 8.1–15.3；背鰭第 2 棘条長 11.2–17.4；背鰭最長棘条長 15.2–20.0；背鰭第 10 棘条長 3.3–6.1；背鰭第 11 棘条長 7.2–11.2；背鰭最長軟条長 18.8–22.8；臀鰭第 1 棘条長 0.9–1.8；臀鰭第 2 棘条長 3.1–4.7；臀鰭第 3 棘条長 9.5–13.1；臀鰭第 4 棘条長 9.5–13.8；臀鰭最長軟条長 19.3–24.2；尾鰭長 34.6–39.6；胸鰭長 26.4–29.0；腹鰭棘条長 14.7–17.9；腹鰭軟条長 20.5–26.0.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 41.9–45.5% と高く，背鰭起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端よりわずかに前方に突出する．下顎先端の歯塊は 1 対．口裂は大きく，上顎後端は瞳孔後縁に位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在する．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 39.4–53.5%．鰓耙は細長く，先端は丸い．胸鰭起部は腹鰭, および背鰭の起部よりもやや前方に位置し，胸鰭後端は背鰭第 8 棘条起部直下に達する．胸鰭

腋部に小鱗がない．腹鰭起部は胸鰭第 2 軟条起部直下に位置し，後端は背鰭第 7 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 10–11 棘間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭軟条部直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 10 棘条のやや後ろに位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 56.3–98.4%. 尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体と頭部は赤色で，腹側に向かうにつれて赤みがかった橙色になる．鰓蓋膜付近は赤黒色．背鰭棘条部は鰭膜の上 1/2 が橙色，その下に白色帯はいる，背鰭棘はオレンジがかった赤色，背鰭軟条部は第 1 軟条の上 1/2 が赤みがかった白色，第 2–6 軟条の上端は赤色，鰭膜は白みがかった透明，鰭条は赤色．胸鰭は鰭条が薄い橙色，鰭膜は透明．腹鰭は棘と第 1 軟条の上 1/2 が白色で，鰭条は橙色，鰭膜は透明．臀鰭棘は先端のみ赤みがかった白色．第 1 軟条の上 1/2 は白色，他の部分は赤色．尾鰭は上下両端が赤みがかった白色，他は赤色．虹彩は瞳孔の上がやや黒く，その他は赤みがかった銀色．瞳孔は黒色．

分布　本種はインド・太平洋に広く分布する（Randall and Greenfield, 1996）．日本国内では，八丈島，小笠原諸島，和歌山県串本，高知県以布利・柏島，大隅諸島（竹島，種子島，屋久島），トカラ列島（口之島），奄美群島（徳之島，与論島），沖縄諸島（沖縄島，伊江島），慶良間諸島，宮古諸島，および八重山諸島（石垣島，西表島）から記録されている（増田・アレン，1991；清水，1997；Senou et al., 2006, 2007；Motomura et al., 2010；林，2013；西山，2013, 2014；本研究）．

備考　本種は他のアカマツカサ属魚類と比べ，有孔側線鱗数が 38–43 と多く（同属他種は 27–37），主鰓蓋骨と鰓蓋膜の暗色域が胸鰭基底下部まで達することから識別される．

Myripristis murdjan (Forsskål, 1775)

ヨゴレマツカサ　(Figs. 2A, 5; Tables 1–3, 9–10)

標本　54 個体（体長 37.6–174.0 mm）：KAUM–I. 1906, 体長 99.0 mm，鹿児島県　沖永良部島，1962 年 7 月；KAUM–I. 2765，体長 42.1 mm，KAUM–I. 2766，体長 37.6 mm，KAUM–I. 2767，体長 42.7 mm，鹿児島県　与論島，1961 年 7 月；KAUM–I. 8184，体長 120.3 mm，沖縄県，1958 年 8 月；KAUM–I. 11463，体長 101.4 mm，鹿児島県熊毛郡屋久島町一湊　屋久島（30°27′23″N, 130°29′59″E），水深 0.1–5 m，2008 年 8 月 13 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 36912，体長 75.3 mm，鹿児島県熊毛郡屋久島町尾之間　屋久島（30°14′N, 130°33′E），1988 年 10 月 13 日；KAUM–I. 39804，体長 158.5 mm，鹿児島県与論島沖（与論島茶花魚類市場で購入），2011 年 8 月 10 日，刺網，松沼瑞樹；KAUM–I. 41102, 体長 41.9 mm, 鹿児島県大島郡与論町シゴー沖　与論島（27°01′20″N, 128°25′47″E），水深 2–10 m，2011 年 8 月 18 日，タモ網，目黒昌利・片山英里；KAUM–I. 42292，体長 45.7 mm，鹿児島県大島郡与論町供利漁港　与論島（27°01′58″N, 128°24′35″E），水深 1–2 m，2011 年 11 月 4 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 46056，体長 63.9 mm，鹿児島県大島郡与論町供利漁港　与論島（27°01′54″N, 128°24′29″E），水深 2–5 m，2012 年 4 月 19 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 48134，体長 73.3 mm，鹿児島県大島郡与論町茶花港　与論島（27°03′01″N, 128°24′05″E），2012 年 8 月 18 日，釣り，岡本　誠；KAUM–I. 57873，体長 118.4 mm，鹿児島県大島郡瀬戸内町崎ノ目　奄美大島（28°11′25″N, 129°15′50″E），水深 5–25 m，2013 年 12 月 9 日，タモ網，萩原清司・中江雅典・千葉　悟・本村浩之・目黒昌利・吉田朋弘・田代郷国・横山貞夫；KAUM–I. 57939，体長 111.4 mm，KAUM–I. 57947，体長 123.9 mm，KAUM–I. 57948，体長 117.7 mm，鹿児島県大島郡瀬戸内町蘇刈　奄美大島（28°07′50″N, 129°21′07″E），水深 3–15 m，2013 年 12 月 13 日，タモ網，萩原清司・中江雅典・千葉　悟・目黒昌利・吉田朋弘・田代郷国・横山貞夫；KAUM–I. 62162，体長 167.3 mm，鹿児島県西之表市浦田沖　種子島（30°49′36″N, 131°02′11″E），水深 10–15 m，2014 年 6 月 13 日，タモ網，小枝圭太・吉田朋弘・田代郷国・福井美乃；KAUM–I. 63357，体長 132.4 mm，KAUM–I. 63363，体長 108.7 mm，鹿児島県鹿児島郡十島村中之島港内　中之島（29°50′22″N, 129°50′50″E），水深 4 m，2014 年 8 月 31 日，釣り，本村浩之・小枝圭太・吉田朋弘・田代郷国；KAUM–I. 66385，体長 164.7 mm，鹿児島県西之表市東岸沖　種子島（30°47′N, 131°05′E；西之表市の魚類市場で購入），水深 50–60 m，2014 年 9 月 20 日，釣り，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 68053，体長 161.7 mm，沖縄県中頭郡嘉手納町水釜　沖縄島（26°17′12″N, 127°44′19″E），2008 年 2 月 28 日，刺網，小枝圭太；KAUM–I. 68056，体長 157.1 mm，沖縄県沖縄島，小枝圭太；KAUM–I. 68079，体長 70.7 mm，沖縄県宜野湾市宜野湾漁港　沖縄島（26°17′12″N, 127°44′30″E），2008 年 12 月 4 日，釣り，小枝圭太；KAUM–I. 71064，体長 58.8 mm，KAUM–I. 71065，体長 59.8 mm，鹿児島県大島郡与論町茶花港内　与論島（27°02′57″N, 128°24′43″E），水深 1–2 m，2015 年 3 月 17 日，タモ網，田代郷国・大澤洋太；KAUM–I. 72515，体長 102.0 mm，鹿児島県大島郡喜界町赤連湾港　喜界島（28°19′42″N, 129°56′09″E），水深 6 m，2015 年 5 月 4 日，釣り，稲葉智樹；KAUM–I. 80525，体長 154.4 mm，鹿児島県西之表市花里浜海岸　種子島（30°44′45″N, 130°59′44″E），水深 10 m，2015 年 9 月 16 日，刺網，安栄丸；

KAUM–I. 82486，体長 120.1 mm，鹿児島県大島郡徳之島町亀徳港　徳之島（27°44′29″N, 129°01′34″E），水深 1–15 m，2015 年 11 月 28 日，モリ，小枝圭太；KAUM–I. 82563，体長 159.5 mm，鹿児島県大島郡伊仙町伊仙崎　徳之島（27°39′39″N, 128°58′08″E），水深 5 m，2015 年 11 月 28 日，釣り，餅田　樹；MUFS 12660，体長 166.1 mm，沖縄県沖縄島，1996 年 11 月 8 日，小型定置網；MUFS 15957，体長 147.4 mm，MUFS 15958，体長 144.0 mm，MUFS 15959，体長 158.2 mm，MUFS 15960，体長 158.7 mm，MUFS 15961，体長 151.1 mm，MUFS 15962，体長 153.5 mm，MUFS 15963，体長 142.1 mm，沖縄県　伊江島，1998 年 7 月 7 日；MUFS 32775，体長 151.0 mm，沖縄県那覇市泊沖縄島，2010 年 5 月 22 日；MUFS 46137，体長 142.5 mm，沖縄県国頭郡本部町備瀬崎　沖縄島，2013 年 7 月 2 日；URM-P 18388，体長 160.0 mm，沖縄県国頭郡恩納村真栄田岬　沖縄島，1986 年 11 月 4 日，釣り；URM-P 18495，体長 174.0 mm，沖縄県国頭郡恩納村真栄田岬　沖縄島，1986 年 12 月 1 日，釣り；URM-P 28705，体長 147.3 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1992 年 10 月 30 日；URM-P 34689，体長 148.6 mm，沖縄県国頭郡恩納村真栄田岬　沖縄島，1995 年 10 月 15 日；URM-P 34710，体長 143.4 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1995 年 10 月 30 日；URM-P 34745，体長 47.1 mm，沖縄県中頭郡北谷町砂辺　沖縄島，1995 年 11 月 9 日；URM-P 34766，体長 94.4 mm，宜野湾市沖縄コンベンションセンター前　沖縄島（26°16′N, 127°43′E），1995 年 11 月 25 日；URM-P 36340，体長 69.3 mm，URM-P 36341，体長 72.0 mm，沖縄県八重山郡竹富町南風見田の浜　西表島（24°16′N, 123°49′E），1996 年 8 月 15 日；URM-P 36913，体長 63.9 mm，沖縄県うるま市石川赤崎　沖縄島，1996 年 12 月 10 日；URM-P 36941，体長 51.0 mm，沖縄県　瀬底島，1996 年 12 月 13 日；URM-P 39068，体長 129.8 mm，沖縄県国頭郡恩納村万座毛　沖縄島，1998 年 1 月 1 日；URM-P 39628，体長 143.3 mm，URM-P 39629，体長 157.7 mm，URM-P 39630，体長 151.3 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1998 年 12 月 16 日.

記載　背鰭 X-I, 13–16（最頻値 14）；臀鰭鰭条数 IV, 11–14 (12)；胸鰭軟条数 14–16 (15)；側線有孔鱗数 27–30 (28)；側線上方横列鱗数 2.5；鰓耙数 10–14 (12) + 22–28 (25) = 33–41 (37).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 39.9–50.8；体幅 17.5–25.4；頭長 32.5–40.2；吻長 5.0–8.2；眼径 14.0–19.9；両眼間隔 7.2–11.0；上顎長 17.8–22.2；尾柄高 9.6–11.0；尾柄長 12.0–18.9；背鰭前長 25.0–42.6；臀鰭前長 71.0–76.8；腹鰭前長 38.1–43.1；背鰭第 1 棘条長 9.4–14.0；背鰭第 2 棘条長 11.3–17.5；背鰭最長棘条長 14.4–19.8；背鰭第 10 棘条長 3.0–6.7；背鰭第 11 棘条長 8.7–13.9；背鰭最長軟条長 19.6–23.5；臀鰭第 1 棘条長 1.0–2.1；臀鰭第 2 棘条長 3.8–15.2；臀鰭第 3 棘条長 11.3–16.9；臀鰭第 4 棘条長 10.6–16.0；臀鰭最長軟条長 19.6–24.0；尾鰭長 32.8–37.5；胸鰭長 19.4–28.7；腹鰭棘条長 14.8–16.8；腹鰭軟条長 21.2–24.1.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 39.9–50.8% と高く，背鰭起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端より前方に突出する．下顎先端の歯塊は 1 対．口裂は大きく，上顎後端は瞳孔後縁に位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在する．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 40.5–53.2%．鰓耙は細長く，先端は丸い．胸鰭起部は腹鰭，および背鰭の起部よりもやや前方に位置し，胸鰭後端は背鰭第 7 棘条起部直下に達する．胸鰭腋部に小鱗がある．腹鰭起部は胸鰭第 2 軟条起部直下に位置し，後端は背鰭第 7 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 10–11 棘間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭軟条部直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 10 棘条直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 51.0–91.9%．尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体と頭部は赤色で，腹側に向かうにつれて赤みがかった銀色になる．鰓蓋膜は薄い赤黒色で，鰓蓋棘の下で途切れる．背鰭棘条部は鰭膜の上 1/2 が赤色，その下は白色，背鰭棘は赤色，背鰭軟条部は第 1 軟条の上がわずかに白色，鰭膜は赤みがかった白色，鰭条は赤色．胸鰭は赤色で腹側になるにつれ，薄くなる．腹鰭は棘と第 1 軟条の上 1/2 が白色で，鰭条は橙色，鰭膜は透明．臀鰭棘は赤みがかった白色，第 1 軟条の上 1/2 は白色，鰭条と鰭膜は赤色で，尾鰭側に向かうにつれて白色になる．尾鰭は上下両端が赤みがかった白色，他は赤色．虹彩は瞳孔の上が黒く，その他は赤みがかった銀色．瞳孔は黒色.

分布　本種はハワイ諸島を除くインド・太平洋に広く分布する（Randall and Greenfield, 1996；林，2013）．日本国内では，小笠原諸島，和歌山

県串本，大隅諸島（種子島，屋久島），トカラ列島（中之島），奄美群島（奄美大島，喜界島，徳之島，沖永良部島，与論島），沖縄諸島（沖縄島，伊江島，瀬底島），および八重山諸島（石垣島，西表島）から記録されている（Senou et al., 2006；Motomura et al., 2010；三浦，2012；林，2013；西山，2014；加藤，2014；本研究）．

備考　本種は琉球列島の広い範囲から確認された．

Myripristis pralinia Cuvier, 1829

コガネマツカサ　（Figs. 2B, 5; Tables 1–3, 9–10）

標本　24 個体（体長 112.4–141.2 mm）：KAUM–I. 57931，体長 117.3 mm，KAUM–I. 57933，体長 128.3 mm，KAUM–I. 57934，体長 130.5 mm，KAUM–I. 57935，体長 128.2 mm，KAUM–I. 57936，体長 133.0 mm，KAUM–I. 57938，体長 118.8 mm，KAUM–I. 57940，体長 127.7 mm，KAUM–I. 57941，体長 127.9 mm，KAUM–I. 57942，体長 113.6 mm，鹿児島県大島郡瀬戸内町蘇刈　奄美大島（28°07′50″N, 129°21′07″E），水深 3–15 m，2013 年 12 月 13 日，タモ網，萩原清司・中江雅典・千葉　悟・目黒昌利・吉田朋弘・田代郷国・横山貞夫；MUFS 12622，体長 130.4 mm，沖縄県那覇市　沖縄島；URM-P 640，体長 132.6 mm，URM-P 642，体長 132.6 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1973 年 12 月 21 日；URM-P 676，体長 122.3 mm，URM-P 677，体長 141.2 mm，沖縄県　瀬底島，1977 年 9 月 12–13 日，釣り；URM-P 1389，体長 118.8 mm，沖縄県　沖縄島，1960 年代；URM-P 3089，体長 117.5 mm，沖縄県　石垣島，1982 年 5 月 29 日，刺網；URM-P 3307，体長 128.6 mm，南城市知念漁業協同組合で水揚げ，1982 年 6 月 16 日，定置網；URM-P 23968，体長 139.6 mm，URM-P 23970，体長 136.2 mm，URM-P 23971，体長 132.4 mm，沖縄県国頭郡恩納村沖縄島，1990 年 4–6 月；URM-P 25108，体長 121.0 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1990 年 12 月 10 日；YCM-P 29145，体長 112.4 mm，YCM-P 34046，体長 134.0 mm，YCM-P 36167，体長 135.2 mm，鹿児島県大島郡瀬戸内町　奄美大島．

記載　背鰭 X-I, 14–18；臀鰭鰭条数 IV, 13–16 (15)；胸鰭軟条数 13–15 (15)；側線有孔鱗数 34–41 (38)；側線上方横列鱗数 2.5；鰓耙数 10–15 (12) + 21–27 (25) = 32–40 (38).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 39.9–44.5；体幅 16.3–20.2；頭長 30.7–35.0；吻長 5.7–7.1；眼径 14.8–17.7；両眼間隔 7.0–10.1；上顎長 16.6–18.9；尾柄高 12.5–15.6；尾柄長 12.5–15.6；背鰭前長 38.6；臀鰭前長 69.8；腹鰭前長 39.1；背鰭第 1 棘条長 10.6–16.5；背鰭第 2 棘条長 15.2–19.3；背鰭最長棘条長 15.1–18.8；背鰭第 10 棘条長 1.6–6.5；背鰭第 11 棘条長 7.9–10.6；背鰭最長軟条長 20.2；臀鰭第 1 棘条長 1.8；臀鰭第 2 棘条長 4.7；臀鰭第 3 棘条長 10.4–13.8；臀鰭第 4 棘条長 10.1–14.7；尾鰭長 37.5；胸鰭長 28.1；腹鰭棘条長 17.4；腹鰭軟条長 23.7.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 39.9–44.5% と高く，背鰭起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端はあまり突出しない．下顎先端の歯塊は 1 対．口裂は大きく，上顎後端は瞳孔後縁のやや後ろに位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在する．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 16.3–53.6%．鰓耙は細長く，先端は丸い．胸鰭起部は腹鰭，および背鰭の起部よりもやや前方に位置し，胸鰭後端は背鰭第 8 棘条起部直下に達する．胸鰭腋部に小鱗がない．腹鰭起部は胸鰭第 2 軟条起部直下に位置し，後端は背鰭第 8 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 10–11 棘間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭軟条部直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 10 棘条直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 70.1–86.4%．尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　固定後は体と頭部は褐色．鰓蓋膜は鰓蓋棘のすぐ下を境に黒色と褐色に分かれる．各鰭は褐色．虹彩は黒色．瞳孔は褐色がかった黒色．

分布　本種はインド北西部とハワイを除くインド・太平洋に広く分布する（Randall and Greenfield, 1996；林，2013）．日本国内では，奄美群島（奄美大島），沖縄諸島（沖縄島，瀬底島），および八重山諸島（石垣島）から記録された（林，2013；本研究）．

備考　本種はクロオビマツカサと有孔側線鱗数が 35–40 と多いことで似るが，鰓蓋膜の暗色域が胸鰭基底下部まで達しない（クロオビマツカサ

は達する）こと，および背鰭棘部先端が白色（黄色または橙色）で識別される（Randall and Greenfield, 1996）.

Myripristis robusta Randall and Greenfield, 1996
ユウヤケマツカサ　(Fig. 5; Tables 1–3, 9–10)

標本　1 個体（体長 169.9 mm）：MUFS 12124，体長 169.9 mm，沖縄県八重山郡竹富町船浮湾　西表島（24°20′N, 123°43′E），1996 年 5 月 1 日.

記載　背鰭 X-I, 14；臀鰭鰭条数 IV, 12；胸鰭軟条数 15；側線有孔鱗数 28；側線上方横列鱗数 2.5；鰓耙数 11 + 21 = 32.

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 47.7；体幅 21.9；頭長 34.6；吻長 7.4；眼径 15.8；両眼間隔 6.6；上顎長 20.3；尾柄高 10.0；尾柄長 12.0；背鰭前長 41.6；臀鰭前長 74.0；腹鰭前長 43.5；背鰭第 1 棘条長 8.1；背鰭第 2 棘条長 13.4；背鰭最長棘条長 17.3；背鰭第 10 棘条長 6.4；背鰭第 11 棘条長 9.6；背鰭最長軟条長 23.3；臀鰭第 1 棘条長 1.7；臀鰭第 2 棘条長 5.4；臀鰭第 3 棘条長 12.7；臀鰭第 4 棘条長 13.3；臀鰭最長軟条長 23.7；尾鰭長 32.8；胸鰭長 23.4；腹鰭棘条長 17.9；腹鰭軟条長 27.2.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 47.7% と高く，背鰭起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端はあまり突出しない．下顎先端の歯塊は 2 対．口裂は大きく，上顎後端は瞳孔後縁のやや後ろに位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在する．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 45.7%．鰓耙は細長く，先端は丸い．胸鰭起部は腹鰭，および背鰭の起部よりもやや前方に位置し，胸鰭後端は背鰭第 7 棘条起部直下に達する．胸鰭腋部に小鱗がない．腹鰭起部は胸鰭第 1 軟条起部直下に位置し，後端は背鰭第 7 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 10–11 棘間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭軟条部直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 10 棘条直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 83.8%．尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　固定後は体と頭部は褐色．鰓蓋膜は鰓蓋棘の下を境に黒色と褐色に分かれる．各鰭は褐色．虹彩は褐色．瞳孔は青みがかった黒色.

分布　本種はパプアニューギニア，フィリピン，および日本から記録されている（Randall and Greenfield, 1996；林，2013）．日本国内では，八重山諸島（西表島）から記録された（岩槻ほか，2000；林，2013；本研究）.

備考　本種は岩槻ほか（2000）によって西表島から得られた標本に基づき日本初記録として報告された.

Myripristis violacea Bleeker, 1851
セグロマツカサ　(Figs. 2C, 5; Tables 1–3, 9–10)

標本　36 個体（体長 108.7–141.2 mm）：KAUM–I. 50813，体長 113.0 mm，鹿児島県大島郡与論町茶花　与論島（27°03′01″N, 128°24′05″E），2012 年 8 月 19 日，釣り，岡本　誠；KAUM–I. 57943，体長 159.5 mm，KAUM–I. 57949，体長 120.0 mm，KAUM–I. 57950，体長 138.4 mm，KAUM–I. 57951，体長 142.2 mm，鹿児島県大島郡瀬戸内町蘇刈　奄美大島（28°07′50″N, 129°21′07″E），水深 3–15 m，2013 年 12 月 13 日，タモ網，萩原清司・中江雅典・千葉　悟・目黒昌利・吉田朋弘・田代郷国・横山貞夫；KAUM–I. 68080，体長 108.7 mm，沖縄県宜野湾市宜野湾漁港　沖縄島（26°17′12″N, 127°44′30″E），2008 年 11 月 15 日，釣り，小枝圭太；KAUM–I. 83338，体長 137.3 mm，沖縄県糸満市糸満漁港で水揚げ（沖縄県糸満市糸満お魚センターで購入），2015 年 12 月 1 日，桜井　雄；MUFS 12612，体長 127.5 mm，MUFS 12613，体長 143.0 mm，MUFS 12614，体長 129.6 mm，MUFS 12615，体長 132.4 mm，MUFS 12616，体長 119.0 mm，MUFS 12617，体長 144.7 mm，MUFS 12618，体長 129.9 mm，MUFS 12619，体長 133.5 mm，MUFS 12620，体長 146.3 mm，MUFS 12621，体長 145.9 mm，MUFS 12625，体長 133.4 mm，MUFS 12628，体長 139.7 mm，沖縄県那覇市　沖縄島；MUFS 15435，体長 124.8 mm，沖縄県八重山郡竹富町　内離島，1998 年 5 月 15 日；URM-P 678，体長 151.6 mm，沖縄県瀬底島南東のリーフエッジ（26°38′N, 127°52′E），1976 年 10 月 11 日；URM-P 6623，体長 138.8 mm，URM-P 6626，体長 123.6 mm，沖縄県南城市知念漁業協同組合で水揚げ，1983 年 1 月 28 日；URM-P 30694，体長 138.4 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1993 年 11 月 8 日；URM-P 32877，体長 155.4 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1994 年 11 月 4 日；URM-P

33862，体長 118.8 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1995 年 6 月 28 日；URM-P 34746，体長 57.1 mm，沖縄県宜野湾市沖縄コンベンションセンター前　沖縄島（26°16′N, 127°43′E），1995 年 11 月；URM-P 34765，体長 46.0 mm，沖縄県宜野湾市沖縄コンベンションセンター前　沖縄島（26°16′N, 127°43′E），1995 年 11 月 25 日；URM-P 34990，体長 71.9 mm，沖縄県中頭郡北谷町砂辺　沖縄島，1995 年 11 月 25 日；URM-P 35566，体長 173.5 mm，沖縄県うるま市石川赤崎　沖縄島，1996 年 5 月 4 日，水深 4 m；URM-P 36339，体長 71.9 mm，沖縄県八重山郡竹富町南風見田の浜　西表島（24°16′N, 123°49′E），1996 年 8 月 15 日；URM-P 36342，体長 31.9 mm，URM-P 36343，体長 33.8 mm，沖縄県八重山郡竹富町星砂の浜　西表島（24°26′N, 123°46′E），1996 年 8 月 21 日；URM-P 39450，体長 102.8 mm，URM-P 39451，体長 102.4 mm，沖縄県国頭郡国頭村宜名真漁港　沖縄島（26°50′N, 128°15′E），1998 年 8 月 27 日，釣り；URM-P 39627，体長 151.7 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1998 年 12 月 16 日.

記載　背鰭 X-I, 13–17（最頻値 15）；臀鰭鰭条数 IV, 12–14 (13)；胸鰭軟条数 14–16 (15)；側線有孔鱗数 26–29 (27)；側線上方横列鱗数 2.5；鰓耙数 10–15 (13) + 23–30 (27) = 33–44.

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 37.2–46.8；体幅 19.3；頭長 30.7–39.7；吻長 5.5–6.8；眼径 13.8–21.5；両眼間隔 6.4–10.5；上顎長 16.6–23.2；尾柄高 10.8；尾柄長 12.0；背鰭前長 40.5；臀鰭前長 71.3；腹鰭前長 41.1；背鰭第 1 棘条長 7.9–14.1；背鰭第 2 棘条長 15.6–18.7；背鰭最長棘条長 16.4–20.9；背鰭第 10 棘条長 4.5–7.2；背鰭第 11 棘条長 9.5–14.5；背鰭最長軟条長 24.6；臀鰭第 1 棘条長 2.8；臀鰭第 2 棘条長 5.6；臀鰭第 3 棘条長 11.9–16.8；臀鰭第 4 棘条長 11.8–15.7；臀鰭最長軟条長 24.7；尾鰭長 34.9；胸鰭長 25.9；腹鰭棘条長 17.3；腹鰭軟条長 25.1.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 37.2–46.8% と高く，背鰭起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端よりわずかに前方に突出する．下顎先端の歯塊は 1 対．口裂は大きく，上顎後端は瞳孔後縁に位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在する．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 42.8–55.5%．鰓耙は細長く，先端は丸い．胸鰭起部は腹鰭の直上，および背鰭の起部より前方に位置し，胸鰭後端は背鰭第 7 棘条起部直下に達する．胸鰭腋部に小鱗がある．腹鰭起部は胸鰭第 1 軟条起部直下に位置し，後端は背鰭第 7 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 10–11 棘間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭軟条部直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 10 棘条直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 90.1%．尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体と頭部は銀色で，背側の鱗はやや赤く黒く縁どられる．鰓蓋膜は薄い赤黒色．背鰭棘条部は鰭膜の上 1/2 が赤色，その下は赤みがかった白色，背鰭軟条部は第 1 軟条の上，および下 1/2 が白色．胸鰭は一様に赤みがかった透明．腹鰭は第 2 軟条が褐色で，鰭条は白色，鰭膜は透明．臀鰭棘は白色．軟条の上 1/2 は赤色，他は赤みがかった白色，鰭膜は白みがかった透明．尾鰭は上下両端が赤みがかった白色，他は赤色．尾鰭は上下両端が白色，外側は赤色，内側は赤みがかった白色．虹彩は赤みがかった褐色．瞳孔は黒色.

分布　本種はインド北西部とハワイ諸島を除くインド・太平洋に広く分布する（Randall and Greenfield, 1996；林，2013）．日本国内では，大隅諸島（屋久島），奄美群島（奄美大島，与論島），沖縄諸島（沖縄島，伊江島，瀬底島），慶良間諸島，宮古諸島，および八重山諸島（西表島）から記録されている（新垣・吉野，1984；増田・アレン，1991；　清　水，1997；Senou et al., 2006, 2007；Motomura et al., 2010；林，2013；西山，2014；本研究）.

備考　本種は側線より背側の鱗の後縁が暗褐色であることから同属他種と識別される.

Myripristis vittata Valenciennes, 1831

ベニマツカサ　(Figs. 2D, 5, 7D, 8A; Tables 1–3, 9–10)

標本　5 個体（体長 100.2–154.2 mm）：KAUM–I. 37925，体長 139.1 mm，鹿児島県鹿児島郡三島村硫黄島南側

(30°46′32″N, 130°16′43″E), 水深 10–30 m, 2011 年 5 月 18 日, モリ, KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 41822, 体長 141.5 mm, KAUM–I. 41823, 体長 100.2 mm, 鹿児島県屋久島沖（屋久島のスーパーで購入), 2011 年 10 月 18 日, KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 71518, 体長 154.0 mm, KAUM–I. 71519, 体長 154.2 mm, 沖縄県うるま市平安座島沖　平安座島 (26°20′N, 128°00′E), 2014 年 10 月 20 日, 刺網, 荒木克哉.

記載　背鰭 X-I, 13–15（最頻値 14）；臀鰭鰭条数 IV, 11–12 (12)；胸鰭軟条数 14–15 (15)；側線有孔鱗数 35–38 (36)；側線上方横列鱗数 2.5；鰓耙数 11–14 (12) + 23–25= 35–38 (35).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 41.9–56.2；体幅 18.9–26.7；頭長 32.3–46.2；吻長 6.2–10.2；眼径 13.1–21.9；両眼間隔 9.4–13.6；上顎長 17.7–24.9；尾柄高 8.8–13.9；尾柄長 10.6–23.0；背鰭前長 38.2–38.9；臀鰭前長 71.9–72.5；腹鰭前長 40.2–40.5；背鰭第 1 棘条長 9.7–12.9；背鰭第 2 棘条長 14.2–16.4；背鰭最長棘条長 15.8–16.4；背鰭第 10 棘条長 4.5–5.4；背鰭第 11 棘条長 8.9–9.0；背鰭最長軟条長 19.9–21.5；臀鰭第 1 棘条長 1.4–2.2；臀鰭第 2 棘条長 3.1–7.6；臀鰭第 3 棘条長 15.9–24.9；臀鰭第 4 棘条長 13.5–20.3；臀鰭最長軟条長 22.6；尾鰭長 35.7–36.3；胸鰭長 30.8–31.1；腹鰭棘条長 12.8–17.3；腹鰭軟条長 25.0–25.8.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 41.9–56.2% と高く，背鰭起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端よりわずかに前方に突出する．下顎先端の歯塊は 1 対．口裂は大きく，上顎後端は瞳孔後縁に位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在する．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 40.4–47.9%．鰓耙は細長く，先端は丸い．胸鰭起部は腹鰭の直上, および背鰭の起部より前方に位置し，胸鰭後端は背鰭第 9 棘条起部直下に達する．胸鰭腋部に小鱗がない．腹鰭起部は胸鰭第 2 軟条起部直下に位置し，後端は背鰭第 8 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 10–11 棘間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭軟条部直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 10 棘条直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 60.5–85.1%．尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体と頭部は赤色．鰓蓋膜はやや濃い赤色．背鰭棘条部は鰭膜の先端が白色，棘条は赤みがかった白色．背鰭軟条部は第 1 軟条がわずかに白色，他は赤色．胸鰭は一様に赤透明．腹鰭は棘と第 1 軟条が白色, 他は赤色. 臀鰭棘は白みがかった赤色．軟条は第 1 軟条の先のみが白色，他は赤色．尾鰭は上下両端が赤みがかった白色，他は赤色. 尾鰭は上下両端がわずかに赤みがかった白色, 他は赤色. 虹彩は瞳孔の上部が赤みがかった黒色, 他は赤色．瞳孔は黒色.

分布　本種はインド・太平洋に広く分布する (Randall and Greenfield, 1996；林，2013)．日本国内では，八丈島，小笠原諸島，和歌山県串本，高知県柏島，大隅諸島（硫黄島，屋久島)，沖縄諸島（沖縄島，伊江島，平安座島)，慶良間諸島，宮古諸島，および八重山諸島（西表島，与那国島）から記録されている（清水，1997；Senou et al., 2006, 2007；林，2013；西山，2013；本研究).

備考　本種は鰓蓋膜と主鰓蓋骨に有色域がないことから同属他種から容易に識別される.

Ostichthys hypsipterygion Randall, Shimizu and Yamakawa, 1982

ヒレダカエビス　(Figs. 2E, 5; Tables 1, 2, 4, 9)

標本　3 個体（体長 139.4–145.5 mm)：MUFS 12650，体長 139.4 mm，沖縄県国頭郡伊江村　伊江島，1998 年 11 月 8 日；URM-P 35652，体長 145.5 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1996 年 6 月 29 日；URM-P 37355，体長 142.1 mm，沖縄県糸満市糸満漁業協同組合で水揚げ，1996 年 12 月 26 日.

記載　背鰭 XII, 13；臀鰭 IV, 10–11（最頻値 11)；胸鰭 15–16 (16)；有孔側線鱗数 27–28；背鰭基底中央部側線上方横列鱗 3.5；鰓耙 8 + 13–14 (13) = 21–22 (21).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：

体高 46.4–48.3；頭長 43.6–45.9；吻長 8.8–10.1；眼径 13.1–14.1；両眼間隔 6.3–7.5；上顎長 21.4–23.2；尾柄高 8.4–10.1；尾柄長 7.2–14.3；背鰭第 1 棘条長 11.2–18.1；背鰭第 2 棘条長 16.7–19.7；背鰭第 3 棘条長 18.1–21.5；背鰭第 4 棘条長 19.7–21.4；背鰭第 5 棘条長 17.9–20.2；背鰭第 6 棘条長 16.4–18.4；背鰭第 7 棘条長 14.8–17.1；背鰭第 8 棘条長 12.9–15.1；背鰭第 9 棘条長 10.2–12.4；背鰭第 10 棘条長 7.3–9.7；背鰭第 11 棘条長 5.0–7.0；背鰭第 12 棘条長 4.4–6.5；背鰭最長軟条長 16.6–18.6；臀鰭第 1 棘条長 1.6–2.4；臀鰭第 2 棘条長 5.7–6.7；臀鰭第 3 棘条長 14.7–16.6；臀鰭第 4 棘条長 10.2–11.9；臀鰭最長軟条長 15.3–18.8；胸鰭長 24.5–27.1；腹鰭軟条長 24.0–25.0；尾鰭長 23.7–25.9；第 1 眼窩骨高 3.2–3.7.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 46.4–48.3% と高く，背鰭起部で最大になる．下顎先端は上顎先端よりやや前方に突出する．口裂は大きく，上顎後端は眼の後縁直下に位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し, 背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在しない．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 30.1–30.8%．鰓耙は細く，先端は丸い．両端の鰓耙はコブ状．胸鰭起部は腹鰭起部直上，背鰭起部直下に位置し，胸鰭後端は背鰭第 7 棘条起部直下に達する．腹鰭起部は胸鰭よりも前方に位置し，後端は背鰭第 7 棘条起部直下に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 11–12 棘間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭軟条部直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 10 棘条直下に位置する．尾柄は太く，尾柄高は尾柄長の 70.6–128.4%．尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　固定後は体と頭部は褐色で，腹側に向かうにつれて白色になる．各鰭は褐色．虹彩は黒褐色．瞳孔は黒色．

分布　本種は紅海と沖縄諸島（沖縄島, 伊江島）から記録されている（Randall et al., 1982；林, 2013；本研究）.

備考　本種は那覇魚類市場で得られえた 3 標本から Randall et al. (1982) によって新種記載された.

Ostichthys japonicus (Cuvier, 1829)
エビスダイ　(Figs. 3F, 5; Tables 1, 2, 4, 9)

標本　8 個体（体長 242.8–315.8 mm）：KAUM–I. 7411, 体長 285.3 mm, 鹿児島県屋久島北部沖（丸高水産で購入）, 釣り, 2007 年 12 月 1 日, 高山真由美；KAUM–I. 56296, 体長 265.9 mm, 鹿児島県馬毛島北西部沖（30°48′15″N, 130°49′38″E）, 水深 126 m, 2013 年 9 月 12 日, 刺網, 高山真由美；KAUM–I. 62463, 体長 274.7 mm, 鹿児島県諏訪之瀬島南部沖（29°34′N, 129°38′E；鹿児島市中央卸売市場魚類市場で購入）, 水深 100 m 以浅, 2014 年 6 月 24 日, 釣り, 畑　晴陵・江口慶輔；KAUM–I. 65323, 体長 315.2 mm, 鹿児島県奄美大島近海（沖縄県泊いゆまちで購入）, 2014 年 6 月 10 日, 釣り, 桜井　雄；KAUM–I. 65959, 体長 242.8 mm, 鹿児島県種子島南部沖（30°18′N, 130°52′E；鹿児島市中央卸売市場魚類市場で購入）, 2014 年 10 月 20 日, 釣り, 江口慶輔；KAUM–I. 66626, 体長 295.3 mm, 鹿児島県屋久島北部沖（鹿児島市中央卸売市場魚類市場で購入）, 2014 年 10 月 2 日, 釣り, 畑　晴陵；URM-P 2934, 体長 314.6 mm, 八重山諸島（沖縄県糸満市糸満漁業協同組合で水揚げ）, 1982 年 5 月 17 日；URM-P 41588, 体長 255.8 mm, 八重山諸島（沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ）, 2002 年 5 月 9 日.

記載　背鰭 XII, 13–14（最頻値 13）；臀鰭 IV, 11–12 (11)；胸鰭 16–17 (17)；有孔側線鱗 28–29 (29)；背鰭基底中央部側線上方横列鱗 3.5；鰓耙 7–9 (8) + 11–13 (13) = 19–21 (21).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 47.6–49.2；頭長 39.1–43.9；吻長 7.6–9.4；眼径 11.5–13.1；両眼間隔 6.4–7.2；上顎長 22.6–23.7；尾柄高 9.0–9.8；尾柄長 9.7–12.6；背鰭第 1 棘条長 7.6–10.9；背鰭第 2 棘条長 11.5–14.3；背鰭第 3 棘条長 16.2–18.3；背鰭第 4 棘条長 14.5–18.9；背鰭第 5 棘条長 14.8–18.8；背鰭第 6 棘条長 13.8–16.5；背鰭第 7 棘条長 12.2–14.2；背鰭第 8 棘条長 10.1–12.9；背鰭第 9 棘条長 7.4–10.4；背鰭第 10 棘条長 5.5–7.2；背鰭第 11 棘条長 3.6–6.1；背鰭第 12 棘条長 4.3–5.3；背鰭最長軟条長 18.1–19.3；臀鰭第 1 棘条長 0.6–1.6；臀鰭第 2 棘条長 1.2–4.8；臀鰭第 3 棘条長 10.9–12.5；臀鰭第 4 棘

条長 8.2–10.7；臀鰭最長軟条長 16.7–19.9；胸鰭長 25.0–26.6；腹鰭軟条長 21.1–24.7；尾鰭長 11.9–28.8；第 1 眼窩骨高 3.9–5.1.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 47.6–49.2% と高く，背鰭起部で最大になる．下顎先端は上顎先端より前方に突出する．口裂は大きく，上顎後端は眼の後縁の後ろに位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在しない．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 27.9–30.9%．鰓耙は細く，先端は丸い．両端の鰓耙はコブ状．胸鰭起部は腹鰭起部直上，背鰭起部の前方に位置し，胸鰭後端は背鰭第 7 棘条起部直下に達する．腹鰭起部は胸鰭起部直下に位置し，後端は背鰭第 6 棘条起部のやや後ろに位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 11–12 棘間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭軟条部直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 10 棘条直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長 84.1–115.3%．尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体は朱色．背面から腹面に向かうにつれて色が薄くなり，朱色がかった白色になる．背鰭棘は朱色．背鰭棘部の鰭膜は朱色が混じった白色．背鰭軟条部は鰭条が朱色，鰭膜が白みがかった透明．胸鰭は一様に朱色がかった透明．腹鰭鰭条は薄い朱色，鰭膜は白みがかった透明．臀鰭鰭条は薄い朱色，鰭膜は白みがかった透明．尾鰭鰭条は朱色，鰭膜は白みがかった透明．虹彩は朱色で，瞳孔は黒色．

分布　本種は済州島，上海，香港，小スンダ列島，オーストラリア北西岸・南東岸，およびアンダマン海に分布する（Randall et al., 1982；林，2013）．日本国内では，青森県から九州北西岸の日本海・東シナ海沿岸，青森県から屋久島の太平洋沿岸，東シナ海大陸棚縁辺域，小笠原諸島，大隅諸島（種子島, 馬毛島, 屋久島), トカラ列島（諏訪之瀬島），奄美群島（奄美大島），八重山諸島，および九州－パラオ海嶺から記録されている（Motomura et al., 2010；林，2013；本研究）．

備考　本種は水深 200 m ほどの岩礁域に生息し，一本釣りなどで漁獲され，稀に市場でみられる．

Ostichthys kaianus (Günther, 1880)

カイエビス　（Figs. 2G, 5; Tables 1, 2, 4, 9）

標本　9 個体（体長 163.2–230.9 mm）：KAUM–I. 31928，体長 192.2 mm，沖縄県（沖縄県泊いゆまちで購入），2010 年 8 月 7 日，桜井　雄；KAUM–I. 41047，体長 211.1 mm，鹿児島県与論島沖（茶花漁港で購入），2011 年 8 月 23 日，釣り，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 62393，体長 226.5 mm，鹿児島県熊毛郡中種子町熊野沖　種子島（30°28′13″N, 130°58′32″E），2014 年 6 月 20 日，定置網，高山真由美；KAUM–I. 62409，体長 206.8 mm，鹿児島県熊毛郡南種子町浜田漁港沖　種子島（30°26′N, 130°58′E；鹿児島市中央卸売市場魚類市場で購入），水深 150 m，2014 年 6 月 16 日，釣り，高山真由美；MUFS 42773，体長 230.9 mm，沖縄県那覇市泊　沖縄島，2013 年 3 月 9 日；URM-P 2932．体長 220.6 mm, 八重山諸島（沖縄県糸満市糸満漁業協同組合で水揚げ），1982 年 5 月 17 日；URM-P 10515．体長 163.2 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1985 年 3 月 29 日，一本釣り；URM-P 18747．体長 208.9 mm，沖縄県国頭郡国頭村安田地先　沖縄島，水深 200 m，1986 年 10 月 25 日，籠網；URM-P 34718．体長 177.6 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1995 年 11 月 2 日．

記載　背鰭 XII, 13–15（最頻値 13）；臀鰭 IV, 11–12 (11)；胸鰭 14–16 (16)；有孔側線鱗 26–29 (28)；背鰭基底中央部側線上方横列鱗 2.5；鰓耙 8–9 (9) + 12–15 (14) = 20–24 (23).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 46.9–51.2；頭長 42.4–45.7；吻長 7.6–9.6；眼径 13.8–16.0；両眼間隔 6.0–6.6；上顎長 22.4–24.0；尾柄高 8.5–9.8；尾柄長 8.2–12.4；背鰭第 1 棘条長 8.2–11.7；背鰭第 2 棘条長 14.2–19.2；背鰭第 3 棘条長 17.1–21.7；背鰭第 4 棘条長 16.5–22.8；背鰭第 5 棘条長 15.0–19.1；背鰭第 6 棘条長 14.2–18.1；背鰭第 7 棘条長 12.7–16.2；背鰭第 8 棘条長 10.5–13.8；背鰭第 9 棘条長 8.3–11.4；背鰭第 10 棘条長 6.2–8.7；背鰭第 11 棘条長 4.1–7.5；背鰭第 12 棘条長 4.4–6.6；背鰭最長軟条長 16.7–20.1；臀鰭第 1 棘条長 1.2–2.0；臀鰭第 2 棘条長 4.6–6.4；臀鰭第 3 棘条長 12.5–15.8；臀鰭第 4 棘条長 9.0–13.4；臀鰭最長軟条長 16.1–19.1；胸鰭長

24.7–26.7；腹鰭軟条長 23.3–25.4；尾鰭長 25.1–31.5；第 1 眼窩骨高 2.5–3.7.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 46.9–51.2% と高く，背鰭起部で最大になる．下顎先端は上顎先端より前方に突出する．口裂は大きく，上顎後端は眼の後縁の後ろに位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在しない．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 30.4–35.7%．鰓耙は細く，先端は丸い．両端の鰓耙はコブ状．胸鰭起部は腹鰭起部直上，背鰭起部の前方に位置し，胸鰭後端は背鰭第 7 棘条起部直下に達する．腹鰭起部は胸鰭起部直下に位置し，後端は背鰭第 6 棘条起部直下に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 11–12 棘間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭軟条部直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 10 棘条直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 68.7–115.3%．尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体は赤色．背面から腹面に向かうにつれて色が薄くなり，赤色がかった白色になる．体側に 6–9 本の白色線がはいる．背鰭棘は赤色．背鰭棘部の鰭膜は赤色が混じった白色．背鰭軟条部鰭条は赤色，鰭膜は白色．胸鰭は一様に朱色．腹鰭鰭条は薄い朱色，鰭膜は白みがかった透明．臀鰭鰭条は赤色，鰭膜は白色．尾鰭鰭条は赤色，鰭膜は白みがかった透明．虹彩は朱色で，瞳孔は黒色．

分布　本種は台湾南部，インドネシア，オーストラリア北西岸，およびレオユニン島（Randall et al., 1982；林, 2013）に分布する．日本国内では，伊豆半島，和歌山県白浜，高知県柏島，大隅諸島（種子島），奄美群島（与論島），沖縄諸島（沖縄島），八重山諸島（石垣島），沖縄舟状海盆，および九州 – パラオ海嶺から記録されている（Randall et al., 1982；三浦，2012；林，2013；西山，2014；本研究）．

備考　本種はエビスダイと同様に水深 200 m ほどの岩礁域に生息し，一本釣りなどで漁獲され，稀に市場でみられる．

Plectrypops lima (Valenciennes, 1831)

リュウキュウエビス　（Figs. 2H, 5; Tables 1, 2, 4, 9）

標本　14 個体（体長 63.4–121.0 mm）：KAUM–I. 50823，体長 69.3 mm，鹿児島県大島郡与論町茶花港　与論島（27°03′01″N, 128°24′05″E），2012 年 8 月 20 日，釣り，岡本　誠；KAUM–I. 53701，体長 120.3 mm，鹿児島県西之表市立山沖　種子島（30°37′N, 131°03′E；西之表市の魚市場で購入），2013 年 3 月 22 日，刺網，高山真由美；KAUM–I. 66592，体長 98.2 mm，鹿児島県大島郡天城町平土野港　徳之島（27°48′46″N, 128°53′20″E），水深 8–10 m，2014 年 9 月 30 日，釣り，金出侑佳；KAUM–I. 78790，体長 114.0 mm，沖縄県中頭郡中城村浜漁港　沖縄島（26°09′06″N, 127°28′25″E），2015 年 7 月 10 日，漂着，桜井　雄；KAUM–I. 78825，体長 68.4 mm，KAUM–I. 78827，体長 84.5 mm，沖縄県中頭郡中城村伊舎堂旧新日本石油沖縄製油所南側の砂浜　沖縄島（26°17′44″N, 127°48′38″E），2015 年 7 月 10 日，漂着，桜井　雄；MUFS 46345，体長 121.0 mm，沖縄県島尻郡与那原町当添漁港　沖縄島（26°11′N, 127°46′E），2014 年 7 月 10 日；URM-P 11570，体長 87.4 mm，沖縄県沖縄島北部，1960 年代，刺網；URM-P 20347，体長 117.8 mm，沖縄県南城市知念漁業協同組合で水揚げ，1988 年 12 月 29 日；URM-P 38376，体長 82.2 mm，URM-P 38377，体長 78.9 mm，URM-P 38378，体長 94.8 mm，沖縄県中頭郡中城村浜漁港　沖縄島（26°15′N, 127°47′E），1997 年 8 月 18 日，打ち上げ；URM-P 41589，体長 112.2 mm，沖縄県南城市知念漁業協同組合で水揚げ，2002 年 5 月 15 日，刺網；YCM-P 34203，体長 92.1 mm，鹿児島県奄美大島．

記載　背鰭 XII, 14–16（最頻値 16）；臀鰭 IV, 11–12 (11)；胸鰭 14–18 (17)；有孔側線鱗 32–41 (37)；背鰭基底中央部側線上方横列鱗 3.5；鰓耙 8–10 (8) + 12–17 (14) = 20–25 (22).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 38.3–45.5；頭長 39.8–44.2；吻長 6.6–8.3；眼径 11.4–14.1；両眼間隔 4.9–7.0；上顎長 22.4–25.4；尾柄高 7.9–9.2；尾柄長 8.5–11.9；背鰭第 1 棘条長 7.0–9.2；背鰭第 2 棘条長 9.5–12.5；背鰭最大棘条長 12.1–16.6；背鰭第 11 棘条長 4.5–5.3；背鰭第 12 棘条長 3.0–4.4；背鰭最長軟条長 16.0–18.3；臀鰭第 1 棘条長 2.1–2.7；臀鰭第 2 棘条長 5.3–6.2；臀鰭第 3 棘条長 11.4–15.7；臀鰭第 4 棘条長 11.3–14.8；臀鰭最長軟条長 15.3–18.2；胸鰭長 23.8–25.1；腹鰭軟条長 20.1–23.5；尾鰭長 23.1–28.7；第 1 眼窩骨高 8.7–10.4.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 38.3–45.5% と高く，背鰭第 3 棘条付近で最大になる．下顎先端は上顎先端より前方に突出しない. 口裂は大きく，上顎後端は眼の後縁を大きく超える．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在しない．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 28.2–33.5%．鰓耙は細く，先端は丸い．両端の鰓耙はコブ状．胸鰭起部は腹鰭起部直上，背鰭起部直下に位置し，胸鰭後端は背鰭第 8 棘条起部直下に達する．腹鰭起部は胸鰭起部直下に位置し，後端は背鰭第 8 棘条起部直下に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 11–12 棘間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭軟条部直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する. 総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 11 棘条直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 77.8–106.9%．尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体は赤色．背鰭棘は赤色．背鰭棘部の鰭膜先端は白色，棘周辺に白色帯を帯びることがある．棘は赤色．背鰭軟条部鰭条は赤色，鰭膜は透明．胸鰭は一様に赤色．腹鰭鰭条は赤色，鰭膜は透明．臀鰭鰭条は赤色，鰭膜は透明．尾鰭鰭条は赤色，鰭膜は透明．虹彩は赤色，瞳孔は黒色．

分布　本種はインド・太平洋に分布する（林，2013）．日本国内では小笠原諸島，和歌山県白浜，大隅諸島（種子島), 奄美群島（奄美大島, 徳之島, 与論島），および沖縄諸島（沖縄島）から記録されている（林，2013；西山，2014；本研究）．

備考　本種は 1 属 1 種のみで構成され，両側の鼻骨の間の溝が菱形であることから広い V 字型であるエビスダイ属と識別される．林（2013）は屋久島を本種の分布域に含めているが，根拠となる文献や標本はなく, 誤記である可能性が高い．

HOLOCENTRINAE イットウダイ亜科

Neoniphon argenteus (Valenciennes, 1831)

ホソエビス　(Figs. 3A, 6; Tables 5–7, 9)

標本　6 個体（体長 127.3–145.7 mm）：URM-P 33042，体長 135.9 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1994 年 11 月 21 日；URM-P 34032，体長 127.3 mm，沖縄県八重山郡竹富町星砂の浜　西表島（24°26′N, 123°46′E），1995 年 7 月 16 日；URM-P 35006，体長 130.8 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1995 年 12 月 30 日；URM-P 36414，体長 131.3 mm，URM-P 36415，体長 145.7 mm，沖縄県八重山郡竹富町ウルチ崎　西表島（24°19′N, 123°40′E），1996 年 8 月 17 日；URM-P 38682，体長 144.5 mm，沖縄件漁業協同組合連合会で水揚げ，1997 年 10 月 29 日．

記載　背鰭 IX–X-I, 11–13（最頻値 13）；臀鰭 IV, 7–8 (8)；胸鰭 13–14 (13)；有孔側線鱗 37–41 (39)；背鰭基底中央部側線上方横列鱗 2.5；鰓耙 5–7 (6) + 10–12 (12) = 16–18 (17).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 28.2–30.4；体幅 16.0；頭長 33.9–36.4；吻長 7.1–10.5；眼径 12.3–12.9；両眼間隔 8.4–9.0；上顎長 13.9–15.1；前鰓蓋骨隅角部棘長 3.9–4.6；尾柄高 8.1；尾柄長 17.0；背鰭前長 37.6；臀鰭前長 76.9；腹鰭前長 40.0；背鰭第 1 棘条長 11.3–15.2；背鰭第 2 棘条長 14.0–18.2；背鰭最長棘条長 15.5–19.4；背鰭第 10 棘条長 3.7–5.4；背鰭第 11 棘条長 4.1–5.7；背鰭最長軟条長 17.5；臀鰭第 1 棘条長 1.3；臀鰭第 2 棘条長 4.1；臀鰭第 3 棘条長 20.9–26.8；臀鰭第 4 棘条長 14.6–16.0；臀鰭最長軟条長 17.2；尾鰭長 30.2；胸鰭長 19.1；腹鰭棘条長 14.8；腹鰭軟条長 19.0.

体は細長く，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 28.2–30.4% と低く，背鰭第 2 棘起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端より突出しない．口裂は大きく，上顎後端は瞳孔の中央付近に位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在しない．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 34.8–38.0%．主鰓蓋骨棘は 2 つ．鰓耙は短く，先端は丸い．両端の鰓耙はコブ状．胸鰭起部は腹鰭起部，および背鰭起部より前方に位置し，胸鰭後端は背鰭第 6 棘条起部直下に達する．腹鰭起部は背鰭第 3 棘条直下に位置し，後端

は背鰭第 6 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 10–11 棘条間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 1 軟条直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 47.4%．尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　固定後は体が褐色で，側線上方の鱗は黒色，頭部と側線下方の鱗は中央付近に黒色色素がある．各鰭は褐色．尾鰭起部から上葉と下葉に向かって黒色帯が伸びる．虹彩は黒色．瞳孔は褐色がかった黒色．

分布　本種は紅海とハワイ諸島を除くインド・太平洋に分布する（林，2013）．日本国内では，沖縄諸島（沖縄島）と八重山諸島（石垣島，西表島）から記録されている（Shimizu and Yamakawa, 1979；林，2013；本研究）．

備考　本種は背鰭棘部鰭膜に黒斑がないことと背鰭基底中央部側線上方横列鱗が 2.5 枚であることから同属他種と識別される．沖縄諸島から得られた 3 標本によって従来の記録（八重山諸島）より本種の分布の北限が更新された．

Neoniphon aurolineatus (Liénard, 1839)
ホホベニイットウダイ　(Figs. 3B, 6; Tables 5–7, 9)

標本　2 個体（体長 149.3–159.3 mm）：KAUM–I. 37629，体長 149.3 mm，鹿児島県鹿児島郡三島村硫黄島西側（30°47′04″N, 130°15′42″E），水深 5–40 m，2011 年 5 月 11 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；MUFS 12640，体長 159.3 mm，沖縄県国頭郡伊江村　伊江島，1996 年 11 月 8 日，小型定置網．

記載　背鰭 X-I, 12–13；臀鰭 IV, 8–9；胸鰭 13–14；有孔側線鱗 42–46；背鰭基底中央部側線上方横列鱗 3.5；鰓耙 6 + 11 = 17．

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 32.4–34.4；体幅 18.4；頭長 35.4–37.4；吻長 7.1–9.5；眼径 13.1–13.6；両眼間隔 7.2；上顎長 15.3–15.4；前鰓蓋骨隅角部棘長 5.9–6.6；尾柄高 8.9；尾柄長 12.0；背鰭前長 39.9；臀鰭前長 81.2；腹鰭前長 40.6；背鰭第 1 棘条長 9.5–9.8；背鰭第 2 棘条長 12.1；背鰭最長棘条長 14.0–16.7；背鰭第 10 棘条長 5.9；背鰭第 11 棘条長 2.9–3.7；背鰭最長軟条長 20.5；臀鰭第 1 棘条長 1.5；臀鰭第 2 棘条長 4.1；臀鰭第 3 棘条長 18.4–23.1；臀鰭第 4 棘条長 14.5–15.7；臀鰭最長軟条長 16.1；尾鰭長 27.9；胸鰭長 28.1；腹鰭棘条長 15.4；腹鰭軟条長 23.3．

体は細長く，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 32.4–34.4% と低く，背鰭第 4 棘起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端より突出する．口裂は大きく，上顎後端は瞳孔の後端付近に位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在しない．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 36.3–37.1%．主鰓蓋骨棘は 2 つ．鰓耙は短く，先端は丸い．両端の鰓耙はコブ状．胸鰭起部は腹鰭起部前方，および背鰭起部直下に位置し，胸鰭後端は背鰭第 8 棘条起部直下に達する．腹鰭起部は胸鰭第 4 軟条直下に位置し，後端は背鰭第 7 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 10–11 棘条間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 2 軟条直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 73.9%．尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体，頭部背面は赤色．腹部に向かうにつれて赤みが薄くなり，銀色になる．体腹側に 9–12 本の黄色線がはいる．背鰭棘は黄色みおびた赤色，背鰭棘部の鰭膜は赤色．背鰭軟条部鰭条は赤色．鰭膜は透明．胸鰭鰭条は薄い赤色．鰭膜は透明．腹鰭鰭条は薄い赤色，鰭膜は透明．臀鰭は第 1–3 棘条は白色，第 4 棘条以降は赤色．鰭膜は透明．尾鰭鰭条は赤色，鰭膜は透明．虹彩は赤色で，瞳孔は黒色．

分布　本種は台湾南部と紅海を除くインド・

太平洋に分布する（林，2013）．日本国内では，小笠原諸島，和歌山県白浜・串本，高知県柏島，愛媛県愛南，大隅諸島（硫黄島），沖縄諸島（沖縄島，伊江島），および八重山諸島（与那国島）から記録されている（Shimizu and Yamakawa, 1979；辰馬，1999；林，2013；西山，2013；本研究）．

備考　ホホベニイットウダイは同属他種と比べ，背鰭基底中央部側線上方横列鱗が 3.5 枚（後者は 2.5）であることから識別される．

Neoniphon opercularis (Valenciennes, 1831)
ヒレグロイットウダイ　(Figs. 3C, 6; Tables 5–7, 9)

標本　7 個体（体長 93.5–241.8 mm）：KAUM–I. 28753, 体長 223.7 mm，八重山諸島（沖縄県泊いゆまちで購入），水深 27 m，2010 年 3 月 23 日，桜井　雄；KAUM–I. 41248, 体長 213.7 mm，鹿児島県大島郡与論町供利漁港　与論島（27°01′54″N, 128°24′29″E），水深 1–10 m，2011 年 8 月 21 日，モリ，目黒昌利・山下真弘・西山　肇；KAUM–I. 78327, 体長 161.2 mm，沖縄県八重山郡与那国町アンカーグレイブス　与那国島（24°26′29″N, 122°56′51″E），水深 27 m，2015 年 9 月 17 日，モリ，小枝圭太；KAUM–I. 80272，体長 182.3 mm，沖縄県八重山郡与那国町祖内水路　与那国島（24°28′18″N, 123°00′08″E），水深 3 m，2015 年 9 月 21 日，タモ網，小枝圭太；KAUM–I. 80531，体長 167.1 mm，鹿児島県西之表市三ツ瀬　種子島（30°41′N, 130°57′E），水深 10 m，2015 年 10 月 15 日，刺網，磯川次夫（安栄丸）；URM-P 8218，体長 241.8 mm，沖縄県那覇市港町那覇地区沿岸漁業協同組合水揚げで水揚げ，1983 年 9 月 12 日；URM-P 38713，体長 93.5 mm，沖縄県　奥武島，1997 年 11 月 8 日．

記載　背鰭 X-I, 13–14（最頻値 14）；臀鰭 IV, 8–9 (9)；胸鰭 14–15 (14)；有孔側線鱗 38–40 (38)；背鰭基底中央部側線上方横列鱗 2.5；鰓耙 6–7 (6) + 9–12 (11) = 15–18 (18).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 31.5–35.2；体幅 16.2–16.4；頭長 37.7–39.4；吻長 10.3–11.8；眼径 10.5–14.1；両眼間隔 7.6–8.4；上顎長 16.3–17.6；前鰓蓋骨隅角部棘長 3.9–5.6；尾柄高 9.3–9.5；尾柄長 13.4–16.1；背鰭前長 39.9–41.4；臀鰭前長 76.6–78.7；腹鰭前長 39.9–43.8；背鰭第 1 棘条長 9.8–13.3；背鰭第 2 棘条長 13.9–15.3；背鰭最長棘条長 13.6–17.0；背鰭第 10 棘条長 4.4–5.2；背鰭第 11 棘条長 4.6–5.6；背鰭最長軟条長 18.2–18.5；臀鰭第 1 棘条長 1.5–1.8；臀鰭第 2 棘条長 4.1–5.7；臀鰭第 3 棘条長 17.8–24.8；臀鰭第 4 棘条長 15.6–18.3；臀鰭最長軟条長 19.9–20.2；尾鰭長 28.4；胸鰭長 20.9–22.1；腹鰭棘条長 14.5–16.9；腹鰭軟条長 18.4–21.9.

体は細長く，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 31.5–35.2% と低く，背鰭起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端より突出する．口裂は大きく，上顎後端は瞳孔の中央付近に位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在しない．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 27.6–36.5%．主鰓蓋骨棘は 2 つ．鰓耙は短く，先端は丸い．両端の鰓耙はコブ状．胸鰭起部は腹鰭起部前方，および背鰭起部直下に位置し，胸鰭後端は背鰭第 6 棘条起部直下に達する．腹鰭起部は胸鰭第 5 軟条直下に位置し，後端は背鰭第 8 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 10–11 棘条間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 2 軟条直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 58.1–69.0%．尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体，頭部背面は褐色．腹部に向かうにつれて褐色が薄くなり，銀色になる．鱗の中心は褐色．背鰭棘は褐色，背鰭棘部の鰭膜は先端と起部が白色，中央に黒色帯がはいる．背鰭第 1–2 軟条は赤色，残りの軟条は起部が茶褐色，他は黄褐色．鰭膜は黄色みがかった透明．胸鰭は赤みがかった透明．腹鰭は白色．臀鰭は第 1–3 棘条は白色，第 4 棘と第 1 軟条が赤色，残りは黄褐色．尾鰭は両端が赤色，後縁は黄褐色．虹彩は赤色で，瞳孔は黒色．

分布　本種は紅海，ハワイ諸島およびイースター島を除くインド・太平洋に広く分布する（林，2013）．日本国内では，八丈島，大隅諸島（種子島），奄美群島（与論島），沖縄諸島（沖縄島，伊江島，奥武島），および八重山諸島（西表島，与那国島）

から記録されている（具志堅，1972；Shimizu and Yamakawa, 1979；清水，1997；Senou et al., 2006；三浦，2012；林，2013；西山，2014；本研究）.

備考　本種はウケグチイットウダイに酷似するが，背鰭棘部鰭膜の上端と基底は白色でそれ以外の部分は黒色である（後者では背鰭棘部鰭膜の上端と基底が白色, それ以外の部分は薄い赤色で，第 1–3 棘部の鰭膜に黒斑がある）ことから識別される.

Neoniphon sammara (Forsskål, 1775)

ウケグチイットウダイ　(Figs. 3D. 6; Tables 5–7, 9)

標本　23 個体（体長 41.6–187.6 mm）：KAUM–I. 65931，体長 154.0 mm，鹿児島県大島郡天城町千間海岸　徳之島（27°47′00″N, 128°53′38″E），2014 年 9 月 29 日，モリ，小枝圭太；KAUM–I. 66567，体長 41.6 mm，鹿児島県大島郡天城町与名間漁港沖　徳之島（27°53′09″N, 128°53′29″E），水深 5 m，2014 年 9 月 30 日，タモ網，吉田朋弘；KAUM–I. 68081，体長 120.6 mm，沖縄県糸満市大度浜海岸　沖縄島（26°05′12″N, 127°42′27″E），2009 年 1 月 24 日，刺網，小枝圭太；KAUM–I. 70813，体長 147.9 mm，鹿児島県大島郡与論町与論港付近タイドプール　与論島（27°02′14″N, 128°23′57″E），水深 0.3 m，2015 年 3 月 13 日，タモ網，江口慶輔・安藤ゆきの・大澤洋太・吉浦　藍；KAUM–I. 79113，体長 170.4 mm，鹿児島県奄美市笠利町笠利湾　奄美大島（28°28′20″N, 129°39′04″E），水深 14 m，2015 年 7 月 22 日，モリ，小枝圭太；KAUM–I. 82371，体長 44.2 mm，鹿児島県大島郡徳之島町畦プリンセスビーチ　徳之島（27°50′51″N, 128°58′16″E），水深 1–2 m，2015 年 11 月 26 日，タモ網，上野大輔；MUFS 15436，体長 160.0 mm，沖縄県八重山郡竹富町　内離島，1998 年 5 月 15 日；MUFS 15443，体長 160.2 mm，MUFS 15444，体長 150.6 mm，MUFS 15445，体長 122.5 mm，沖縄県八重山郡竹富町越良川　西表島，1998 年 5 月 13 日；NSMT-P 101119，体長 115.7 mm，沖縄県八重山郡与那国町久部良漁港　与那国島（24°27′N, 122°56′E），2010 年 3 月 10 日；URM-P 670，体長 123.2 mm，URM-P 671，体長 126.9 mm，沖縄県糸満市小渡浜摩文仁よりのタイドプール　沖縄島，1975 年 11 月 19 日；URM-P 4289，体長 187.6 mm，沖縄県那覇市港町那覇地区沿岸漁業協同組合水揚げで水揚げ，1982 年 9 月 1 日，モリ；URM-P 15575，体長 154.2 mm，URM-P 15576，体長 146.5 mm，URM-P 15577，体長 142.4 mm，URM-P 15578，体長 144.3 mm，沖縄県南城市知念漁業協同組合で水揚げ，1986 年 2 月 20 日，刺網；URM-P 20345，体長 130.5 mm，沖縄県名護市名護漁業協同で水揚げ，1988 年 12 月 26 日；URM-P 24706，体長 142.2 mm，沖縄県うるま市勝連漁業協同組合で水揚げ，1990 年 10 月 31 日；URM-P 33043，体長 146.4 mm，URM-P 33044，体長 159.7 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1994 年 11 月 21 日；URM-P 34678，体長 164.4 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1995 年 10 月 12 日.

記載　背鰭 X-I, 11–13（最頻値 12）；臀鰭 IV, 7–9 (8)；胸鰭 12–14 (14)；有孔側線鱗 37–43 (40)；背鰭基底中央部側線上方横列鱗 2.5；鰓耙 5–8 (7) + 9–12 (11) = 15–19 (18).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 28.2–32.4；体幅 15.7–17.6；頭長 33.9–37.1；吻長 7.8–10.1；眼径 11.8–13.4；両眼間隔 7.7–8.8；上顎長 12.8–20.9；前鰓蓋骨隅角部棘長 2.5–4.7；尾柄高 8.0–8.2；尾柄長 13.6–14.6；背鰭前長 38.1–38.7；臀鰭前長 75.4–78.3；腹鰭前長 38.2–40.7；背鰭第 1 棘条長 11.1–15.6；背鰭第 2 棘条長 15.5–18.8；背鰭最長棘条長 14.9–18.8；背鰭第 10 棘条長 3.5–5.8；背鰭第 11 棘条長 4.5–6.8；背鰭最長軟条長 18.5–19.6；臀鰭第 1 棘条長 1.3–1.7；臀鰭第 2 棘条長 4.5–6.8；臀鰭第 3 棘条長 22.0–26.7；臀鰭第 4 棘条長 14.4–18.5；臀鰭最長軟条長 17.7–19.8；尾鰭長 27.0–29.4；胸鰭長 20.2–21.5；腹鰭棘条長 15.2–16.8；腹鰭軟条長 19.9–21.5.

体は細長く，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 28.2–32.4% と低く，背鰭第 4 棘条起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端より突出する．口裂は大きく，上顎後端は瞳孔の中央付近に位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在しない．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 32.9–37.6%．主鰓蓋骨棘は 2 つ．鰓耙は短く，先端は丸い．両端の鰓耙はコブ状．胸鰭起部は腹鰭起部前方，および背鰭起部直下に位置し，胸鰭後端は背鰭第 6 棘条起部直下に達する．腹鰭起部は胸鰭起部後端直下に位置し，後端は背鰭第 7 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 10–11 棘条間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭直上に位置し, 第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 3 軟条直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 54.9–59.9%．尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体，頭部背面は赤褐色．腹部に向かう

につれて色合いが薄くなり，銀色になる．体側に赤褐色縦帯がはいる，背鰭棘部の第 1–3 鰭膜は中央に黒色斑があり，先端と起部は白色．第 4 鰭膜以降は中央に透明帯がはいる．背鰭第 1–2 軟条は赤色，残りは起部が黄褐色．胸鰭は赤みがかった透明．腹鰭は白色．臀鰭は第 1–3 棘条は白色，第 4 棘と第 1 軟条が赤色，残りは薄い黄褐色．尾鰭は基底から両葉の先端に向かう赤色帯がはいり，後縁は黄褐色．虹彩は銀色をおびた赤色で，瞳孔は黒色．

分布　本種は紅海を含み，マルケサス諸島までのインド・太平洋に広く分布する（林，2013）．日本国内では，小笠原諸島，和歌山県田辺湾・串本，大隅諸島（種子島），奄美群島（奄美大島，徳之島，沖永良部島，与論島），沖縄諸島（沖縄島，伊江島），慶良間諸島，宮古諸島，および八重山諸島（石垣島，西表島，与那国島）から記録されている（Shimizu and Yamakawa, 1979；増田・アレン，1991；泉見，1993；清水，1997；Senou et al., 2006, 2007；宇都宮，2006；三浦，2012；林，2013；西山，2013；本研究）．

備考　本種は背鰭棘部の第 1 から第 3 鰭膜に黒斑がある（他種ではない）ことから同属他種と識別される．

Sargocentron caudimaculatum (Rüppell, 1838)
クラカケエビス　（Figs. 3E, 6; Tables 5–6, 8–9）

標本　11 個体（体長 116.8–207.8 mm）：KAUM–I. 31707，体長 142.6 mm，鹿児島県鹿児島郡三島村硫黄島西側（30°47′04″N, 130°15′42″E），水深 5–10 m，2010 年 8 月 13 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 56129，体長 171.1 mm，鹿児島県馬毛島沖（30°35′N, 130°41′E），2013 年 9 月 3 日，釣り，高山真由美；KAUM–I. 63195，体長 199.9 mm，KAUM–I. 63196，体長 167.8 mm，鹿児島県口之島北方（30°11′N, 130°06′E；鹿児島市中央卸売市場魚類市場で購入），2014 年 8 月 28 日，釣り，畑　晴陵・江口慶輔；KAUM–I. 72085，体長 184.2 mm，鹿児島県大島郡瀬戸内町実久岬の北側　奄美大島（28°11′43″N, 129°11′32″E），水深 5–25 m，2015 年 4 月 29 日，モリ，吉田朋弘；KAUM–I. 78752，体長 167.6 mm，琉球列島南部（奄美群島から八重山諸島；泊いゆまちで購入），2015 年 9 月 12 日，桜井　雄；KAUM–I. 82599，体長 207.8 mm，鹿児島県西之表市箱崎沖　種子島（30°43′39″N, 130°58′43″E），水深 30 m，2015 年 11 月 6 日，刺網，安栄丸；URM-P 21167，体長 116.8 mm，沖縄県　沖縄島，1989 年 1–4 月；URM-P 34098，体長 125.2 mm，沖縄県八重山郡竹富町上原沖　西表島，1995 年 8 月 9 日；URM-P 35548，体長 121.3 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1996 年 5 月 1 日；URM-P 36416，体長 121.6 mm，沖縄県八重山郡竹富町綱取湾奥　西表島（24°18′N, 123°42′E），1996 年 8 月 17 日．

記載　背鰭鰭条数 XI, 14–15（最頻値 14）；臀鰭鰭条数 IV, 9–10 (9)；胸鰭軟条数 13–14；側線有孔鱗数 37–41 (41)；側線上方横列鱗数 2.5；鰓耙数 6–8 (6) + 10–13 (12) = 16–21 (19).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 40.0–44.9；体幅 16.8–19.5；頭長 35.4–42.4；吻長 8.9–9.8；眼径 9.6–14.6；両眼間隔 6.5–7.3；上顎長 12.5–14.3；前鰓蓋骨隅角部棘長 5.9–11.9；尾柄高 9.8–10.9；尾柄長 13.1–13.6；背鰭前長 34.8–36.8；臀鰭前長 76.1–80.0；腹鰭前長 38.8–42.2；背鰭第 1 棘条長 8.0–11.3；背鰭第 2 棘条長 12.1–15.0；背鰭最長棘条長 14.8–19.2；背鰭第 11 棘条長 3.8–5.4；背鰭最長軟条長 19.4–22.2；臀鰭第 1 棘条長 1.6–2.2；臀鰭第 2 棘条長 4.3–5.5；臀鰭第 3 棘条長 20.2–26.3；臀鰭第 4 棘条長 13.7–17.1；臀鰭最長軟条長 18.6–21.1；尾鰭長 26.3–32.3；胸鰭長 24.9–27.0；腹鰭棘条長 16.2–18.2；腹鰭軟条長 22.6–26.4.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 40.0–44.9% と高く，背鰭第 4 棘起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端より突出しない．口裂は小さく，上顎後端は瞳孔の前縁に位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に 1–2 つの小棘が存在する．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 26.5–34.4%．主鰓蓋骨棘は 2 つ．鰓耙は短く，先端は丸い．両端の鰓耙はコブ状．胸鰭起部は腹鰭起部直上，および背鰭起部直下に位置し，胸鰭後端は背鰭第 8 棘条起部直下に達する．腹鰭起部は胸鰭第 3 軟条起部直下に位置し，後端は背鰭第 7 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 11 棘と第 1 軟条間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 1 軟条

直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の72.3–82.9%．尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体は赤色．体腹側に向かうにつれて色合いが薄くなり白くなる．背鰭棘は赤色，背鰭棘部の鰭膜は白色が混じった赤色．背鰭軟条部鰭条は赤色．鰭膜は透明．胸鰭は一様に薄い赤色．腹鰭は棘が白色，鰭条は薄い赤色，鰭膜は透明．臀鰭は第3棘条先端のみ白色，その他は赤色．尾鰭は赤色．虹彩は赤色で，瞳孔は黒色．

分布　本種は紅海を含むインド・西太平洋に広く分布する（Randall, 1998）．日本国内では，小笠原諸島，高知県柏島，大隅諸島（硫黄島，種子島，屋久島），トカラ列島（口之島），奄美群島（奄美大島），沖縄諸島（沖縄島，伊江島），宮古諸島，および八重山諸島（石垣島，西表島）から記録されている（Shimizu and Yamakawa, 1979；新垣・吉野，1984；清水，1997；Senou et al., 2006, 2007；Motomura et al., 2010；林，2013；西山，2013；本研究）．

備考　本種は後鼻孔の縁辺に1本以上の小棘があることと生時，背鰭と臀鰭軟条部より後ろが白色であることから同属他種と識別される．

Sargocentron diadema (Lacepède, 1802)

ニジエビス　（Figs. 3F, 6; Tables 5–6, 8–9）

標本　39個体（体長54.4–144.0 mm）：KAUM–I. 17424, 体長61.4 mm，鹿児島県奄美市笠利町土浜タイドプール　奄美大島（28°24′34″N, 129°40′31″E），水深0.5–1.0 m，2009年3月26日，タモ網，目黒昌利・吉田朋弘；KAUM–I. 29618，体長131.7 mm，KAUM–I. 29619，体長127.7 mm，KAUM–I. 29620，体長144.0 mm，鹿児島県鹿児島郡三島村硫黄島西側（30°47′04″N, 130°15′42″E），水深5–20 m，2010年5月28日，タモ網，KAUM魚類チーム；KAUM–I. 34003，体長133.9 mm，鹿児島県鹿児島郡三島村硫黄島西側（30°47′04″N, 130°15′42″E），水深5–20 m，2010年11月6日，タモ網，KAUM魚類チーム；KAUM–I. 37798，体長135.0 mm，鹿児島県鹿児島郡三島村硫黄島西側（30°47′04″N, 130°15′42″E），水深5–20 m，2011年5月15日，モリ，KAUM魚類チーム；KAUM–I. 42907，体長106.1 mm，沖縄県中頭郡北谷町アラハビーチ　沖縄島（26°18′25″N, 127°45′50″E），2011年5月29日，打ち上げ，桜井　雄；KAUM–I. 47948，体長79.2 mm，鹿児島県大島郡与論町茶花港内　与論島（27°03′05″N, 128°24′21″E），水深5–6 m，2012年8月15日，釣り，岡本　誠；KAUM–I. 49801，体長81.0 mm，沖縄県中頭郡読谷村渡具知　沖縄島（26°22′01″N, 127°44′15″E），2012年9月30日，打ち上げ，桜井　雄；KAUM–I. 57881，体長109.5 mm，KAUM–I. 57882，体長112.5 mm，KAUM–I. 57883，体長106.5 mm，鹿児島県大島郡瀬戸内町崎ノ目　奄美大島（28°11′25″N, 129°15′50″E），水深5–25 m，2013年12月9日，タモ網，萩原清司・中江雅典・千葉　悟・本村浩之・目黒昌利・吉田朋弘・田代郷国・横山貞夫；KAUM–I. 61827，体長132.9 mm，鹿児島県西之表市上古田漁港沖　種子島（30°48′N, 131°01′E），水深10–18 m，2014年6月10日，タモ網，本村浩之・小枝圭太・吉田朋弘・田代郷国・福井美乃；KAUM–I. 62038，体長54.4 mm，鹿児島県西之表市国上浦田沖　種子島（30°49′36″N, 131°02′11″E），水深10–15 m，2014年6月12日，タモ網，小枝圭太・吉田朋弘・田代郷国・福井美乃；KAUM–I. 63858，体長94.7 mm，鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋港　奄美大島（28°08′42″N, 129°18′23″E），水深7–10 m，2014年6月26日，釣り，Byeol Jeong・中江雅典・山川　武；KAUM–I. 66183，体長141.2 mm，鹿児島県西之表市住吉沖　種子島（30°39′N, 130°54′E），水深17–18 m，2014年9月17日，刺網，江口慶輔・稲葉智樹；KAUM–I. 71139，体長80.8 mm，KAUM–I. 71140，体長63.8 mm，鹿児島県大島郡与論町茶花港内　与論島（27°02′57″N, 128°24′43″E），水深2 m，2015年3月18日，釣り，大澤洋太・吉浦　藍；KAUM–I. 71799，体長102.2 mm，KAUM–I. 71800，体長99.8 mm，KAUM–I. 71801，体長103.5 mm，KAUM–I. 71802，体長104.2 mm，KAUM–I. 71803，体長91.3 mm，鹿児島県　奄美大島，2013年5月27日，立原一憲；KAUM–I. 71817，体長80.2 mm，鹿児島県奄美市名瀬長浜町ビッグマリン裏　奄美大島（28°23′47″N, 129°29′49″E），2013年11月24日，立原一憲；KAUM–I. 78349，体長91.2 mm，沖縄県八重山郡与那国町久部良避難港沖　与那国島（24°26′35″N, 122°56′22″E），水深5–22 m，2015年9月18日，タモ網，江口慶輔；KAUM–I. 79086，体長97.1 mm，鹿児島県奄美市笠利町笠利湾　奄美大島（28°28′20″N, 129°39′04″E），水深0–15 m，2015年7月22日，タモ網，萩原清司・中江雅典・小枝圭太・吉田朋弘・福井美乃・江口慶輔・吉浦　藍；KAUM–I. 79164，体長87.7 mm，鹿児島県奄美市笠利町笠利湾　奄美大島（28°28′16″N, 129°39′16″E），水深0–28 m，2015年7月22日，タモ網，萩原清司・本村浩之・中江雅典・小枝圭太・吉田朋弘・福井美乃・江口慶輔・吉浦　藍；KAUM–I. 79216，体長116.2 mm，鹿児島県奄美市笠利町笠利湾　奄美大島（28°30′31″N, 129°39′29″E），水深0–18 m，2015年7月23日，タモ網，瀬能　宏・萩原清司・本村浩之・小枝圭太・吉田朋弘・福井美乃・江口慶輔・吉浦　藍；KAUM–I. 79406，体長77.4 mm，KAUM–I. 79407，体長91.4 mm，KAUM–I. 79425，体長82.3 mm，鹿児島県奄美市笠利町笠利湾　奄美大島（28°30′23″N, 129°39′36″E），水深0–15 m，2015年7月24日，タモ網，瀬能　宏・本村浩之・小枝圭太・吉田朋弘・福井美乃・江口慶輔・吉浦　藍；URM-P 675，体長98.3 mm，沖縄県国頭郡本部町琉球大学熱帯生物研究センター瀬底研究施設前　瀬底島（26°38′N, 127°51′E），1976年夏；URM-P 15581，体長129.5 mm，URM-P 15582，体長112.6 mm，沖縄県南城市知念漁業協同組合で水揚げ，1986年2月26日，刺網；URM-P 15653，体長110.8 mm，URM-P 15654，体長102.9 mm，URM-P 15655，体長114.3 mm，沖縄県南城市知念漁業協同組合で水揚げ，1986年3月10日，刺網；URM-P 39196，体長116.6 mm，沖縄県国頭郡恩納村真栄田岬　沖縄島（26°26′N, 127°46′E），水深30 m，1998年4月12日；URM-P 36416，体長121.6 mm，沖縄県八重山郡竹富町綱取湾奥　西表島（24°18′N, 123°42′E），1996年8月17日．

記載　背鰭鰭条数 XI, 12–15（最頻値 13）；臀鰭鰭条数 IV, 8–10 (9)；胸鰭軟条数 13–15 (14)；側線有孔鱗数 45–49 (47)；側線上方横列鱗数 2.5；鰓耙数 5–7 (6) + 10–15 (13) = 16–21 (19).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 31.8–37.0；体幅 15.8–17.0；頭長 32.3–37.2；吻長 6.4–9.9；眼径 11.2–15.7；両眼間隔 6.7–8.1；上顎長 9.2–12.5；前鰓蓋骨隅角部棘長 3.8–6.9；尾柄高 7.7–8.3；尾柄長 11.6–14.3；背鰭前長 32.4–35.5；臀鰭前長 73.7–78.7；腹鰭前長 37.7–41.3；背鰭第 1 棘条長 7.8–12.9；背鰭第 2 棘条長 12.3–16.5；背鰭最長棘条長 16.8–21.0；背鰭第 11 棘条長 4.9–8.1；背鰭最長軟条長 19.2–22.5；臀鰭第 1 棘条長 1.3–2.9；臀鰭第 2 棘条長 4.8–6.3；臀鰭第 3 棘条長 22.9–28.6；臀鰭第 4 棘条長 14.0–19.3；臀鰭最長軟条長 22.2–25.5；尾鰭長 26.2–29.1；胸鰭長 22.7–24.7；腹鰭棘条長 18.0–19.1；腹鰭軟条長 26.5–29.0.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 31.8–37.0% と低く，背鰭第 4 棘起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端より突出しない．口裂は小さく，上顎後端は瞳孔の前縁に位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在しない．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 32.4–44.5%．主鰓蓋骨棘は 1–2 つ．鰓耙は短く，先端は丸い．両端の鰓耙はコブ状．胸鰭起部は腹鰭起部前方，および背鰭起部直下に位置し，胸鰭後端は背鰭第 6 棘条起部直下に達する．腹鰭起部は胸鰭起部後縁直下に位置し，後端は背鰭第 9 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 11 棘と第 1 軟条間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭直上に位置し，第 1–2 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 1 軟条直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 56.2–71.4%. 尾鰭は深く湾入し, 二叉型. 体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体は赤色．体側に 7–10 本の白色線がはいる．背鰭棘は暗赤色, 鰭膜は赤みがかった黒色, 背鰭第 1–5 鰭膜下部，および第 8–11 鰭膜上部に白色線がはいる. 背鰭軟条部第 1–2 鰭条は濃赤色. 残りは薄い赤色．鰭膜は透明．胸鰭は一様に薄い赤色．腹鰭は棘から第 1 軟条先端にかけて縁辺が白色，その直後から第 2 軟条の直前まで赤色．残りの鰭条は薄い赤色，鰭膜は透明．臀鰭は第 3 棘条まで白色，その直後から第 1 軟条まで濃赤色. 残りの鰭条は薄い赤色. 鰭膜は透明. 尾鰭は赤色. 虹彩は赤色で，瞳孔は黒色.

分布　本種はインド・太平洋に広く分布する（Randall, 1998）．日本国内では，小笠原諸島，静岡県富戸・大瀬崎，和歌山県串本，高知県柏島，大隅諸島（硫黄島, 種子島, 屋久島), 奄美群島（奄美大島，与論島），沖縄諸島（沖縄島，伊江島，瀬底島），慶良間諸島，宮古諸島，および八重山諸島（石垣島，西表島，与那国島）から記録されている（Shimizu and Yamakawa, 1979； 清 水, 1997; Senou et al., 2006, 2007；Motomura et al., 2010；林，2013；西山，2013, 2014；本研究）.

備考　本種はテリエビスと有孔側線鱗数が 45–49，背鰭棘部鰭膜に黒色域をもつことなどから酷似するが，背鰭棘部鰭膜の白線が途中で途切れる（後者は途切れない）ことと胸鰭軟条数が 13–15（通常 14）である［14–16（通常 15)］ことから識別される.

Sargocentron dorsomaculatum (Shimizu and Yamakawa, 1979)

バラエビス　(Figs. 3G, 6; Tables 5–6, 8–9)

標本　1 個体（体長 161.2 mm）：KAUM–I. 59436，体長 162.3 mm，琉球列島南部（奄美諸島から八重山諸島；泊いゆまちで購入)，2014 年 2 月 8 日，桜井　雄.

記載　背鰭鰭条数 XI, 13；臀鰭鰭条数 IV, 9；胸鰭軟条数 14；側線有孔鱗数 30；側線上方横列鱗数 2.5；鰓耙数 6 + 9 = 15.

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 41.7；体幅 22.1；頭長 41.7；吻長 7.6；眼径

12.7；両眼間隔 7.0；上顎長 15.3；前鰓蓋骨隅角部棘長 9.1；尾柄高 9.8；尾柄長 11.8；背鰭前長 40.3；臀鰭前長 79.7；腹鰭前長 40.8；背鰭第 1 棘条長 11.8；背鰭第 2 棘条長 16.0；背鰭最長棘条長 18.4；背鰭第 11 棘条長 4.7；背鰭最長軟条長 19.0；臀鰭第 1 棘条長 2.1；臀鰭第 2 棘条長 7.0；臀鰭第 3 棘条長 23.0；臀鰭第 4 棘条長 15.0；臀鰭最長軟条長 18.2；尾鰭長 28.9；胸鰭長 25.5；腹鰭棘条長 16.7；腹鰭軟条長 23.6.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 41.7% と低く，背鰭第 4 棘起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端より突出しない．口裂は大きく，上顎後端は瞳孔の後縁に位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在する．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 30.3%．主鰓蓋骨棘は 2 つ．鰓耙は短く，先端は丸い．両端の鰓耙はコブ状．胸鰭起部は腹鰭起部直上，および背鰭起部直下に位置し，胸鰭後端は背鰭第 7 棘条起部直下に達する．腹鰭起部は胸鰭起部後縁直下に位置し，後端は背鰭第 6 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 11 棘と第 1 軟条間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭直上に位置し，第 1–2 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 10 棘条直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 83.2%．尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体は赤色．腹側に向かうにつれて色合いが薄くなり白みがかった赤色になる．背鰭棘は赤色，鰭膜は白みを帯びた赤色，先端は白色，背鰭第 1–2 鰭膜に黒色斑がはいる．背鰭軟条は赤色．鰭膜は薄い赤色．胸鰭は一様に薄い赤色．腹鰭は赤色．臀鰭は第 3 棘条先端のみ白色，その他は赤色．尾鰭は赤色．虹彩は赤色で，瞳孔は黒色．

分布　本種はパラオ，カロリン諸島，および日本に分布する（Randall, 1998）．日本国内では，奄美群島（奄美大島，加計呂麻島），沖縄諸島（沖縄島），および八重山諸島（石垣島，与那国島）から記録されている（Shimizu and Yamakawa, 1979；林，2013；本研究）．

備考　本種は後鼻孔の縁辺に 1 本以上の小棘があること，眼の下の涙骨が鋸歯状になっていること，および有孔側線鱗数が 32–35 であることから同属他種と識別される．

Sargocentron ensiferum (Jordan and Evermann, 1903)
ハナエビス　(Figs. 3H, 6; Tables 5–6, 8–9)

標本　9 個体（体長 171.6–210.8 mm）：KAUM–I. 61570, 体長 194.5 mm，沖縄県うるま市与那城平安座与那城町漁業協同組合水揚げ，2014 年 4 月 19 日，桜井　雄；KAUM–I. 63680，体長 174.8 mm，沖縄県うるま市与那城平安座平安座漁港　平安座島（26°20′15″N, 127°57′26″E），2014 年 6 月 15 日，堺　恭輔；KAUM–I. 63681，体長 184.8 mm，KAUM–I. 63682，体長 175.6 mm，沖縄県うるま市与那城平安座平安座漁港　平安座島（26°20′15″N, 127°57′26″E），2014 年 6 月 5 日，堺　恭輔；URM-P 32110，体長 206.8 mm，URM-P 32111，体長 195.4 mm，URM-P 32112，体長 210.8 mm，URM-P 32113，体長 171.6 mm，沖縄県名護市城名護漁業協同組合で水揚げ，1994 年 7 月 16 日；URM-P 33032，体長 179.2 mm，沖縄県那覇市港町沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1994 年 11 月 19 日．

記載　背鰭鰭条数 XI, 13–15（最頻値 15）；臀鰭鰭条数 IV, 9–11 (10)；胸鰭軟条数 15–16 (15)；側線有孔鱗数 42–45 (43)；側線上方横列鱗数 3.5；鰓耙数 5–7 (7) + 12–14 (12) = 17–21.

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 37.0–40.7；体幅 17.0–18.1；頭長 34.4–40.9；吻長 8.7–10.9；眼径 10.9–12.6；両眼間隔 6.0–6.4；上顎長 13.0–15.1；前鰓蓋骨隅角部棘長 7.2–9.8；尾柄高 8.7–8.9；尾柄長 9.3–11.7；背鰭前長 35.3–36.9；臀鰭前長 77.1–80.1；腹鰭前長 39.2–40.9；背鰭第 1 棘条長 13.3–16.1；背鰭第 2 棘条長 14.0–18.0；背鰭最長棘条長 14.5–18.0；背鰭第 11 棘条長 6.5–8.3；背鰭最長軟条長 18.7–19.4；臀鰭第 1 棘条長 1.5–2.5；臀鰭第 2 棘条長 5.4–6.4；臀鰭第 3 棘条長 12.1–20.8；臀鰭第 4 棘条長 12.7–14.3；臀鰭最長軟条長 17.2–20.7；尾鰭長 21.7–27.3；胸鰭長 23.5–25.9；腹鰭棘条長 16.3–16.8；腹鰭軟条長 22.8–27.1.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾

柄は強く側偏する．体高は体長の 37.0–40.7% と高く，背鰭第 4 棘起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端よりやや前方に突出する．口裂は大きく，上顎後端は瞳孔の中央付近に位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在する．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 28.7–31.8%．主鰓蓋骨棘は 1 つ．鰓耙は短く，先端は丸い．両端の鰓耙はコブ状．胸鰭起部は腹鰭起部直上，および背鰭起部直下に位置し，胸鰭後端は背鰭第 7 棘条起部直下に達する．腹鰭起部は胸鰭起部直下に位置し，後端は背鰭第 7 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 11 棘と第 1 軟条間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭軟条部直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 1 軟条直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 76.0–95.6%．尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体，頭部背面は赤色．体腹側に 7–8 本の白線と背側に 3–4 本の黄色線がはいる．背鰭棘は赤みがかった黄色，背鰭棘部の鰭膜は黄色，白色および赤色が混じり，赤い縁どりがある．背鰭軟条部鰭条は赤色．鰭膜は白みがかった透明．胸鰭は一様に薄い赤色．腹鰭は第 1 軟条のみ薄い橙色，その他は白色．臀鰭は第 3 棘条起部と第 4 棘以降は赤色，その他は白色．尾鰭は先端が白色，基部から上葉と下葉の前縁に太い赤色帯があり，その他は赤みがかった白色．虹彩は赤色で，瞳孔は黒色．

分布　本種は日本，南シナ海，ニューカレドニア，サモア諸島，ハワイ諸島，およびピトケアン諸島に分布する（Randall, 1998；林，2013；池田・中坊，2015）．日本国内では，八丈島，和歌山県白浜，高知県柏島，愛媛県愛南，鹿児島県本土，沖縄諸島（沖縄島，平安座島），宮古諸島（宮古島），および八重山諸島（石垣島，西表島，与那国島）から記録されている（具志堅，1972；Shimizu and Yamakawa, 1979；清水，1997；辰馬，1999；林，2013；本研究）．

備考　本種は背鰭基底中央部側線上方横列鱗が 3.5 枚であることからトガリエビスと酷似するが，後鼻孔に小棘があること（後者ではない），主鰓蓋骨棘が 1 本であること（2 本），および背鰭棘部の鰭膜に切れ込みがない（ある）ことで区別される．

Sargocentron ittodai (Jordan and Fowler, 1902)
テリエビス　(Figs. 4A, 6; Tables 5–6, 8–9)

標本　210 個体（体長 47.5–158.4 mm）：KAUM–I. 8108，体長 81.4 mm，鹿児島県大島郡喜界町浦原海岸タイドプール　喜界島（28°17′06″N, 129°57′53″E），水深 0.5 m，2008 年 2 月 22 日，タモ網，目黒昌利；KAUM–I. 11271，体長 140.9 mm，鹿児島県熊毛郡屋久島町湯泊港内　屋久島（30°13′58″N, 130°28′26″E），水深 3–4 m，2008 年 8 月 11 日，釣り，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 11342，体長 152.5 mm，鹿児島県熊毛郡屋久島町カマゼノ鼻西側　屋久島（30°16′03″N, 130°24′47″E），水深 0–3 m，2008 年 8 月 12 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 15213，体長 92.9 mm，KAUM–I. 15234，体長 74.1 mm，KAUM–I. 15237，体長 92.0 mm，KAUM–I. 15256，体長 50.3 mm，鹿児島県　喜界島，1960 年 7 月 10–31 日，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 17423，体長 54.3 mm，鹿児島県奄美市笠利町土浜タイドプール　奄美大島（28°24′34″N, 129°40′31″E），水深 0.5–1.0 m，2009 年 3 月 26 日，タモ網，目黒昌利・吉田朋弘；KAUM–I. 20021，体長 115.6 mm，鹿児島県熊毛郡屋久島町湯泊漁港西側タイドプール　屋久島（30°13′58″N, 130°28′19″E），水深 0–3 m，2008 年 10 月 29 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 20323，体長 126.7 mm，鹿児島県熊毛郡屋久島町栗生カマゼノ鼻西側　屋久島（30°16′03″N, 130°24′48″E），水深 0–11 m，2008 年 10 月 30 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 24227，体長 129.6 mm，鹿児島県熊毛郡屋久島町尾之間港　屋久島（30°14′02″N, 130°33′14″E），水深 4–5 m，2009 年 11 月 20 日，釣り，村瀬敦宣；KAUM–I. 29111，体長 139.0 mm，KAUM–I. 29112，体長 146.9 mm，鹿児島県熊毛郡屋久島町小瀬田ふれあいパーク　屋久島（30°24′03″N, 130°38′06″E），水深 3–5 m，2010 年 3 月 4 日，釣り，松沼瑞樹；KAUM–I. 31683，体長 130.3 mm，鹿児島県鹿児島郡三島村硫黄島西側（30°47′04″N, 130°15′42″E），水深 10–15 m，2010 年 8 月 14 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 34474，体長 116.2 mm，鹿児島県大島郡住用町和瀬漁港　奄美大島（28°17′41″N, 129°28′27″E），水深 3–5 m，2010 年 11 月 23 日，釣り，太田竜平・大橋祐太・川村信和；KAUM–I. 36346，体長 65.5 mm，KAUM–I. 36347，体長 69.2 mm，鹿児島県　沖永良部島（27°22′N, 128°34′E）；KAUM–I. 39707，体長 91.5 mm，KAUM–I. 39708，体長 91.2 mm，鹿児島県大島郡与論町友利漁港内　与論島（27°01′58″N, 128°24′35″E），水深 3 m，2011 年 8 月 3 日，釣り，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 39772，体長 48.0 mm，鹿児島県大島郡与論町皆田海岸　与論島（27°03′13″N,

128°27′02″E)，水深 1–3 m，2011 年 8 月 10 日，タモ網，吉田朋弘・西山　肇・岩坪洸樹；KAUM–I. 39801，体長 98.3 mm，KAUM–I. 39802，体長 91.9 mm，鹿児島県大島郡与論町茶花漁港　与論島（27°03′00″N, 128°24′43″E)，水深 3–5 m，2011 年 8 月 10 日，釣り，松沼瑞樹；KAUM–I. 40077，体長 48.3 mm，KAUM–I. 40078，体長 48.6 mm，鹿児島県大島郡与論町ウドノス海岸沖　与論島（27°03′43″N, 128°25′02″E)，水深 0.3–1.0 m，2011 年 8 月 14 日，タモ網，松沼瑞樹；KAUM–I. 41142，体長 76.2 mm，KAUM–I. 41143，体長 50.9 mm，鹿児島県大島郡与論町供利漁港　与論島（27°01′54″N, 128°24′29″E)，水深 1–10 m，2011 年 8 月 19 日，タモ網，目黒昌利・片山英里；KAUM–I. 41247，体長 49.6 mm，鹿児島県大島郡与論町供利漁港　与論島（27°01′54″N, 128°24′29″E)，水深 1–10 m，2011 年 8 月 21 日，タモ網，目黒昌利・山下真弘・西山　肇；KAUM–I. 44001，体長 158.4 mm，KAUM–I. 44002，体長 146.8 mm，鹿児島県熊毛郡南種子町島間港近く　種子島（30°20′N, 130°51′E)，2011 年 11 月 29 日，刺網，山田守彦；KAUM–I. 44349，体長 47.7 mm，鹿児島県大島郡与論町前浜海岸　与論島（27°01′13″N, 128°26′25″E)，水深 2–10 m，2011 年 8 月 17 日，タモ網，目黒昌利・片山英里；KAUM–I. 46055，体長 63.7 mm，鹿児島県大島郡与論町供利漁港内　与論島（27°01′54″N, 128°24′29″E)，水深 2–5 m，2012 年 4 月 19 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 47949，体長 81.4 mm，鹿児島県大島郡与論町茶花港内　与論島（27°03′05″N, 128°24′21″E)，水深 5–6 m，2012 年 8 月 15 日，釣り，岡本　誠；KAUM–I. 47971，体長 52.3 mm，KAUM–I. 47972，体長 47.5 mm，鹿児島県大島郡与論町茶花海岸　与論島（27°03′05″N, 128°24′21″E)，水深 3 m，2012 年 8 月 15 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 48003，体長 54.2 mm，鹿児島県大島郡与論町茶花海岸　与論島（27°02′09″N, 128°24′08″E)，水深 3 m，2012 年 8 月 16 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 49800，体長 93.0 mm，沖縄県中頭郡読谷村渡具知　沖縄島（26°22′01″N, 127°44′15″E)，2012 年 9 月 30 日，打ち上げ，桜井　雄；KAUM–I. 51604，体長 111.1 mm，KAUM–I. 51605，体長 107.0 mm，KAUM–I. 51606，体長 97.8 mm，KAUM–I. 51607，体長 126.4 mm，KAUM–I. 51608，体長 116.2 mm，鹿児島県大島郡与論町茶花港内　与論島（27°02′09″N, 128°24′08″E)，水深 2 m，2012 年 10 月 25 日，釣り，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 55903，体長 102.7 mm，KAUM–I. 55904，体長 101.1 mm，鹿児島県熊毛郡南種子町島間港　種子島（30°28′02″N, 130°51′38″E)，水深 1–10 m，2013 年 8 月 1 日，釣り，目黒昌利・吉田朋弘・田代郷国；KAUM–I. 56513，体長 51.8 mm，鹿児島県西之表市国上浦田沖　種子島（30°49′36″N, 131°02′11″E)，水深 4–8 m，2013 年 9 月 18 日，タモ網，千葉　悟・吉田朋弘・山下真弘・田代郷国・福井美乃；KAUM–I. 57737，体長 97.9 mm，鹿児島県大島郡瀬戸内町蘇刈　奄美大島（28°07′50″N, 129°21′07″E)，水深 3–15 m，2013 年 12 月 13 日，タモ網，萩原清司・中江雅典・千葉　悟・目黒昌利・吉田朋弘・田代郷国・横山貞夫；KAUM–I. 57874，体長 110.2 mm，KAUM–I. 57875，体長 111.4 mm，KAUM–I. 57876，体長 101.9 mm，鹿児島県大島郡瀬戸内町崎ノ目　奄美大島（28°11′25″N, 129°15′50″E)，水深 5–25 m，2013 年 12 月 9 日，タモ網，萩原清司・中江雅典・千葉　悟・本村浩之・目黒昌利・吉田朋弘・田代郷国・横山貞夫；KAUM–I. 57926，体長 117.6 mm，KAUM–I. 57927，体長 92.0 mm，KAUM–I. 57928，体長 103.3 mm，KAUM–I. 57929，体長 101.8 mm，鹿児島県大島郡瀬戸内町蘇刈　奄美大島（28°07′50″N, 129°21′07″E)，水深 3–15 m，2013 年 12 月 13 日，タモ網，萩原清司・中江雅典・千葉　悟・目黒昌利・吉田朋弘・田代郷国・横山貞夫；KAUM–I. 58300，体長 85.7 mm，KAUM–I. 58301，体長 98.3 mm，鹿児島県大島郡与論町茶花漁港　与論島（27°02′59″N, 128°24′48″E)，水深 2–4 m，2014 年 1 月 20 日，釣り，目黒昌利・吉田朋弘・山下真弘・田代郷国・畑　晴陵；KAUM–I. 60555，体長 103.4 mm，KAUM–I. 60556，体長 99.7 mm，KAUM–I. 60557，体長 99.5 mm，KAUM–I. 60558，体長 102.9 mm，KAUM–I. 60559，体長 108.7 mm，鹿児島県奄美市名瀬塩浜町名瀬新港　奄美大島（28°23′33″N, 129°29′49″E)，水深 4 m，2014 年 4 月 23 日，釣り，松沼瑞樹；KAUM–I. 61077，体長 99.6 mm，鹿児島県大島郡与論町茶花与論港付近タイドプール　与論島（27°03′40″N, 128°25′02″E)，水深 0.3 m，2014 年 5 月 6 日，タモ網，本村浩之；KAUM–I. 61777，体長 80.3 mm，鹿児島県西之表市国上浦田沖　種子島（30°49′36″N, 131°02′11″E)，水深 10–15 m，2014 年 6 月 9 日，タモ網，小枝圭太・吉田朋弘・田代郷国・福井美乃；KAUM–I. 61840，体長 110.5 mm，KAUM–I. 61925，体長 104.0 mm，鹿児島県西之表市上古田漁港沖　種子島（30°48′N, 131°01′E)，水深 10–18 m，2014 年 6 月 10 日，タモ網，本村浩之・小枝圭太・吉田朋弘・田代郷国・福井美乃；KAUM–I. 62001，体長 74.1 mm，KAUM–I. 62034，体長 108.7 mm，KAUM–I. 62035，体長 100.7 mm，KAUM–I. 62036，体長 82.6 mm，KAUM–I. 62037，体長 75.2 mm，鹿児島県西之表市国上浦田沖　種子島（30°49′36″N, 131°02′11″E)，水深 10–15 m，2014 年 6 月 12 日，タモ網，小枝圭太・吉田朋弘・田代郷国・福井美乃；KAUM–I. 62676，体長 116.1 mm，鹿児島県大島郡瀬戸内町崎ノ目（下の根）　奄美大島（28°11′27″N, 129°15′52″E)，水深 25 m，2014 年 6 月 27 日，タモ網，萩原清司・吉田朋弘・田代郷国・横山貞夫；KAUM–I. 63351，体長 130.6 mm，鹿児島県鹿児島郡十島村中之島港内　中之島（29°50′22″N, 129°50′50″E)，水深 4 m，2014 年 8 月 31 日，釣り，本村浩之・小枝圭太・吉田朋弘・田代郷国；KAUM–I. 63418，体長 115.6 mm，鹿児島県鹿児島郡十島村中之島港内　中之島（29°50′29″N, 129°50′47″E)，水深 9 m，2014 年 9 月 1 日，釣り，小枝圭太・吉田朋弘；KAUM–I. 63641，体長 146.0 mm，鹿児島県西之表市上西大崎漁港　種子島（30°46′20″N, 131°00′26″E)，2014 年 7 月 28 日，釣り，小枝圭太・高山真由美；KAUM–I. 63852，体長 126.6 mm，KAUM–I. 63856，体長 77.9 mm，KAUM–I. 63857，体長 88.4 mm，鹿児島県大島郡瀬戸内町古仁屋港　奄美大島（28°08′42″N, 129°18′23″E)，水深 7–10 m，2014 年 6 月 26 日，釣り，Byeol Jeong・中江雅典・山川　武；KAUM–I. 64741，体長 106.1 mm，鹿児島県西之表市国上浦田沖　種子島（30°49′36″N, 131°02′11″E)，水深 10–15 m，2014 年 6 月 13 日，タモ網，小枝圭太・吉田朋弘・田代郷国・福井美乃；KAUM–I. 66434，体長 117.9 mm，鹿児島県熊毛郡南種子町島間港入口灯台下　種子島（30°28′08″N, 130°52′00″E)，水深 12–13 m，2014 年 9 月 21 日，刺網，畑　晴陵・高山真由美；KAUM–I. 66537，体長 67.6 mm，鹿児島県大島郡天城町千間海岸　徳之島（27°47′00″N, 128°53′38″E)，水深 4–7 m，2014 年 9 月 29 日，タモ網，田代郷国；KAUM–I. 66597，体長 100.7 mm，鹿児島県大島郡天城町平土野港　徳之島（27°48′46″N, 128°53′20″E)，水深 8–10 m，2014 年 9 月 30 日，釣り，吉田朋弘；KAUM–I. 66852，体長 116.9 mm，KAUM–I. 66853，体長 112.3 mm，KAUM–I. 66854，体長 108.6 mm，KAUM–I. 66858，体長 119.4 mm，KAUM–I. 66861，体長 119.2 mm，KAUM–I. 66862，体長 110.7 mm，沖縄県中頭郡読谷村残波岬　沖縄島（26°26′08″N, 127°42′45″E)，2014 年 6 月 12 日，堺　恭輔；KAUM–I. 66855，体長 77.5 mm，KAUM–I. 66856，体長 67.4 mm，KAUM–I. 66857，体長 103.0 mm，KAUM–I. 66859，体長 89.6 mm，KAUM–I.

66864, 体長 76.5 mm, KAUM–I. 66865, 体長 81.9 mm, KAUM–I. 66866, 体長 111.3 mm, KAUM–I. 66867, 体長 81.7 mm, KAUM–I. 66868, 体長 102.9 mm, KAUM–I. 66869, 体長 98.0 mm, KAUM–I. 66870, 体長 91.9 mm, KAUM–I. 66871, 体長 73.8 mm, KAUM–I. 66872, 体長 90.3 mm, KAUM–I. 66873, 体長 98.5 mm, 沖縄県国頭郡国頭村安田漁港 沖縄島（26°44′28″N, 128°19′06″E），2014 年 6 月 21 日，堺 恭輔；KAUM–I. 66863, 体長 112.9 mm, 沖縄県島尻郡久米島町 奥武島（26°20′N, 126°29′E），2014 年 6 月 22 日，堺 恭輔；KAUM–I. 66874, 体長 107.0 mm, KAUM–I. 66875, 体長 115.2 mm, KAUM–I. 66876, 体長 113.8 mm, 沖縄県中頭郡読谷村残波岬 沖縄島（26°26′08″N, 127°42′45″E），2014 年 6 月 7 日，堺 恭輔；KAUM–I. 68062, 体長 104.4 mm, KAUM–I. 68063, 体長 112.8 mm, KAUM–I. 68067, 体長 102.6 mm, KAUM–I. 68073, 体長 98.9 mm, KAUM–I. 68076, 体長 107.5 mm, KAUM–I. 68083, 体長 112.6 mm, KAUM–I. 68084, 体長 75.6 mm, 沖縄県宜野湾市宜野湾漁港 沖縄島（26°17′12″N, 127°44′30″E），2008 年 12 月 4 日，釣り，小枝圭太；KAUM–I. 68065, 体長 114.4 mm, KAUM–I. 68066, 体長 118.1 mm, 沖縄県宜野湾市宜野湾漁港 沖縄島（26°17′12″N, 127°44′30″E），2008 年 11 月 15 日，釣り，小枝圭太；KAUM–I. 68086, 体長 114.4 mm, 沖縄県 石垣島，2009 年 6 月 12 日，小枝圭太；KAUM–I. 71003, 体長 99.1 mm, KAUM–I. 71004, 体長 91.4 mm, KAUM–I. 71005, 体長 93.0 mm, 鹿児島県大島郡与論町茶花港 与論島（27°03′06″N, 128°24′08″E），水深 2–3 m，2015 年 3 月 15 日，釣り，小枝圭太・吉田朋弘・Byeol Jeong；KAUM–I. 71037, 体長 103.4 mm, 鹿児島県大島郡与論町茶花与論港 与論島（27°02′14″N, 128°24′03″E），水深 1–2 m，2015 年 3 月 16 日，釣り，上城拓也；KAUM–I. 71063, 体長 98.2 mm, 鹿児島県大島郡与論町茶花港内 与論島（27°02′57″N, 128°24′43″E），水深 1–2 m，2015 年 3 月 17 日，タモ網，田代郷国・大澤洋太；KAUM–I. 71104, 体長 107.0 mm, KAUM–I. 71105, 体長 101.3 mm, KAUM–I. 71106, 体長 100.7 mm, KAUM–I. 71107, 体長 88.5 mm, KAUM–I. 71108, 体長 91.0 mm, KAUM–I. 71109, 体長 86.5 mm, KAUM–I. 71110, 体長 96.5 mm, KAUM–I. 71111, 体長 90.9 mm, KAUM–I. 71112, 体長 96.0 mm, KAUM–I. 71113, 体長 87.5 mm, KAUM–I. 71114, 体長 89.5 mm, KAUM–I. 71115, 体長 104.1 mm, 鹿児島県大島郡与論町茶花港 与論島（27°02′57″N, 128°24′17″E），水深 1–2 m，2015 年 3 月 17 日，釣り，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 71188, 体長 127.3 mm, KAUM–I. 71189, 体長 130.5 mm, KAUM–I. 71190, 体長 107.5 mm, KAUM–I. 71191, 体長 116.8 mm, KAUM–I. 71192, 体長 108.3 mm, KAUM–I. 71193, 体長 102.7 mm, KAUM–I. 71195, 体長 105.4 mm, KAUM–I. 71196, 体長 106.7 mm, KAUM–I. 71198, 体長 105.6 mm, KAUM–I. 71199, 体長 95.3 mm, 鹿児島県大島郡与論町茶花漁港 与論島（27°02′57″N, 128°24′17″E），水深 1–2 m，2015 年 3 月 18 日，釣り，吉田朋弘・畑 晴陵・Byeol Jeong・上城拓也・江口慶輔・安藤ゆきの・大澤洋太・吉浦 藍；KAUM–I. 71785, 体長 114.4 mm, KAUM–I. 71786, 体長 116.3 mm, 鹿児島県西之表市三ツ瀬 種子島（30°41′N, 130°57′E），水深 15 m，2015 年 4 月 21 日，刺網，磯川次夫（安栄丸）；KAUM–I. 71797, 体長 138.3 mm, 鹿児島県 種子島，2015 年 3 月 23 日，高山真由美；KAUM–I. 71804, 体長 101.0 mm, KAUM–I. 71805, 体長 112.0 mm, KAUM–I. 71806, 体長 94.3 mm, KAUM–I. 71807, 体長 95.2 mm, KAUM–I. 71808, 体長 81.7 mm, KAUM–I. 71809, 体長 119.8 mm, KAUM–I. 71810, 体長 109.1 mm, KAUM–I. 71811, 体長 98.3 mm, KAUM–I. 71812, 体長 91.8 mm, KAUM–I. 71814, 体長 86.9 mm, KAUM–I. 71815, 体長 84.7 mm, KAUM–I. 71816, 体長 117.2 mm, 鹿児島県 奄美大島，2013 年 5 月 27 日，立原一憲；KAUM–I. 71818, 体長 84.4 mm, KAUM–I. 71819, 体長 93.4 mm, KAUM–I. 71820, 体長 89.9 mm, KAUM–I. 71821, 体長 81.3 mm, KAUM–I. 71822, 体長 101.8 mm, KAUM–I. 71823, 体長 94.9 mm, KAUM–I. 71824, 体長 96.6 mm, KAUM–I. 71825, 体長 82.9 mm, 鹿児島県奄美市名瀬長浜町ビッグマリン裏 奄美大島（28°23′47″N, 129°29′49″E），2013 年 11 月 24 日，立原一憲；KAUM–I. 72310, 体長 106.8 mm, 鹿児島県大島郡喜界町塩道早町港北側のリーフ 喜界島（28°20′05″N, 130°00′30″E），水深 3–15 m，2015 年 5 月 4 日，タモ網，吉田朋弘；KAUM–I. 72516, 体長 112.5 mm, KAUM–I. 72517, 体長 112.3 mm, KAUM–I. 72518, 体長 98.4 mm, KAUM–I. 72519, 体長 91.4 mm, 鹿児島県大島郡喜界町赤連湾港 喜界島（28°19′42″N, 129°56′09″E），水深 6 m，2015 年 5 月 4 日，釣り，稲葉智樹；KAUM–I. 72609, 体長 112.5 mm, 鹿児島県西之表市伊関沖 種子島（30°47′N, 131°05′E），水深 2 m，2015 年 4 月 25 日，刺網，高山真由美；KAUM–I. 74412, 体長 154.7 mm, 鹿児島県西之表市石井寺沖 種子島（30°42′N, 130°58′E），水深 30 m，2015 年 6 月 22 日，刺網，安栄丸；KAUM–I. 78591, 体長 149.7 mm, 鹿児島県西之表市西町西之表港（魚類市場前） 種子島（30°44′00″N, 130°59′36″E），水深 3 m，2015 年 9 月 27 日，釣り，鏑木紘一；KAUM–I. 78714, 体長 137.4 mm, 鹿児島県西之表市現和田之脇沖 種子島（30°41′N, 131°05′E），水深 20 m，2015 年 9 月 8 日，刺網，高山真由美；KAUM–I. 79119, 体長 115.9 mm, 鹿児島県奄美市笠利町笠利湾 奄美大島（28°28′20″N, 129°39′04″E），水深 0–15 m，2015 年 7 月 22 日，タモ網，萩原清司・中江雅典・小枝圭太・吉田朋弘・福井美乃・江口慶輔・吉浦 藍；KAUM–I. 79726, 体長 132.8 mm, 鹿児島県西之表市大崎沖 種子島（30°39′N, 130°54′E），水深 25 m，2015 年 9 月 23 日，刺網，安栄丸；KAUM–I. 82575, 体長 94.5 mm, 鹿児島県大島郡徳之島町山 徳之島（27°52′36″N, 128°58′29″E），水深 0.5–1.5 m，2015 年 11 月 28 日，タモ網，上野浩子；MUFS 23057, 体長 113.5 mm, 沖縄県 沖縄島，2006 年 5 月 19 日；URM-P 669, 体長 120.9 mm, URM-P 672, 体長 101.1 mm, 沖縄県糸満市小渡浜摩文仁よりのタイドプール 沖縄島，1975 年 11 月 19 日；URM-P 1436, 体長 111.4 mm, 沖縄県 沖縄島，1960 年代；URM-P 5697, 体長 113.6 mm, 沖縄県国頭郡本部町瀬底島南東のリーフ，1980 年 3 月 6 日；URM-P 6380, 体長 117.2 mm, 沖縄県南城市知念漁業協同組合で水揚げ，1982 年 12 月 28 日；URM-P 6627, 体長 124.9 mm, URM-P 6629, 体長 112.7 mm, 沖縄県南城市知念漁業協同組合で水揚げ，1983 年 1 月 28 日；URM-P 15531, 体長 100.0 mm, URM-P 15532, 体長 108.8 mm, URM-P 15533, 体長 112.3 mm, URM-P 15534, 体長 110.5 mm, 沖縄県南城市知念漁業協同組合で水揚げ，1986 年 2 月 20 日，刺網；URM-P 15579, 体長 107.4 mm, URM-P 15580, 体長 121.3 mm, 沖縄県南城市知念漁業協同組合で水揚げ，1986 年 2 月 26 日，刺網；URM-P 17850, 体長 98.0 mm, URM-P 17851, 体長 91.4 mm, 沖縄県南城市海野漁港 沖縄島（26°11′N, 127°48′E），1986 年 8 月 14 日，釣り；URM-P 18125, 体長 102.1 mm, 沖縄県南城市知念 沖縄島，1986 年 10 月 4 日；URM-P 19905, 体長 74.1 mm, 沖縄県那覇市安謝 沖縄島，1987 年 2 月 17 日，釣り；URM-P 19957, 体長 50.2 mm, 沖縄県 瀬底島，1974 年 7 月；URM-P 24631, 体長 114.2 mm, 沖縄県中頭郡中城村浜漁港 沖縄島，1974 年 7 月；URM-P 26983, 体長 121.3 mm, 沖縄県南城市海野漁港 沖縄島（26°11′N, 127°48′E），1991 年

12 月 25 日，釣り；URM-P 27714，体長 104.2 mm，沖縄県中頭郡中城村浜漁港　沖縄島，1992 年 5 月 22 日；URM-P 28697，体長 68.4 mm，沖縄県南城市馬天港　沖縄島（26°10′N, 127°46′E），1992 年 10 月 26 日，釣り；URM-P 29768，体長 107.9 mm，沖縄県中頭郡中城村浜漁港　沖縄島，1993 年 5 月 13 日；URM-P 32340，体長 155.6 mm，鹿児島県鹿児島郡三島村小宝港　小宝島（29°13′N, 129°19′E），1994 年 7 月 5 日，釣り；URM-P 34338，体長 96.4 mm，沖縄県石垣市美崎町離島桟橋　石垣島，1995 年 7 月 12 日，釣り；URM-P 34517，体長 70.8 mm，沖縄県国頭郡恩納村万座毛　沖縄島，1995 年 10 月 1 日；URM-P 35512，体長 60.1 mm，沖縄県南城市玉城村　奥武島，1996 年 1 月 22 日；URM-P 37690，体長 92.6 mm，沖縄県宮古島市　池間島，1997 年 2 月 22 日；URM-P 39101，体長 90.6 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1998 年 1 月 16 日；URM-P 39452，体長 95.1 mm，沖縄県国頭郡国頭村宜名真漁港　沖縄島（26°50′N, 128°15′E），1998 年 8 月 27 日.

記載　背鰭鰭条数 XI–XII, 11–15（最頻値 13）；臀鰭鰭条数 IV, 8–11 (9)；胸鰭軟条数 13–17 (15)；側線有孔鱗数 43–50 (47)；側線上方横列鱗数 2.5；鰓耙数 4–7 (6) + 11–15 (13) = 17–22 (19).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 25.0–38.5；体幅 16.6–19.0；頭長 25.9–39.6；吻長 5.7–10.7；眼径 7.0–16.2；両眼間隔 5.7–9.3；上顎長 8.9–14.2；前鰓蓋骨隅角部棘長 2.7–12.2；尾柄高 7.4–11.2；尾柄長 8.7–14.6；背鰭前長 34.4–37.5；臀鰭前長 71.3–78.7；腹鰭前長 37.2–41.0；背鰭第 1 棘条長 7.1–15.6；背鰭第 2 棘条長 12.5–18.0；背鰭最長棘条長 11.4–24.1；背鰭第 11 棘条長 3.3–7.5；背鰭最長軟条長 17.6–21.3；臀鰭第 1 棘条長 0.7–2.0；臀鰭第 2 棘条長 4.5–6.0；臀鰭第 3 棘条長 16.7–28.6；臀鰭第 4 棘条長 9.9–20.0；臀鰭最長軟条長 19.0–23.4；尾鰭長 26.3–29.3；胸鰭長 23.4–26.6；腹鰭棘条長 15.4–19.5；腹鰭軟条長 22.7–27.1.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 25.0–38.5% と低く，背鰭第 4 棘起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端より突出しない．口裂は大きく，上顎後端は瞳孔の中央付近に位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在しない．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 19.2–45.1%．主鰓蓋骨棘は 1–3 つ．鰓耙は短く，先端は丸い．両端の鰓耙はコブ状．胸鰭起部は腹鰭起部の前方，および背鰭起部直下に位置し，胸鰭後端は背鰭第 7 棘条起部直下に達する．腹鰭起部は胸鰭第 7 軟条起部直下に位置し，後端は背鰭第 6 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 11 棘と第 1 軟条間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 1 軟条直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 52.6–77.6%．尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体は赤色．吻から前鰓蓋骨までに白色帯がはいる．体側に 7–10 本の白線がはいる．背鰭棘は赤色，背鰭棘部の鰭膜は赤色，白色帯がはいる，第 1–3 鰭膜に黒斑がはいる．背鰭軟条部鰭条は赤色．鰭膜は透明．胸鰭は一様に赤色．腹鰭は第 1 軟条先端が白色，残りは赤色，鰭膜は透明．臀鰭は赤色，鰭膜は透明．尾鰭は赤色．虹彩は赤色で，瞳孔は黒色.

分布　本種はハワイ諸島を除くインド・太平洋に広く分布する（Randall, 1998；林，2013）．日本国内では，八丈島，小笠原諸島，千葉県館山，神奈川県三崎，静岡県下田・大瀬崎，和歌山県串本，高知県以布利・柏島，愛媛県室手，鹿児島県内ノ浦，大隅諸島（硫黄島，種子島，屋久島），トカラ列島（小宝島），奄美群島（奄美大島，喜界島，沖永良部島，与論島），沖縄諸島（沖縄島，伊江島，瀬底島，奥武島），慶良間諸島，宮古諸島（池間島），および八重山諸島（石垣島）から記録されている（Shimizu and Yamakawa, 1979；清水，1997；平田ほか，2001；Senou et al., 2006, 2007；Motomura et al., 2010；三浦，2012；林，2013；西山，2013, 2014; 本研究）.

備考　本種は背鰭棘部鰭膜に白色縦帯があることからニジエビスと酷似するが，背鰭棘部の白色縦帯がつながる（後者は途中で途切れる）ことと胸鰭軟条数が 14–17（通常 15）である［13–15（通常 14）］ことから識別される.

Sargocentron melanospilos (Bleeker, 1858)

スミツキカノコ (Figs. 4B, 6; Tables 5–6, 8–9)

標本 14 個体（体長 117.8–202.3 mm）：KAUM–I. 30573, 体長 180.9 mm, 鹿児島県鹿児島郡三島村竹島港 竹島（30°49′03″N, 130°25′11″E）, 水深 3 m, 2010 年 6 月 26 日, 釣り, 荻原豪太・吉田朋弘；KAUM–I. 37926, 体長 172.2 mm, 鹿児島県鹿児島郡三島村硫黄島南側（30°46′32″N, 130°16′43″E）, 水深 10–30 m, 2011 年 5 月 18 日, モリ, KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 63684, 体長 166.3 mm, 沖縄県うるま市平安座漁港 平安座島（26°20′15″N, 127°57′26″E）, 2014 年 6 月 5 日, 堺 恭輔；KAUM–I. 66922, 体長 187.7 mm, 鹿児島県西之表市田之脇沖 種子島（30°41′N, 131°05′E）, 2014 年 11 月 20 日, 刺網, 高山真由美；KAUM–I. 77234, 体長 202.3 mm, 鹿児島県西之表市石井寺沖 種子島（30°42′N, 130°58′E）, 水深 35 m, 2015 年 7 月 23 日, 刺網, 高山真由美；KAUM–I. 78661, 体長 139.4 mm, 鹿児島県西之表市花里浜海岸 種子島（30°44′45″N, 130°59′44″E）, 水深 5 m, 2015 年 9 月 5 日, 刺網, 高山真由美；KAUM–I. 82600, 体長 177.6 mm, 鹿児島県西之表市箱崎沖 種子島（30°43′39″N, 130°58′43″E）, 水深 30 m, 2015 年 11 月 6 日, 刺網, 安栄丸；MUFS 12638, 体長 162.8 mm, 沖縄県国頭郡伊江村 伊江島, 1996 年 11 月 8 日；MUFS 12702, 体長 171.3 mm, 沖縄県 沖縄島, 1996 年 11 月 11 日, 小型定置網；MUFS 15932, 体長 117.8 mm, 沖縄県国頭郡伊江村 伊江島, 1998 年 7 月 7 日；URM-P 644, 体長 167.9 mm, 沖縄県島尻郡久米島町 久米島, 1973 年 12 月 26 日, 刺網；URM-P 2933, 体長 187.3 mm, 八重山諸島（沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ）, 1982 年 5 月 17 日；URM-P 15528, 体長 154.1 mm, 沖縄県南城市知念漁業協同組合で水揚げ, 1986 年 2 月 20 日, 刺網；URM-P 35635, 体長 145.5 mm, 沖縄県国頭郡国頭村座津武 沖縄島（26°49′N, 128°14′E）, 水深 20 m, 1996 年 6 月 15 日.

記載 背鰭鰭条数 XI, 12–14（最頻値 13）；臀鰭鰭条数 IV, 8–10 (9)；胸鰭軟条数 14–15 (14)；側線有孔鱗数 33–35 (34)；側線上方横列鱗数 2.5；鰓耙数 6–7 + 9–12 (11) = 15–19 (18).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 33.9–39.8；体幅 16.1–18.2；頭長 35.3–37.8；吻長 8.3–11.0；眼径 10.0–12.4；両眼間隔 6.9–8.0；上顎長 14.5–16.7；前鰓蓋骨隅角部棘長 8.2–11.0；尾柄高 8.2–9.9；尾柄長 10.7–13.7；背鰭前長 36.7–37.6；臀鰭前長 78.2–79.0；腹鰭前長 37.3–40.8；背鰭第 1 棘条長 10.3–13.5；背鰭第 2 棘条長 14.1–15.9；背鰭最長棘条長 15.9–19.0；背鰭第 11 棘条長 4.1–5.6；背鰭最長軟条長 18.5–20.0；臀鰭第 1 棘条長 1.1–2.0；臀鰭第 2 棘条長 4.9–5.3；臀鰭第 3 棘条長 19.2–23.8；臀鰭第 4 棘条長 12.5–18.5；臀鰭最長軟条長 19.4–21.4；尾鰭長 27.2–28.6；胸鰭長 23.2–24.7；腹鰭棘条長 16.1–18.3；腹鰭軟条長 26.4–29.3.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 33.9–39.8% と低く，背鰭第 4 棘起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．上顎先端は下顎先端より前方に突出する．口裂は大きく，上顎後端は瞳孔の中央付近に位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に 2–5 つの小棘が存在する．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 27.8–32.9%．主鰓蓋骨棘は 2 つ．鰓耙は短く，先端は丸い．両端の鰓耙はコブ状．胸鰭起部は腹鰭起部の前方，および背鰭起部直下に位置し，胸鰭後端は背鰭第 7 棘条起部直下に達する．腹鰭起部は胸鰭第 4 軟条起部直下に位置し，後端は背鰭第 10 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 11 棘と第 1 軟条間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 1 軟条直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 67.9–92.4%. 尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩 体は金色．側線上部は赤色．眼前端から前鰓蓋骨までに白色帯がはいる．下顎は白色．背鰭軟条部基部，臀鰭軟条部，および尾柄後端に暗色斑がはいる．背鰭棘は赤色，背鰭棘部の鰭膜は赤色，上部に白色帯がはいる，背鰭第 1–2 軟条部鰭条は赤色，残りは黄色．鰭膜は透明．胸鰭は一様に黄色．腹鰭前縁は白色，第 1 軟条は赤色，残りは黄色．臀鰭前縁は白色，第 3 棘から第 1 軟条は暗赤色, 残りは黄色．尾鰭上端と下端は赤色，残りは黄色．虹彩は赤みがかった銀色で，瞳孔は黒色.

分布 本種はセーシェルからサモアまでのインド・西太平洋に分布する（Randall, 1998；林, 2013）．日本国内では，八丈島，小笠原諸島，和歌山県串本，高知県柏島，大隅諸島（竹島，硫黄島，種子島，屋久島），奄美群島（奄美大島，与

論島），沖縄諸島（沖縄島，伊江島，平安座島），慶良間諸島（久米島），宮古諸島，および八重山諸島（石垣島，西表島）から記録されている（具志堅，1972；Shimizu and Yamakawa, 1979；増田・アレン，1991；清水,1997；Senou et al., 2006, 2007；Motomura et al., 2010；林，2013；西山，2013, 2014；本研究）.

備考　本種は上顎先端が下顎より前に突出することと背鰭と臀鰭の軟条部基底付近と尾柄中央にそれぞれ黒斑があることから同属他種と明瞭に識別される.

Sargocentron praslin (Lacepède, 1802)

クロオビエビス　(Figs. 4C, 6; Tables 5–6, 8–9)

標本　28 個体（体長 29.5–202.4 mm）：KAUM–I. 5689, 体長 35.0 mm，鹿児島県西之表市国上喜志鹿崎　種子島（30°50′22″N, 131°03′22″E），水深 0.5 m，2007 年 8 月 9 日，タモ網，目黒昌利；KAUM–I. 8180，体長 202.4 mm，沖縄県，1958 年 7 月；KAUM–I. 8181，体長 76.2 mm，沖縄県，1958 年 8 月；KAUM–I. 11531，体長 43.4 mm，鹿児島県熊毛郡屋久島町安房春田浜　屋久島（30°18′02″N, 130°39′17″E），水深 0.5–2.0 m, 2008 年 8 月 14 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 17538，体長 43.1 mm，鹿児島県奄美市笠利町土盛海岸　奄美大島（28°27′48″N, 129°43′08″E），水深 0.5–1.0 m, 2009 年 3 月 29 日，タモ網，目黒昌利・吉田朋弘；KAUM–I. 28809，体長 37.5 mm，KAUM–I. 28810，体長 39.8 mm，沖縄県国頭郡国頭村沖縄やんばる海水揚水発電所付近　沖縄島（26°40′25″N, 128°15′56″E），水深 0.5 m, 2008 年 7 月 11 日，タモ網；KAUM–I. 37909，体長 180.7 mm，鹿児島県鹿児島郡三島村硫黄島南側（30°46′32″N, 130°16′43″E），水深 10–30 m，2011 年 5 月 17 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 40016，体長 29.5 mm，鹿児島県大島郡与論町ウドノス海岸沖　与論島（27°03′43″N, 128°25′02″E），水深 0.3–1.0 m，2011 年 8 月 14 日，タモ網，松沼瑞樹；KAUM–I. 57269，体長 174.7 mm，KAUM–I. 57270，体長 177.0 mm，KAUM–I. 57271，体長 185.7 mm，KAUM–I. 57272，体長 172.5 mm，KAUM–I. 57273，体長 186.9 mm，KAUM–I. 57274，体長 182.8 mm，鹿児島県西之表市田之脇沖　種子島（30°41′N, 131°05′E），2013 年 11 月 30 日，刺網，高山真由美；KAUM–I. 61076，体長 104.3 mm，鹿児島県大島郡与論町茶花港付近タイドプール　与論島（27°03′40″N, 128°25′02″E），水深 0.3 m，2014 年 5 月 6 日，タモ網，本村浩之；KAUM–I. 61161，体長 134.0 mm，鹿児島県熊毛郡南種子町種子島宇宙センター竹崎漁港南側　種子島（30°22′13″N, 130°57′30″E），水深 1–2 m，2014 年 6 月 8 日，タモ網，小枝圭太・吉田朋弘・田代郷国；KAUM–I. 63139，体長 83.5 mm，鹿児島県西之表市栄町西之表港　種子島（30°43′55″N, 130°59′00″E），水深 2 m，2014 年 8 月 24 日，釣り，小枝圭太；KAUM–I. 63424，体長 160.0 mm，鹿児島県鹿児島郡十島村中之島港東側　中之島（29°50′13″N, 129°51′03″E），水深 5 m，2014 年 9 月 2 日，タモ網，小枝圭太・吉田朋弘・田代郷国；KAUM–I. 63498，体長 184.9 mm，KAUM–I. 63502，体長 134.1 mm，鹿児島県熊毛郡中種子町牧川 – 住吉沖　種子島（30°32′N, 130°55′E），水深 3–5 m，2014 年 9 月 6 日，刺網，高山真由美；KAUM–I. 70816，体長 95.7 mm，鹿児島県大島郡与論町茶花港付近タイドプール　与論島（27°02′14″N, 128°23′57″E），水深 0.3 m，2015 年 3 月 13 日，タモ網，江口慶輔・安藤ゆきの・大澤洋太・吉浦　藍；KAUM–I. 71102，体長 100.2 mm，鹿児島県大島郡与論町茶花港　与論島（27°02′57″N, 128°24′17″E），水深 1–2 m，2015 年 3 月 17 日，釣り，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 71798，体長 110.1 mm，鹿児島県　奄美大島，2013 年 5 月 27 日，立原一憲；KAUM–I. 78715，体長 188.0 mm，KAUM–I. 78716，体長 180.7 mm，KAUM–I. 78717，体長 169.1 mm，鹿児島県西之表市田之脇沖　種子島（30°41′N, 131°05′E），水深 20 m，2015 年 9 月 8 日，刺網，高山真由美；KAUM–I. 80524，体長 178.7 mm，鹿児島県馬毛島西方（30°44′N, 130°49′E），水深 22 m，2015 年 10 月 14 日，刺網，高山真由美.

記載　背鰭鰭条数 XI, 12–14（最頻値 13）；臀鰭鰭条数 IV, 9–10 (9)；胸鰭軟条数 14–15 (14)；側線有孔鱗数 31–36 (33)；側線上方横列鱗数 2.5；鰓耙数 5–7 (6) + 8–11 (11) = 13–18 (17).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 32.1–40.7；体幅 19.9–21.5；頭長 34.6–41.3；吻長 4.9–8.6；眼径 12.0–21.3；両眼間隔 7.3–9.0；上顎長 13.1–16.7；前鰓蓋骨隅角部棘長 4.7–8.9；尾柄高 9.1–10.2；尾柄長 10.8–13.4；背鰭前長 34.8–38.5；臀鰭前長 74.9–81.2；腹鰭前長 37.8–39.8；背鰭第 1 棘条長 8.8–15.4；背鰭第 2 棘条長 13.6–20.2；背鰭最長棘条長 16.6–22.5；背鰭第 11 棘条長 4.6–8.9；背鰭最長軟条長 20.3–22.1；臀鰭第 1 棘条長 1.4–2.1；臀鰭第 2 棘条長 5.1–6.9；臀鰭第 3 棘条長 20.8–26.7；臀鰭第 4 棘条長 13.3–15.5；臀鰭最長軟条長 20.2–21.9；尾鰭長 29.7–31.7；胸鰭長 23.8–26.9；腹鰭棘条長 17.1–19.8；腹鰭軟条長 24.4–25.8.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 32.1–40.7% と低く，背鰭第 4 棘起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端より突出しない．口裂は大きく，上顎後端は瞳孔の中央付近に位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在しない．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 34.3–54.4%．主鰓蓋骨棘は 2–4 つ．鰓耙は短く，先端は丸い．両端の鰓耙はコブ状．胸鰭起部は腹鰭起部の前方，および背鰭起部

直下に位置し，胸鰭後端は背鰭第 6 棘条起部直下に達する．腹鰭起部は胸鰭第 5 軟条起部直下に位置し，後端は背鰭第 8 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 11 棘と第 1 軟条間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 1 軟条直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 74.5–94.4%．尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体は赤褐色．体腹側に向かうにつれて色合いが薄くなり，白みがかった赤色になる．体側に 5–8 本の褐色帯がはいる．眼前端から前鰓蓋骨までに白色帯がはいる．背鰭棘は赤褐色，背鰭棘部の鰭膜は赤褐色，棘周辺に白色域がはいる，背鰭軟条部鰭条は赤褐色．鰭膜は透明．胸鰭は一様に赤褐色．腹鰭前縁は白色，第 1 軟条は濃い赤褐色．臀鰭前縁は白色，第 3 棘から第 1 軟条は暗赤色，残りは褐色．尾鰭上端と下端は暗赤色，残りは褐色．虹彩は赤みがかった銀色で，瞳孔は黒色．

分布　本種はインド・西太平洋に分布する（Randall, 1998；林，2013）．日本国内では，高知県以布利，大隅諸島（硫黄島，種子島，馬毛島，屋久島），トカラ列島（中之島），奄美群島（奄美大島，与論島），沖縄諸島（沖縄島），および宮古諸島から記録されている（Senou et al., 2007；Motomura et al., 2010；三浦，2012；林，2013；西山，2013, 2014；本研究）．

備考　本種はアヤメエビスと混同されていたが，岩槻ほか（1999）によって新標準和名クロオビエビスが提唱された．本種は鼻骨の後部に小棘がないことと涙骨上縁に水平に突出する 1 小棘があることからアヤメエビスと酷似するが，頬の鱗列数が 4（後者は 5）であること，腹鰭第 1 軟条が濃い赤褐色であること（縁辺が濃い赤褐色），および体背側面に 4–5 本（後者は 1–2 本）の暗赤色縦帯があることから識別される．

Sargocentron punctatissimum (Cuvier, 1829)

ホシエビス　（Figs. 4D, 6; Tables 5–6, 8–9）

標本　63 個体（体長 39.5–136.7 mm）：KAUM–I. 1968（7 個体），体長 39.5–92.5 mm，鹿児島県大島郡　与論島，1962 年 7 月；KAUM–I. 8113，体長 83.3 mm，鹿児島県大島郡喜界町浦原海岸タイドプール　喜界島（28°17′06″N, 129°57′53″E），水深 0.5 m，2008 年 2 月 22 日，タモ網，目黒昌利；KAUM–I. 11255，体長 125.5 mm，鹿児島県熊毛郡屋久島町湯泊漁港内　屋久島（30°13′58″N, 130°28′26″E），水深 3–4 m，2008 年 8 月 11 日，釣り，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 11341，体長 122.0 mm，鹿児島県熊毛郡屋久島町栗生カマゼノ鼻西側　屋久島（30°16′03″N, 130°24′47″E），水深 0–3 m，2008 年 8 月 12 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 15214，体長 74.2 mm，KAUM–I. 15263，体長 46.6 mm，鹿児島県大島郡　喜界島，1960 年 7 月 10–31 日；KAUM–I. 17476，体長 95.4 mm，鹿児島県奄美市笠利町土浜タイドプール　奄美大島（28°24′34″N, 129°40′31″E），水深 0.5–1.0 m，2009 年 3 月 27 日，タモ網，目黒昌利・吉田朋弘；KAUM–I. 28807，体長 52.3 mm，KAUM–I. 28808，体長 52.9 mm，沖縄県国頭郡国頭村沖縄やんばる海水揚水発電所付近　沖縄島（26°40′25″N, 128°15′56″E），水深 0.5 m，2008 年 7 月 11 日，タモ網；KAUM–I. 29546，体長 97.4 mm，鹿児島県鹿児島郡三島村硫黄島南側（30°46′32″N, 130°16′43″E），水深 10–60 m，2010 年 5 月 26 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 29613，体長 136.7 mm，鹿児島県鹿児島郡三島村硫黄島西側（30°47′04″N, 130°15′42″E），水深 5–20 m，2010 年 5 月 28 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 36342，体長 76.1 mm，KAUM–I. 36343，体長 67.9 mm，KAUM–I. 36344，体長 66.0 mm，KAUM–I. 36345，体長 67.1 mm，鹿児島県　沖永良部島（27°22′N, 128°34′E）；KAUM–I. 36913，体長 69.5 mm，鹿児島県熊毛郡屋久島町尾之間　屋久島（30°14′N, 130°33′E），1988 年 10 月 13 日；KAUM–I. 39868，体長 41.1 mm，KAUM–I. 39880，体長 41.6 mm，鹿児島県大島郡与論町供利漁港近くの海岸　与論島（27°01′48″N, 128°24′37″E），水深 1–3 m，2011 年 8 月 12 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 39986，体長 81.2 mm，鹿児島県大島郡与論町供利漁港近くの海岸　与論島（27°01′48″N, 128°24′37″E），水深 0.5–3 m，2011 年 8 月 13 日，タモ網，山下真弘・吉田朋弘・西山　肇・岩坪洸樹；KAUM–I. 45885，体長 53.2 mm，鹿児島県大島郡与論町前浜海岸タイドプール　与論島（27°01′13″N, 128°26′26″E），水深 0.3 m，2012 年 4 月 17 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 45957，体長 106.0 mm，鹿児島県大島郡与論町与論港付近タイドプール　与論島（27°03′40″N, 128°25′02″E），水深 0.5 m，2012 年 4 月 18 日，タモ網，田代郷国・中村千愛・千葉　悟；KAUM–I. 46097，体長 95.7 mm，KAUM–I. 46098，体長 59.4 mm，KAUM–I. 46099，体長 62.0 mm，鹿児島県大島郡与論町与論港付近タイドプール　与論島（27°03′40″N, 128°25′02″E），水深 0.5 m，2012 年 4 月 21 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 51253，体長 62.0 mm，鹿児島県大島郡与論町与論港付近　与論島（27°03′40″N, 128°25′02″E），水深 2 m，2012 年 10 月 23 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 51447，体長 91.2 mm，鹿児島県大島郡与論町与論港付近　与論島（27°03′40″N, 128°25′02″E），水深 8 m，2012 年 10 月 27 日，タモ網，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 61075，体長 89.0 mm，鹿児島県大島郡与論町与論港付近タイドプール　与論

島（27°03′40″N, 128°25′02″E），水深 0.3 m，2014 年 5 月 6 日，タモ網，本村浩之；KAUM–I. 63132，体長 130.3 mm，鹿児島県熊毛郡中種子町中山漁港の堤防　種子島（30°31′40″N, 130°59′35″E），水深 2 m，2014 年 8 月 25 日，釣り，鏑木紘一；KAUM–I. 63801，体長 136.0 mm，鹿児島県西之表市田之脇沖　種子島（30°41′N, 131°05′E），2014 年 6 月 24 日，刺網，高山真由美；KAUM–I. 64894，体長 102.5 mm，琉球列島南部（泊いゆまちで購入），2013 年 12 月 6 日，岩坪洸樹；KAUM–I. 66877，体長 95.2 mm，沖縄県那覇市那覇海岸　沖縄島（26°13′16″N, 127°39′58″E），2014 年 7 月 29 日，堺　恭輔；KAUM–I. 70814，体長 83.4 mm，KAUM–I. 70815，体長 100.9 mm，鹿児島県大島郡与論町茶花港付近タイドプール　与論島（27°02′14″N, 128°23′57″E），水深 0.3 m，2015 年 3 月 13 日，タモ網，江口慶輔・安藤ゆきの・大澤洋太・吉浦　藍；KAUM–I. 71097，体長 55.5 mm，鹿児島県大島郡与論町茶花港　与論島（27°02′57″N, 128°24′17″E），水深 1–2 m，2015 年 3 月 17 日，釣り，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 71827，体長 112.0 mm，KAUM–I. 71828，体長 111.0 mm，KAUM–I. 71829，体長 99.8 mm，KAUM–I. 71830，体長 106.6 mm，KAUM–I. 71831，体長 104.5 mm，KAUM–I. 71832，体長 98.4 mm，KAUM–I. 71833，体長 111.7 mm，KAUM–I. 71834，体長 106.3 mm，沖縄県国頭郡恩納村真栄田岬青の洞窟　沖縄島（26°26′33″N, 127°46′24″E），2013 年 6 月 17 日，堺　恭輔；URM-P 634，体長 103.4 mm，沖縄県糸満市　沖縄島，1973 年 12 月；URM-P 17964，体長 63.8 mm，沖縄県糸満市大度浜タイドプール　沖縄島（26°05′N, 127°42′E），1975 年 11 月 19 日；URM-P 18472，体長 67.5 mm，URM-P 18473，体長 65.9 mm，URM-P 18474，体長 46.2 mm，沖縄県国頭郡恩納村真栄田岬タイドプール　沖縄島（26°26′N, 127°46′E），1986 年 12 月 2 日；URM-P 18777，体長 92.4 mm，沖縄県南城市知念漁業協同組合で水揚げ，1987 年 6 月 10 日，刺網；URM-P 20033，体長 55.3 mm，沖縄県浦添市港川　沖縄島，1988 年 11 月 8 日；URM-P 31078，体長 98.4 mm，URM-P 31080，体長 101.3 mm，URM-P 31081，体長 85.5 mm，沖縄県那覇市那覇地区漁業協同組合で水揚げ，1994 年 1 月 6 日；URM-P 32341，体長 93.8 mm，鹿児島県鹿児島郡三島村小宝港　小宝島（29°13′N, 129°19′E），1994 年 7 月 5 日，釣り；URM-P 34498，体長 113.6 mm，沖縄県うるま市赤崎　沖縄島，1995 年 10 月 1 日；URM-P 34820，体長 58.5 mm，URM-P 34821，体長 50.6 mm，沖縄県浦添市港川　沖縄島，1995 年 12 月 9 日；URM-P 38646，体長 55.2 mm，沖縄県中頭郡中城村浜漁港　沖縄島，1995 年 12 月 9 日.

記載　背鰭鰭条数 XI, 12–15（最頻値 13）；臀鰭鰭条数 IV, 8–10 (9)；胸鰭軟条数 13–16 (15)；側線有孔鱗数 39–46 (43)；側線上方横列鱗数 2.5；鰓耙数 5–7 (6) + 8–13 (12) = 14–19 (18).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 26.2–38.8；体幅 18.1；頭長 29.0–39.3；吻長 5.7–9.6；眼径 10.9–16.2；両眼間隔 7.0–9.9；上顎長 10.1–16.2；前鰓蓋骨隅角部棘長 7.0–9.9；尾柄高 9.0；尾柄長 13.1；背鰭前長 37.3；臀鰭前長 74.0；腹鰭前長 37.9；背鰭第 1 棘条長 8.9–16.6；背鰭第 2 棘条長 12.2–19.5；背鰭最長棘条長 14.5–20.3；背鰭第 11 棘条長 2.4–6.1；背鰭最長軟条長 20.0；臀鰭第 1 棘条長 1.7；臀鰭第 2 棘条長 5.6；臀鰭第 3 棘条長 17.1–29.1；臀鰭第 4 棘条長 14.1–20.9；臀鰭最長軟条長 20.1–25.8；尾鰭長 28.7；胸鰭長 26.1；腹鰭棘条長 19.3；腹鰭軟条長 26.2.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 26.2–38.8% と低く，背鰭第 4 棘起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端より突出しない．口裂は小さく，上顎後端は瞳孔の前縁付近に位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在しない．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 33.7–45.2%．主鰓蓋骨棘は 2 つ．鰓耙は短く，先端は丸い．両端の鰓耙はコブ状．胸鰭起部は腹鰭起部，および背鰭起部の前方に位置し，胸鰭後端は背鰭第 6 棘条起部直下に達する．腹鰭起部は胸鰭後縁起部直下に位置し，後端は背鰭第 7 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 11 棘と第 1 軟条間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 1 軟条直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 69.0%．尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体は薄い赤色．体腹側に向かうにつれて色合いが薄くなり，赤みがかった銀色になる．眼前端から前鰓蓋骨棘までに赤色帯がはいる．背鰭棘は赤色，背鰭棘部の鰭膜は先端が赤く，その他は白みがかった透明．背鰭軟条部鰭条は赤色．鰭膜は透明．胸鰭は一様に薄い赤色．腹鰭は白色．臀鰭前縁は白色，残りの鰭条は薄い赤色，鰭膜は透明．尾鰭は赤色．虹彩は赤色で，瞳孔は黒色．

分布　本種はインド・太平洋に広く分布する（Randall, 1998；林，2013）．日本国内では，小笠原諸島，大隅諸島（硫黄島，種子島，屋久島），トカラ列島（小宝島），奄美群島（奄美大島，喜界島，沖永良部島，与論島），沖縄諸島（沖縄島，伊江島），宮古諸島（宮古島），および八重山諸島

（石垣島，西表島）から記録されている（Shimizu and Yamakawa, 1979；Senou et al., 2006, 2007；Motomura et al., 2010； 林，2013； 西 山，2013, 2014；本研究）.

備考　本種は鼻骨後部に小棘がないことと涙骨上縁に水平に突出する小棘がないことからサクラエビスと酷似するが，前者は前鰓蓋骨隅角部の棘長が眼径の 1/2 である（後者は 2/3）ことから識別される.

Sargocentron rubrum (Forsskål, 1775)

アヤメエビス　(Figs. 4E, 6; Tables 5–6, 8–9)

標本　50 個体（体長 26.1–219.1 mm）：KAUM–I. 36348, 体長 66.9 mm，鹿児島県　沖永良部島（27°22′N, 128°34′E）；KAUM–I. 54275，体長 177.1 mm，鹿児島県西之表市花里浜海岸　種子島（30°44′45″N, 130°59′44″E），水深 5 m，2013 年 5 月 1 日，刺網，高山真由美；KAUM–I. 56346，体長 136.1 mm，鹿児島県西西之表市之表港沖　種子島（30°43′50″N, 130°59′13″E），水深 4 m，2013 年 9 月 19 日，釣り，松沼瑞樹；KAUM–I. 58667，体長 137.3 mm，鹿児島県熊毛郡中種子町浜津脇港　種子島（30°36′03″N, 130°56′50″E），2014 年 1 月 25 日，釣り，鏑木紘一；KAUM–I. 61896，体長 150.1 mm，鹿児島県西之表市西之表港　種子島（30°43′55″N, 130°59′00″E），水深 2 m，2014 年 6 月 10 日，釣り，小枝圭太・江口慶輔・藤原恭司；KAUM–I. 63685，体長 148.7 mm，KAUM–I. 63686，体長 174.4 mm，沖縄県うるま市平安座港　平安座島（26°20′15″N, 127°57′26″E），2014 年 6 月 5 日，堺　恭輔；KAUM–I. 65347，体長 219.1 mm，KAUM–I. 65348，体長 212.6 mm，鹿児島県熊毛郡中種子町浜津脇港南方　種子島（30°35′N, 130°56′E），2014 年 7 月 16 日，刺網，高山真由美；KAUM–I. 66357，体長 132.4 mm，鹿児島県熊毛郡中種子町牧川港沖　種子島（30°37′40″N, 130°56′53″E），水深 2–8 m，2014 年 9 月 19 日，タモ網，本村浩之・吉田朋弘・田代郷国；KAUM–I. 66878，体長 82.5 mm，沖縄県名護市名護湾　沖縄島（26°34′N, 127°56′E），2014 年 8 月 17 日，堺　恭輔；KAUM–I. 68051，体長 104.5 mm，KAUM–I. 68092，体長 105.7 mm，沖縄県　沖縄島，2010 年 8 月 19 日，釣り，小枝圭太；KAUM–I. 78721，体長 157.7 mm，鹿児島県西之表市花里浜海岸　種子島（30°44′45″N, 130°59′44″E），水深 8 m，2015 年 9 月 8 日，刺網，高山真由美；KAUM–I. 80247，体長 164.4 mm，鹿児島県西之表市洲之崎沖堤防下　種子島（30°44′08″N, 130°59′19″E），水深 12 m，2015 年 10 月 2 日，刺網，安栄丸；KAUM–I. 80415，体長 122.1 mm，鹿児島県西之表市大崎沖　種子島（30°39′N, 130°54′E），水深 25 m，2015 年 10 月 6 日，刺網，安栄丸；MUFS 12137，体長 137.1 mm，MUFS 12138，体長 158.9 mm，沖縄県八重山郡竹富町舟浮湾　西表島（24°19′N, 123°44′E），1996 年 5 月 11 日；MUFS 13031，体長 163.4 mm，MUFS 13035，体長 151.6 mm，沖縄県　西表島，1997 年 5 月；MUFS 15424，体長 151.2 mm，沖縄県八重山郡竹富町舟浮湾　西表島（24°19′N, 123°44′E），1998 年 5 月 13 日；URM-P 637，体長 164.3 mm，URM-P 643，体長 142.5 mm，沖縄県糸満市　沖縄島，1973 年 12 月；URM-P 1429，体長 145.6 mm，沖縄県　沖縄島，1960 年代；URM-P 5699（2 個体），体長 29.0–63.8 mm，沖縄県石垣市米原タイドプール　石垣島（24°27′N, 124°11′E），1982 年 9 月 4 日；URM-P 8243，体長 189.1 mm，URM-P 8244，体長 165.4 mm，沖縄県糸満市糸満漁業協同組合で水揚げ，1983 年 9 月 13 日；URM-P 21434，体長 137.7 mm，沖縄県八重山郡竹富町網取湾シュクバノ浜　西表島，水深 19 m，1989 年 8 月 26 日；URM-P 21925，体長 30.3 mm，沖縄県名護市汀間川河口　沖縄島，1982 年 8 月 20 日；URM-P 22057，体長 38.3 mm，沖縄県名護市汀間川　沖縄島，1982 年 8 月 20 日；URM-P 23953，体長 170.4 mm，沖縄県糸満市　沖縄島，1975–1980 年；URM-P 24775，体長 129.1 mm，沖縄県中城郡佐敷中城漁業協同組合中城支所で水揚げ，1990 年 11 月 7 日，追込網；URM-P 26411，体長 28.9 mm，沖縄県石垣市観音崎タイドプール　石垣島（24°21′N, 124°06′E），1991 年 8 月 26 日；URM-P 26545，体長 71.8 mm，URM-P 26546，体長 68.7 mm，URM-P 26547，体長 83.9 mm，沖縄県国頭郡本部町本部大橋下　沖縄島（26°39′N, 127°53′E），1981 年 10 月 13 日，釣り；URM-P 28246，体長 140.7 mm，沖縄県中頭郡中城村浜漁港　沖縄島（アミメウツボの胃内容物），1982 年 7 月 2 日，カニ刺網；URM-P 28615，体長 147.2 mm，沖縄県中頭郡中城村浜漁港　沖縄島，1992 年 10 月 5 日，カニ刺網；URM-P 30293，体長 129.8 mm，沖縄県宜野湾市大山海岸　沖縄島，1993 年 9 月 30 日；URM-P 32550，体長 111.1 mm，沖縄県沖縄市泡瀬　沖縄島，1994 年 9 月，釣り；URM-P 34120，体長 27.8 mm，沖縄県八重山郡竹富町与那田川の橋下　西表島（24°24′N, 123°46′E），1995 年 7 月 27 日；URM-P 34239，体長 26.8 mm，沖縄県八重山郡竹富町西田川の橋周辺　西表島（24°23′N, 123°49′E）；URM-P 34336，体長 114.4 mm，沖縄県石垣市美崎町離島桟橋　石垣島，1995 年 7 月 12 日，釣り；URM-P 34927，体長 45.0 mm，沖縄県宜野湾市真志喜沖縄コンベンションセンター前　沖縄島（26°16′N, 127°43′E），1995 年 12 月 21 日；URM-P 35425，体長 79.8 mm，沖縄県島尻郡与那原町板良敷　沖縄島，1996 年 4 月 19 日；URM-P 35763，体長 36.7 mm，沖縄県八重山郡竹富町西田川河口　西表島（24°23′N, 123°49′E），1996 年 7 月 16 日；URM-P 36010，体長 26.1 mm，沖縄県八重山郡竹富町野原崎　西表島（24°21′N, 123°56′E），1996 年 8 月 2 日；URM-P 36288，体長 29.2 mm，沖縄県八重山郡竹富町野原崎　西表島（24°21′N, 123°56′E），1996 年 8 月 14 日；URM-P 38823，体長 53.1 mm，沖縄県石垣市名蔵川河口　石垣島（24°24′N, 124°08′E），1997 年 11 月 18 日.

記載　背鰭鰭条数 XI, 12–15（最頻値 13）；臀鰭鰭条数 IV, 8–11 (9)；胸鰭軟条数 12–15 (14)；側線有孔鱗数 31–36 (34)；側線上方横列鱗数 2.5；鰓耙数 5–8 (6) + 10–13 (11) = 15–19 (18).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 30.3–45.7；体幅 18.5–21.8；頭長 32.7–54.7；吻長 4.1–11.0；眼径 10.9–16.2；両眼間隔 5.8–8.8；上顎長 11.9–20.6；前鰓蓋骨隅角部棘長 4.4–10.5；尾柄高 9.8–10.4；尾柄長 11.7–16.5；背鰭前長 34.7–38.4；臀鰭前長 75.8–79.7；腹鰭前長 36.1–43.7；背鰭第 1 棘条長 10.8–19.8；背鰭第 2 棘条長 13.9–20.4；背鰭最長棘条長 17.9–27.1；背鰭第 11

棘条長 3.9–9.2；背鰭最長軟条長 17.9–27.1；臀鰭第 1 棘条長 1.1–2.6；臀鰭第 2 棘条長 5.3–6.9；臀鰭第 3 棘条長 18.3–30.2；臀鰭第 4 棘条長 12.2–17.5；臀鰭最長軟条長 18.5–24.3；尾鰭長 28.3–31.0；胸鰭長 23.9–26.9；腹鰭棘条長 18.6–21.1；腹鰭軟条長 24.9–29.3.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 30.3–45.7% と低く，背鰭第 3 棘起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端より突出しない．口裂は大きく，上顎後端は瞳孔の中央付近に位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在しない．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 32.3–51.2%．主鰓蓋骨棘は 2 つ．鰓耙は短く，先端は丸い．両端の鰓耙はコブ状．胸鰭起部は腹鰭起部，および背鰭起部の前方に位置し，胸鰭後端は背鰭第 7 棘条起部直下に達する．腹鰭起部は胸鰭第 2 軟条起部直下に位置し，後端は背鰭第 8 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 11 棘と第 1 軟条間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 11 棘条直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 73.1–87.7%. 尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体は赤褐色．体腹側に向かうにつれて色合いが薄くなり，赤みがかった白色になる．体側に 5–8 本の褐色帯がはいる．眼前端から前鰓蓋骨までに白色帯がはいる．背鰭棘は赤褐色，背鰭棘部の鰭膜は赤褐色，棘周辺に白色域がはいる，背鰭第 1–3 軟条鰭条は赤褐色，残りは黄褐色．鰭膜は黄色みがかった透明．胸鰭は一様に赤褐色．腹鰭前縁は白色，残りは暗赤色，縁辺に向かうにつれて色合いが濃くなる．臀鰭前縁は白色，第 3 棘から第 1 軟条は暗赤色，残りは褐色．尾鰭上端と下端は暗赤色，残りは黄褐色．虹彩は赤色で，瞳孔は黒色．

分布　本種は紅海を含むインド・西太平洋に分布する（Randall, 1998；林，2013）．日本国内では，三宅島，神奈川県葉山，静岡県下田，和歌山県串本，高知県新港・以布利・足摺半島，愛媛県愛南，鹿児島県野間池・佐多・内ノ浦，大隅諸島（種子島），奄美群島（奄美大島，沖永良部島，与論島），沖縄諸島（沖縄島，伊江島，平安座島），宮古諸島（宮古島），および八重山諸島（石垣島，西表島）から記録されている（Shimizu and Yamakawa, 1979；泉見，1993；平田ほか，2001；Senou et al., 2006, 2007；林，2013）．本研究では，新たに大隅諸島種子島産の標本が確認された．

備考　本種は鼻骨後部に小棘がないことと涙骨上縁に水平に突出する 1 小棘があることからクロオビエビスと酷似するが，頬の鱗列数が 5（後者は 4）であることと体背側面に 1–2 本（後者は 4–5 本）の暗赤色縦帯があることから識別される．

Sargocentron spiniferum (Forsskål, 1775)

トガリエビス　(Figs. 4F, 6; Tables 5–6, 8–9)

標本　13 個体（体長 108.7–331.9 mm）：KAUM–I. 54676，体長 331.9 mm，鹿児島県トカラ列島沖（29°34′N, 129°38′E；鹿児島市中央卸売市場魚類市場で購入），水深 100 m 以浅，2013 年 6 月 10 日，釣り，松沼瑞樹；KAUM–I. 56616，体長 119.8 mm，鹿児島県西之表市浦田沖　種子島（30°49′36″N, 131°02′11″E），水深 4–8 m，2013 年 9 月 20 日，タモ網，千葉　悟・吉田朋弘・山下真弘・田代郷国・福井美乃；KAUM–I. 65918，体長 276.0 mm，鹿児島県大島郡天城町与名間漁港沖　徳之島（27°53′09″N, 128°53′29″E），2014 年 9 月 30 日，モリ，小枝圭太；KAUM–I. 66879，体長 143.5 mm，沖縄県中頭郡読谷村残波岬　沖縄島（26°26′08″N, 127°42′45″E），2014 年 6 月 7 日，堺　恭輔；URM-P 18663，体長 140.0 mm，沖縄県中頭郡残波から読谷村の間　沖縄島，1986 年 12 月；URM-P 23962，体長 158.7 mm，URM-P 24106，体長 223.0 mm，沖縄県国頭郡恩納村　沖縄島，1990 年 4–6 月；URM-P 30531，体長 120.4 mm，沖縄県沖縄市泡瀬埋立地　沖縄島，1993 年 10 月 10 日，釣り；URM-P 31955，体長 174.0 mm，八重山諸島（沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ），1994 年 6 月 11 日；URM-P 35073，体長 223.4 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1996 年 1 月 19 日；URM-P 37606，体長 186.5 mm，沖縄県中頭郡中城村浜漁港　沖縄島，1997 年 1 月 27 日；URM-P 39568，体長 108.7 mm，沖縄県中頭郡熱田漁港　沖縄島（26°17′N, 127°48′E），1998 年 9 月，釣り；YCM-P 36364，体長 265.8 mm，鹿児島県　奄美大島．

記載　背鰭鰭条数 XI, 15–16（最頻値 16）；臀鰭鰭条数 IV, 10–11 (11)；胸鰭軟条数 14–15 (15)；

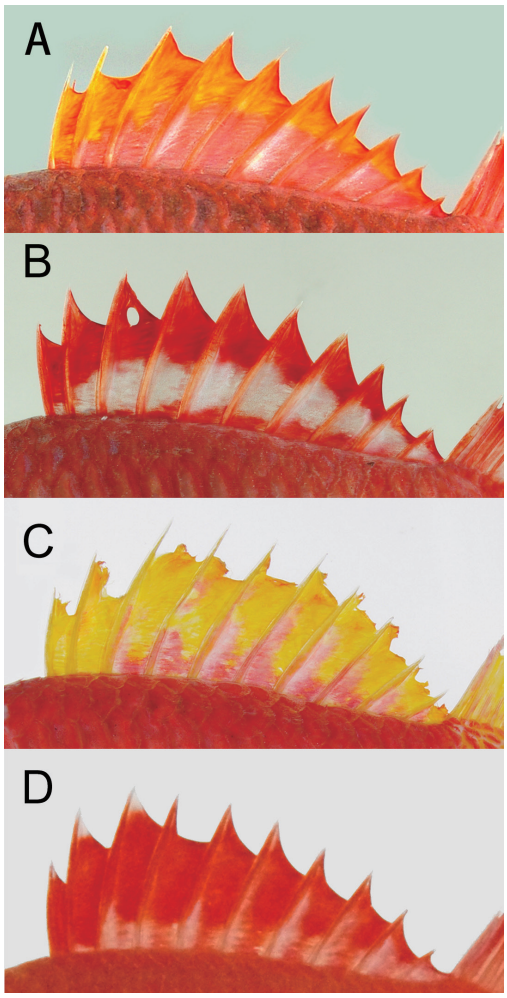

Fig. 7. Four color patterns of membranes in spinous portion of dorsal fin in species of *Myripristis*. A, *M. berndti*, KAUM–I. 7865, Okinawa-jima island; B, *M. greenfieldi*, KAUM–I. 63194, Kuchino-shima island; C, *M. chryseres*, KAUM–I. 53889, Amami-oshima island; D, *M. vittata*, KAUM–I. 41822, Yaku-shima island.

側線有孔鱗数 40–46 (43)；側線上方横列鱗数 3.5；鰓耙数 6–7 (6) + 10–13 (13) = 16–20 (19).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 37.5–45.2；体幅 16.7–19.7；頭長 34.4–37.9；吻長 8.5–13.4；眼径 7.4–11.4；両眼間隔 4.4–5.4；上顎長 12.1–14.0；前鰓蓋骨隅角部棘長 6.9–11.3；尾柄高 10.0–15.0；尾柄長 9.9–13.9；背鰭前長 37.3–38.3；臀鰭前長 71.5–79.7；腹鰭前長 40.8–41.5；背鰭第 1 棘条長 9.0–13.2；背鰭第 2 棘条長 13.9–18.4；背鰭最長棘条長 16.8–20.4；背鰭第 11 棘条長 2.8–5.7；背鰭最長軟条長 19.3–22.0；臀鰭第 1 棘条長 1.4–1.7；臀鰭第 2 棘条長 4.6–4.8；臀鰭第 3 棘条長 16.1–23.6；臀鰭第 4 棘条長 10.6–17.2；臀鰭最長軟条長 19.0–22.6；尾鰭長 26.6–28.4；胸鰭長 23.2–25.2；腹鰭棘条長 13.7–16.9；腹鰭軟条長 21.6–26.0.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 37.5–45.2% と高く，背鰭第 3 棘起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端より前方に突出する．口裂は小さく，上顎後端は瞳孔の前縁付近に位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在しない．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 21.4–31.2%．主鰓蓋骨棘は 2 つ．鰓耙は短く，先端は丸い．両端の鰓耙はコブ状．胸鰭起部は腹鰭起部直上，および背鰭起部直下に位置し，胸鰭後端は背鰭第 8 棘条起部直下に達する．腹鰭起部は胸鰭第 2 軟条起部直下に位置し，後端は背鰭第 9 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 11 棘と第 1 軟条間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 11 棘条直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 65.7–79.7%．尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体は赤色．背鰭棘部は赤色．背鰭第 1–2 軟条鰭条は赤色，残りは黄褐色．胸鰭は一様に黄色みがかった赤色．腹鰭前縁は赤色，残りは黄褐色．臀鰭前縁は赤色，軟条部は黄褐色．尾鰭は赤色，後縁は黄色．虹彩は赤色で，瞳孔は黒色．

分布　本種はインド・太平洋に広く分布する（Randall, 1998；林，2013）．日本国内では，八丈島，小笠原諸島，和歌山県白浜，大隅諸島（種子島，屋久島），トカラ列島，奄美群島（奄美大島，徳之島），沖縄諸島（沖縄島），慶良間諸島，宮古諸

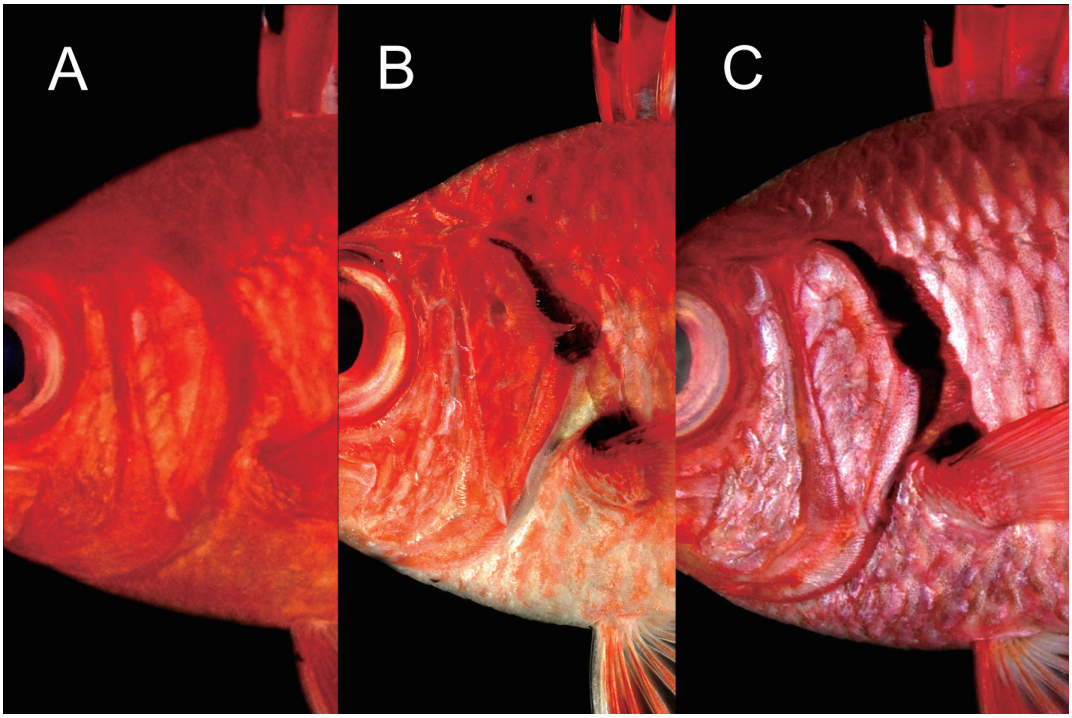

Fig. 8. Three color patterns of a blackish band on the opercular membrane in species of *Myripristis*. A, *M. vittata*, KAUM–I. 41822, Yakushima island; B, *M. greenfieldi*, KAUM–I. 63194, Kuchino-shima island; C, *M. kochiensis*, KAUM–I. 44000, Tanega-shima island.

島（宮古島），および八重山諸島（石垣島，西表島，与那国島）から記録されている（Shimizu and Yamakawa, 1979；清水，1997；宇都宮，2006；Senou et al., 2007；Motomura et al., 2010；　林，2013；本研究）．

備考　本種は背鰭基底中央部側線上方横列鱗数が3.5であることからハナエビスと酷似するが，前者は後鼻孔の縁辺に小棘がないこと（後者ではある），主鰓蓋骨棘が2本であること（1本），および背鰭棘の鰭膜に切れ込みがあること（ない）からハナエビスと識別される．本種はイットウダイ属魚類の中で最大種である．

Sargocentron spinosissimum (Temminck and Schlegel, 1843)

イットウダイ　(Fig. 6; Tables 5–6, 8–9)

標本　1個体（体長161.2 mm）：URM-P 37600，体長161.2 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1997年1月22日．

記載　背鰭鰭条数 XI, 13；臀鰭鰭条数 IV, 9；胸鰭軟条数 14；側線有孔鱗数 35；側線上方横列鱗数 2.5；鰓耙数 7+ 11 = 18．

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 40.2；頭長 40.0；吻長 11.1；眼径 14.4；両眼間隔 8.3；上顎長 15.2；前鰓蓋骨隅角部棘長 6.8；背鰭第1棘条長 14.0；背鰭最長棘条長 19.9；背鰭第11棘条長 5.3；臀鰭第3棘条長 22.6；臀鰭第4棘条長 14.1．

分布　本種は北西太平洋とハワイ諸島に分布する（Randall, 1998；冨山・岸本，2013）．日本国内では，神津島，小笠原諸島，五島列島，相模湾から鹿児島県本土の太平洋沿岸，沖縄諸島（沖縄島）から記録されている（Shimizu and Yamakawa, 1979；平田ほか，2001；林，2013；冨山・岸本，2013；本研究）．

備考　本調査標本はオキナワクルマダイとカイエビスとともに漁獲されたことから，琉球列島では水深 100–200 m の深海域に生息すると考えられる．本州太平洋側では水深 10–45 m ほどの浅海域に生息している（清水，1997；平田ほか，2001；加藤，2014；池田・中坊，2015）．

Sargocentron tiere (Cuvier, 1829)

アオスジエビス　(Figs. 4G, 6; Tables 5–6, 8–9)

標本　6 個体（体長 175.8–250.2 mm）：KAUM–I. 41048，体長 234.0 mm，KAUM–I. 41049，体長 200.6 mm，鹿児島県大島郡与論島沖（与論島の茶花漁港で購入），2011 年 8 月 23 日，釣り，KAUM 魚類チーム；KAUM–I. 50957，体長 250.2 mm，鹿児島県西之表市伊関沖　種子島（30°47′N, 131°05′E），2012 年 12 月 26 日，刺網，高山真由美；KAUM–I. 63683，体長 203.5 mm，沖縄県うるま市平安座港　平安座島（26°20′15″N, 127°57′26″E），2014 年 6 月 5 日，堺　恭輔；KAUM–I. 78372，体長 175.8 mm，沖縄県八重山郡与那国町久部良漁港　与那国島（24°27′10″N, 122°56′12″E），水深 3–5 m，2015 年 9 月 18 日，西岡洋平；MUFS 15935，体長 214.6 mm，沖縄県国頭郡伊江村　伊江島，1998 年 7 月 7 日．

記載　背鰭鰭条数 XI, 14–15（最頻値 14）；臀鰭鰭条数 IV, 9；胸鰭軟条数 14；側線有孔鱗数 45–48 (48)；側線上方横列鱗数 2.5；鰓耙数 6–8 + 13–15 (14) = 20–23 (21).

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 43.0–43.2；体幅 16.1–17.4；頭長 32.9–36.6；吻長 8.8–9.2；眼径 9.9–10.2；両眼間隔 6.5–6.9；上顎長 14.7–16.0；前鰓蓋骨隅角部棘長 7.2–9.4；尾柄高 9.4–10.0；尾柄長 12.9–14.3；背鰭前長 34.8–36.5；臀鰭前長 73.7–77.1；腹鰭前長 39.6–41.8；背鰭第 1 棘条長 7.6–9.4；背鰭第 2 棘条長 10.0–11.1；背鰭最長棘条長 11.9–12.5；背鰭第 11 棘条長 5.6–6.1；背鰭最長軟条長 18.9–21.9；臀鰭第 1 棘条長 1.3–1.7；臀鰭第 2 棘条長 3.8–4.7；臀鰭第 3 棘条長 18.3–19.1；臀鰭第 4 棘条長 14.3–15.0；臀鰭最長軟条長 18.6–22.2；尾鰭長 32.1–32.5；胸鰭長 22.9–24.4；腹鰭棘条長 14.4–14.8；腹鰭軟条長 21.9–23.6.

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 43.0–43.2% と高く，背鰭起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端より突出しない．口裂は大きく，上顎後端は瞳孔の中央付近に位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在する．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 27.9–30.0%．主鰓蓋骨棘は 2 つ．鰓耙は短く，先端は丸い．両端の鰓耙はコブ状．胸鰭起部は腹鰭起部前方，および背鰭起部直下に位置し，胸鰭後端は背鰭第 8 棘条起部直下に達する．腹鰭起部は胸鰭第 1 軟条起部直下に位置し，後端は背鰭第 8 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 11 棘と第 1 軟条間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 1 軟条直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 35.9–39.7%. 尾鰭は深く湾入し, 二叉型. 体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　体は赤色．腹側に向かうにつれて色合いが薄くなり，白みがかった赤色になる．背鰭棘は赤色，背鰭棘部鰭膜は先端が白く，鰭膜中央は白みがかる．背鰭軟条部は赤色．胸鰭は一様に赤色．腹鰭前縁は白色，残りは赤色．臀鰭前縁は白色，残りは赤色．尾鰭は赤色．虹彩は赤色で，瞳孔は黒色．

分布　本種は紅海とイースター島を除くインド・太平洋に広く分布する（Randall, 1998；林，2013）．日本国内では，小笠原諸島，大隅諸島（種子島），奄美群島（奄美大島，与論島），沖縄諸島（沖縄島，伊江島，平安座島），慶良間諸島（久米島），宮古諸島（宮古島），および八重山諸島（石垣島，西表島，与那国島）から記録されている（Shimizu and Yamakawa, 1979；小川，1996；清水，1997；Senou et al., 2007；林，2013；西山，2014；本研究）．

備考　本種は側線有孔鱗数が 46–52 であること，背鰭棘条部に黒斑がないこと，および前鰓蓋骨隅角部の棘が眼径とほぼ同長であることから同属他種と識別される．生鮮時，体側に 3 本の青い

線があるが，死亡するとすぐに消失する（西山，2014）．

Sargocentron violaceum (Bleeker, 1853)
スミレエビス　(Figs. 4H, 6; Tables 5–6, 8–9)

標本　2 個体（体長 208.9–209.4 mm）：URM-P 33535，体長 209.4 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1994 年 12 月 26 日；URM-P 35074，体長 208.9 mm，沖縄県漁業協同組合連合会で水揚げ，1996 年 1 月 19 日．

記載　背鰭鰭条数 XI, 15；臀鰭鰭条数 IV, 10；胸鰭軟条数 14；側線有孔鱗数 35–36；側線上方横列鱗数 2.5；鰓耙数 6–7 + 11–12 = 17–19．

体各部測定値の標準体長に対する割合（%）：体高 43.0；体幅 19.1；頭長 35.9–36.0；吻長 8.6–9.1；眼径 9.4–9.7；両眼間隔 6.6–6.8；上顎長 12.5–13.0；前鰓蓋骨隅角部棘長 10.9–12.8；尾柄高 10.0；尾柄長 13.5；背鰭前長 36.3；臀鰭前長 80.1；腹鰭前長 43.1；背鰭第 1 棘条長 8.5–9.9；背鰭第 2 棘条長 11.2；背鰭最長棘条長 14.8–15.1；背鰭第 11 棘条長 5.8–7.8；背鰭最長軟条長 21.9；臀鰭第 1 棘条長 1.6；臀鰭第 2 棘条長 4.6；臀鰭第 3 棘条長 17.0–19.5；臀鰭第 4 棘条長 13.0–14.7；臀鰭最長軟条長 20.9；尾鰭長 27.9；胸鰭長 27.7；腹鰭棘条長 16.5；腹鰭軟条長 26.0．

体は卵型で，側扁し，腹部は丸みを帯び，尾柄は強く側偏する．体高は体長の 43.0% と低く，背鰭第 2 棘起部で最大になる．眼隔域には 2 本の隆起線がある．下顎先端は上顎先端より突出しない．口裂は大きく，上顎後端は瞳孔の後縁付近に位置する．両鼻孔は 1 対で眼の前方に位置し，背腹方向に細長いスリット状．鼻孔に小棘が存在しない．眼窩，眼，および瞳孔はそれぞれ円形．眼径は頭長の 26.2–27.1%．主鰓蓋骨棘は 2 つ．鰓耙は短く，先端は丸い．両端の鰓耙はコブ状．胸鰭起部は腹鰭起部前方，および背鰭起部直下に位置し，胸鰭後端は背鰭第 7 棘条起部直下に達する．腹鰭起部は胸鰭第 2 軟条起部直下に位置し，後端は背鰭第 8 棘条起部に位置するが，総排泄孔には達しない．左右の腹鰭は近接する．背鰭起部は鰓蓋上端より後方に位置する．背鰭は背鰭第 11 棘と第 1 軟条間が最も低くなる．背鰭軟条部は臀鰭直上に位置し，第 1 軟条のみ不分枝で．残りは分枝する．総排泄孔は臀鰭起部直前に開孔する．臀鰭起部は胸鰭よりも後方，背鰭第 1 軟条直下に位置する．尾柄は細く，尾柄高は尾柄長の 74.2%．尾鰭は深く湾入し，二叉型．体側鱗は固く，はがれにくい．体側各鱗の後縁部に小棘が存在する．

色彩　固定後は体が褐色で，側線上方の鱗中央付近は黒色，頭部と側線下方の鱗中央付近は薄い暗色．鰓蓋棘上方の鰓蓋膜は黒色．各鰭は褐色．虹彩は青みがかった黒色．瞳孔は黒色．

分布　本種はインド・西太平洋に広く分布する（Randall, 1998；林，2013）．日本国内では，沖縄諸島（沖縄島，伊江島）と八重山諸島（石垣島）から記録されている（Senou et al., 2006；林，2013；本研究）．

備考　本種は後鼻孔に 1 本以上の小棘があることと涙骨上縁が平滑であることからスミツキカノコと類似するが，上顎先端が下顎より前に突出しないこと（後者では突出する）と体は全体に暗色で，顕著な黒斑がないこと（背鰭と臀鰭の軟条部基底付近と尾柄中央に黒斑がある）から識別される．本種は沖縄諸島以南からのみ報告されている．本研究では新たに沖縄島からの標本が確認された．

まとめ

本研究によって，アカマツカサ属のアカマツカサ *M. berndti* とマルマツカサ *M. hexagona*，ウケグチイットウダイ属のホソエビス *N. argenteus*，およびイットウダイ属のバラエビス *S. dorsomaculatum* とアオスジエビス *S. tiere* の 3 属 5 種の日本における分布の北限が更新された．またアカマツカサ属のナミマツカサ *M. kochiensis* は従来の南限であった鹿児島県大隅半島内之浦から約 600 km 南方の沖縄島まで分布の南限を更新した．

これまでに日本から記録されているイットウダイ科 6 属 40 種のうち，本研究ではアカマツカサ属のアメマツカサ *M. amaena* (Castelnau, 1873) とミナミマツカサ *M. woodsi* Greenfield 1968，エビスダイ属のオキエビス *O. archiepiscopus*

Table 1. Frequency distributions of dorsal- and anal-fin soft ray counts in Myripristinae in the Ryukyu Islands, Japan.

		Dorsal-fin soft rays							Anal-fin soft rays						
	n	13	14	15	16	17	18	*n*	10	11	12	13	14	15	16
Genus *Myripristis*															
M. adusta	3	1			2			3					3		
M. berndti	87	3	65	19				87		1	64	22			
M. botche	10		5	4	1			10			4	5	1		
M. chryseres	17		6	11				17			7	10			
M. greenfieldi	18	2	8	8				18		1	12	5			
M. hexagona	11	2	7	2				11			7	4			
M. kochiensis	30	1	20	8	1			30			20	10			
M. kuntee	41			3	20	18		41					3	32	6
M. murdjan	54	6	36	11	1			54		2	31	19	2		
M. pralinia	24		2	3	9	9	1	24				2	3	18	1
M. robusta	1		1					1			1				
M. violacea	36	1	10	17	7	1		36			4	20	12		
M. vittata	5	1	3	1				5		1	4				
Genus *Ostichthys*															
O. hypsipterygion	3	3						3	1	2					
O. japonicus	8	6	2					8		5	3				
O. kaianus	9	6	2	1				9		6	3				
Genus *Plectrypops*															
P. lima	14		3	4	7			14		9	5				

Table 2. Frequency distribution of pored lateral-line scale counts in Myripristinae in the Ryukyu Islands, Japan.

		Pored lateral-line scales																
	n	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42
Genus *Myripristis*																		
M. adusta	3		1	2														
M. berndti	87		6	43	31	7												
M. botche	10	1	2	7														
M. chryseres	16							2	9	4	1							
M. greenfieldi	18		2	9	5	2												
M. hexagona	11		4	7														
M. kochiensis	30		7	18	3	1				1								
M. kuntee	41											4	7	11	8	9	1	1
M. murdjan	52		6	34	11	1												
M. pralinia	24									1	1	4	3	9	2	3	1	
M. robusta	1			1														
M. violacea	36	2	18	12	4													
M. vittata	5										1	2	1	1				
Genus *Ostichthys*																		
O. hypsipterygion	2		1	1														
O. japonicus	8			3	5													
O. kaianus	9	1	1	6	1													
Genus *Plectrypops*																		
P. lima	12							1		1			4	2	2	1	1	

Table 3. Frequency distributions of gill-raker counts in *Myripristis* in the Ryukyu Islands, Japan.

		Upper gill rakers									Lower gill rekers												
	n	10	11	12	13	14	15	16	17	*n*	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
M. adusta	3			2	1					3				1	1		1						
M. berndti	87	1	11	39	19	15	2	1		87				8	7	19	27	17	8	1			
M. botche	10		3	3	3		1			10			1		3	5			1				
M. chryseres	16			2	9	5				16				1	2	8	3	2					
M. greenfieldi	16					1	9	4	2	18					1			1		3	8	3	2
M. hexagona	11				3	4	2	2		11					1	1	1		1	2	5		
M. kochiensis	30	2	16	10	1	1				30			5	5	10	8	1	1					
M. kuntee	41	2	8	16	10	5				41	1			4	7	6	16	5	2				
M. murdjan	54	1	4	25	19	5				54				3	5	7	18	9	10	2			
M. pralinia	24	2	5	9	5	2	1			24			1	2	1	5	8	4	3				
M. robusta	1		1							1			1										
M. violacea	36	1	1	8	14	8	4			35					1		1	9	11	6	5	2	
M. vittata	5		1	3		1				5					2	1	2						

	Total gill rakers																	
	n	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46
M. adusta	3			1	1			1								
M. berndti	87	1		8	7	13	18	15	14	8	1	1	1			
M. botche	10	1			3	3	1	1		1						
M. chryseres	16					3	7	4	1	1						
M. greenfieldi	16							1				1	1	3	6	4
M. hexagona	11					1	1	1				2	3	2	1	
M. kochiensis	30	4	6	5	11	2		1		1						
M. kuntee	41	1	1	5	5	6	10	8	4	1						
M. murdjan	54		1	3	3	6	13	12	6	7	3					
M. pralinia	24	1	1	3	1	2	5	7	1	3						
M. robusta	1	1														
M. violacea	35		1				1	3	6	7	7	6	3	1		
M. vittata	5				2	1	1	1								

Table 4. Frequency distributions of gill-raker counts in *Ostichthys* and *Plectrypops* in the Ryukyu Islands, Japan.

		Upper gill rakers					Lower gill rekers						
	n	7	8	9	10	*n*	11	12	13	14	15	16	17
Genus *Ostichthys*													
O. hypsipterygion	3		3			3			2	1			
O. japonicas	8	3	4	1		8	1	1	6				
O. kaianus	9		4	5		9		1	2	5	1		
Genus *Plectrypops*													
P. lima	13		8	4	1	13		2	3	5	1	1	1

	Total gill rakers						
	n	19	20	21	22	23	24	25
Genus *Ostichthys*								
O. hypsipterygion	3			2	1			
O. japonicus	8	1	3	4				
O. kaianus	9		1	2	1	4	1	
Genus *Plectrypops*								
P. lima	13		1	2	5	2	2	1

Table 5. Frequency distributions of dorsal- and anal-fin soft ray counts in Sargocentronae in the Ryukyu Islands, Japan.

		Dorsal-fin soft rays							Anal-fin soft rays				
	n	11	12	13	14	15	16	*n*	7	8	9	10	11
Genus *Neoniphon*													
N. argenteus	6	2	1	3				6	2	4			
N. aurolineatus	2		1	1				2		1	1		
N. opercularis	7			3	4			7		1	6		
N. sammara	23	4	16	3				23	5	15	3		
Genus *Sargocentron*													
S. caudimaculatum	11				6	5		11			8	3	
S. diadema	39		5	25	8	1		39		3	34	2	
S. dorsomaculatum	1			1				1			1		
S. ensiferum	9			1	3	5		9			3	4	2
S. ittodai	210	1	24	142	42	1		210		24	162	22	2
S. melanospilos	14		2	9	3			14		1	10	3	
S. praslin	28		3	16	9			28			18	10	
S. punctatissimum	63		11	50	1	1		63		11	51	1	
S. rubrum	50		1	23	22	2		50		1	28	20	1
S. spiniferum	13					3	10	13				4	9
S. spinosissimum	1			1				1			1		
S. tiere	6				5	1		6			6		
S. violaceum	2					2		2				2	

Table 6. Frequency distribution of pored lateral-line scale counts in Sargocentronae in the Ryukyu Islands, Japan.

		Pored lateral-line scales																				
	n	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
Genus *Neoniphon*																						
N. argenteus	6								1	1	2	1	1									
N. aurolineatus	2													1				1				
N. opercularis	7									5	1	1										
N. sammara	23								3	5	3	7	3	1	1							
Genus *Sargocentron*																						
S. caudimaculatum	11								2		3	3	3									
S. diadema	39																8	11	14	4	2	
S. dorsomaculatum	1	1																				
S. ensiferum	9													1	5	1	2					
S. ittodai	208														2	5	36	56	68	26	13	2
S. melanospilos	14				4	7	3															
S. praslin	28		1	1	11	10	4	1														
S. punctatissimum	61										1	6	10	14	20	7	2	1				
S. rubrum	50		2	4	7	21	15	1														
S. spiniferum	13											2			6	2	2	1				
S. spinosissimum	1						1															
S. tiere	6																1	2		3		
S. violaceum	2						1	1														

Table 7. Frequency distributions of gill-raker counts in *Neoniphon* in the Ryukyu Islands, Japan.

		Upper gill rakers					Lower gill rakers					Total gill rakers				
	n	5	6	7	8	*n*	9	10	11	12	*n*	15	16	17	18	19
N. argenteus	6	2	3	1		6		2	2	2	6		2	3	1	
N. aurolineatus	2		2			2			2		2			2		
N. opercularis	7		4	3		7	1		4	2	7	1		1	5	
N. sammara	23	1	9	12	1	23	2	7	10	4	23	2	5	5	7	4

Table 8. Frequency distributions of gill-raker counts in *Sargocentron* in the Ryukyu Islands, Japan.

		Upper gill rakers						Lower gill rakers							
	n	4	5	6	7	8	*n*	8	9	10	11	12	13	14	15
S. caudimaculatum	11			6	3	2	10			1		5	4		
S. diadema	39		3	32	4		39			1	1	4	22	10	1
S. dorsomaculatum	1			1			1		1						
S. ensiferum	9		1	1	7		9					4	2	3	
S. ittodai	208	1	27	169	11		209				1	26	108	67	7
S. melanospilos	14			7	7		14		1	2	6	5			
S. praslin	28		5	17	6		28	1	2	11	14				
S. punctatissimum	61		8	41	12		62	1		9	19	28	5		
S. rubrum	50		3	32	13	2	49			12	27	9	1		
S. spiniferum	13			8	5		13			1	1	5	6		
S. spinosissimum	1				1		1				1				
S. tiere	6			2	2	2	6						1	4	1
S. violaceum	2			1	1		2				1	1			

		Total gill rakers										
	n	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
S. caudimaculatum	10				1		2	4	2	1		
S. diadema	39				1	1	5	21	8	3		
S. dorsomaculatum	1			1								
S. ensiferum	9					1		3	3	2		
S. ittodai	208					3	39	97	61	6	2	
S. melanospilos	14			1	1	4	5	3				
S. praslin	28	1		3	9	13	2					
S. punctatissimum	61		1	2	7	19	20	12				
S. rubrum	49			1	10	17	18	3				
S. spiniferum	13				1		3	8	1			
S. spinosissimum	1						1					
S. tiere	6								2	3		1
S. violaceum	2					1		1				

Table 9. Number of the holocentrid specimens collected from each locality in the Ryukyu Islands, Japan. Arabic and roman numbers indicate number of specimens examined in this study and literature records (see footnote below) respectively.

	Osumi Is.	Tokara Is.	Amami Is.	Okinawa Is.	Kerama Is.	Miyako Is.	Yaeyama Is.
Genus *Myripristis*							
M. adusta				2			1
M. amaena				i, ii		iii	
M. berndti	9	2	15	54	1		3
M. botche	4	1		3		iii	2
M. chryseres	2		3	12			
M. greenfieldi	1	1	3	8			5
M. hexagona	1		4	6			i
M. kochiensis	24		4	2			
M. kuntee	13	4	4	10	iv	iii	10
M. murdjan	5	2	18	27			2
M. pralinia			12	11			1
M. robusta							1
M. violacea			5	27	iv	iii	4
M. vittata	3			2	iv	iii	i, iv
Genus *Neoniphon*							
N. argenteus				3			3
N. aurolineatus	1			1			v
N. opercularis	1		1	3			2
N. sammara	i		5	13	iv	iii	5
Genus *Ostichthys*							
O. archiepiscopus				I			
O. hypsipterygion				3			
O. japonicas	4	1	1				2
O. kaianus	2		1	5			1
Genus *Plectrypops*							
P. lima	1		3	10			
Genus *Sargocentron*							
S. caudimaculatum	3	2	1	2		iii	2
S. diadema	8		21	9	iv	iii	1
S. dorsomaculatum			i, vi	i, vi			iii, vi
S. ensiferum				9		i, vi	iii, iv, v, vi
S. ittodai	34	3	108	62	iii	1	2
S. melanospilos	6		vi	6	1	iii	1
S. praslin	17	1	6	2		iii	
S. punctatissimum	7	1	30	25		i, iii	i, vi
S. rubrum	10		1	23		i, iii, vi	16
S. spiniferum	1	1	2	8	i	i, iii, vi	1
S. spinosissimum				1			
S. tiere	1		2	2	i, v	i, iii	1
S. violaceum				2			i

i: Hayashi (2013); ii: Randall et al. (1982); iii: Senou et al. (2007); iv: Shimizu (1997); v: Tatsuma (1999); vi: Shimizu and Yamakawa (1979); vii: Ogawa (1996); viii: Senou et al. (2006).

Table 10. Selected diagnostic characters in species of *Myripristis* in th Ryukyu Islands, Japan. Data were based on specimens examined in this study.

	adusta	*berndti*	*botche*	*chryseres*	*greenfieldi*	*hexagona*	*kochiensis*	*kuntee*	*murdjan*	*pralinia*	*robusta*	*violacea*	*vittata*
Dorsal-fin soft rays	13–16	13–15	14–16	14–15	13–15	13–15	13–16	15–17	13–16	14–18	14	13–17	13–15
Anal-fin soft rays	14	11–13	12–14	12–13	12–13	12–13	12–13	14–16	11–14	13–16	12	12–14	11–12
Pored lateral-line scales	27–28	27–30	26–28	32–35	27–30	27–28	27–34	36–42	27–30	34–41	28	26–29	35–38
Upper gill rakers	12–13	10–16	11–15	12–14	14–17	13–16	10–14	10–14	10–14	10–15	11	10–15	11–14
Lower gill rakers	23–25	22–28	21–27	22–26	23–31	23–29	21–26	19–27	22–28	21–27	21	23–30	23–25
Tooth patches at tip of lower jaw	1 pair	1 pair	2 pairs	1 pair	1 pair	2 pairs	1 pair	1 pair	1 pair	1 pair	2 pair	1 pair	1 pair
Pectral-fin axil scales	absent	present*	absent	absent	absent	present	present	absent	present	absent	absent	present	absent
Coloration of dorsal body	reddish gray	red	red	red	red	pale pink	red	orange-red to red	red to dusky red	red	orange-red	reddish gray	red
Coloration of ventral body	dark silver	reddish silver	silver	red	reddish silver	reddish silver	reddish silver	reddish silver	reddish silver	reddish silver	reddish silver	reddish silver	red
Coloration of membranes in spinous dorsal fin**	black distally	yellow to orange distally	white basally, red distally	vivid yellow	white basally, red distally	pale red	red	yellow to orange distally	white basally, red distally	variable; red distally, white bassally	whitish red	white basally, red distally	red with white tip and base
Coloration of tip of soft-rayed dorsal fin	black	red	black	yellow	red	pale red	red	red	red	red	black	red	red
Blackish band on opercular membrane***	short	short	long	long	short	short	long	short	short	short	short	absent	absent

*No or only a few scales in the pectral-fin axil in specimens smaller than about 60 mm SL; **See Fig. 7; ***See Fig. 8.

(Valenciennes, 1862)，ヤセエビス属のヤセエビス *Pristilepis oligolepis* (Whitley, 1941)，およびイットウダイ属のヒメエビス *S. microstoma* (Günther, 1859) とサクラエビス *S. tiereoides* (Bleeker, 1853) の 4 属 6 種が琉球列島から確認されなかった．

アメマツカサは日本国内から小笠原諸島，沖縄島，および宮古島から記録されている（林，2013）．Senou et al. (2006, 2007) はそれぞれ沖縄諸島伊江島と宮古諸島からアメマツカサを水中写真に基づき報告したが，標本は得られていない．

ミナミマツカサは日本国内から小笠原諸島南鳥島からのみ記録されている（林，2013）．ミナミマツカサの国内における標本に基づく記録は Randall and Greenfield (1996) のみである．

オキエビスは日本国内から小笠原諸島，沖縄島，および九州九州－パラオ海嶺から記録されている（林，2013）．沖縄島からのオキエビスの記録は，Randall et al. (1982) が報告した那覇市の魚市場から得られた 1 標本（HUMZ 63048）に基づく．その後，琉球列島からは報告されておらず，本研究でも標本を調査することができなかった．

ヤセエビスは日本国内では伊豆大島，八丈島，小笠原諸島，相模湾，愛媛県愛南，および屋久島から記録されている（林，2013）．しかし，屋久島が分布域に含まれる根拠となる文献や標本はなく，誤記である可能性が高い．そのため，本種が琉球列島に出現する確かな記録はない．

ヒメエビスは日本国内では小笠原諸島，沖縄島，および西表島から記録されている（林，2013）．秋吉ほか（2003）は島根県島根半島，島根県東部の河川，中海，宍道湖，奄美大島，沖縄島，および西表島から得られたヒメエビスを含む硬骨魚類 46 種を用いて幽門垂の比較組織学的研究をおこなったが，使用された標本が上記 7 地点のうちどこから採取されたものかは明記されておらず，標本写真などもないため，同定が正確であるかも不明である．また，本種の沖縄島からの報告は Schmidt (1930) と Aoyagi (1941) に基づくが，標本は得られておらず，Shimizu and Yamakawa (1979) は本種の国内から得られた標本はないとした．ただし，沖縄県産のヒメエビスの水中写真が撮影されている（KPM-NR 39084）．西表島から得られたヒメエビスとされる標本写真（KPM-NR 54019）を再検討した結果，体側に明瞭な複数の赤色縦線がないこと（ヒメエビスでは 5 本の赤色縦線がある）と臀鰭第 3 棘が短いこと（長い）から，写真個体はヒメエビスではなくホシエビスである可能性が高い．したがって，現在のところヒメエビスの琉球列島産の標本は確認されていない．

サクラエビスは日本国内では沖縄島からのみ記録されている（Snyder, 1912；林，2013）．しかし Shimizu and Yamakawa (1979) は Snyder (1912) による本種の沖縄島からの記録に疑いがあるとし，本種の日本近海における確かな記録がないとした．

謝辞

本研究において適切な助言を頂いた，鹿児島大学水産学部の庄野　宏氏に謹んで感謝する．標本の入手および調査の際にご協力を頂いた高知大学の遠藤広光氏と内藤大河氏，国立科学博物館の中江雅典氏，横須賀市自然・人文博物館の林　公義氏と萩原清司氏，宮崎大学の岩槻幸雄氏と三木涼平氏，一般財団法人沖縄美ら島財団の宮本　圭氏，琉球大学の堺　恭輔氏，および田中水産の田中　積氏と鹿児島市中央卸売市場魚類市場の関係者の皆さまに厚くお礼申し上げる．標本の作製や登録などを手伝ってくださった，原口百合子氏，高山真由美氏をはじめとする鹿児島大学総合研究博物館ボランティアの皆さま，本原稿に対し適切な助言をくださった鹿児島大学総合研究博物館魚類分類学研究室の皆さまに厚く感謝の意を表する．本研究は鹿児島大学総合研究博物館の「鹿児島県産魚類の多様性調査プロジェクト」の一環として行われた．本研究の一部は JSPS 科研費（19770067, 23580259, 24370041, 26241027, 26450265），JSPS 研究拠点形成事業－アジア・アフリカ学術基盤形成型－「東南アジア沿岸生態系の研究教育ネットワーク」，総合地球環境学研究所「東南アジア沿岸域におけるエリアケイパビリティーの向上プロジェクト」, 国立科学博物館「日

本の生物多様性ホットスポットの構造に関する研究プロジェクト」，文部科学省特別経費－地域貢献機能の充実－「薩南諸島の生物多様性とその保全に関する教育研究拠点整備」，および鹿児島大学重点領域研究環境（生物多様性プロジェクト）学長裁量経費「奄美群島における生態系保全研究の推進」の援助を受けた．

引用文献

秋吉英夫・井上明日香・富室孝仁．2003．硬骨魚類における幽門垂の比較組織学的研究幽門垂の解剖学および組織学的構築と系統発生学的相関．島根大学生物資源科学部研究報告．8: 1–9.

Aoyagi, H. 1941. The solder–fishes, Holocentridae, found in the water of the Riu–Kiu Islands. zool. Mag. (Tokyo), 53 (9): 468–470.

新垣柴太郎・吉野哲夫．1984．沖縄釣魚図鑑　釣りと魚の百科．191 pp．新星図書出版，那覇．

具志堅宗弘，1972．原色沖縄の魚．247 pp．琉球水産協会，那覇．

林　公義．2013．イットウダイ科．Pp. 579–591, 1897–1899．中坊徹次（編），日本産魚類検索　全種の同定，第三版．東海大学出版会，秦野．

平田智法・山岡耕作・神田　優・平田しおり．2001．生態図鑑，pp. 42–111．中坊徹次・町田吉彦・山岡耕作・西田清徳（編），以布利　黒潮の魚．海遊館，大阪．

池田博美・中坊徹次．2015．南日本太平洋沿岸の魚類．東海大学出版部，秦野．597 pp.

岩槻幸雄・本村浩之・木村清志・吉野哲夫．2000．ユウヤケマツカサ（新称）*Myirpristis robusta* の日本からの初記録．魚類学雑誌，47 (2): 131–134.

岩槻幸雄・吉野哲夫・木村清志．1999．クロオビエビス（新称）*Sargocentron praslin* の日本からの記録．魚類学雑誌，46 (1): 51–55.

泉見　享．1993．おきなわ魚　おもしろ魚ハンドブック．238 pp．エポック，南風春．

加藤昌一．2014．ネイチャーウォッチングガイドブック　海水魚～ひと目で特徴が分かる図解付き～．383 pp．成文堂新光社．東京．

益田　一・ジェラルド R アレン. 1991. 世界の海水魚（太平洋・インド洋編》．527 pp．山と渓谷社，東京．

Masuda, H., K. Amaoka, C. Araga, T. Uyeno, and T. Yoshino. 1984. The fishes of the Japanese Archipelago. xxi + 437 pp. Tokai University Press, Tokyo.

三浦信男．2012．美ら海市場図鑑　知念市場の魚たち．140 pp．ウェーブ企画，与那原．

本村浩之．2009．魚類標本の作製と管理マニュアル．70 pp．鹿児島大学総合研究博物館，鹿児島．（http://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/dl.html）

Motomura, H., K. Kuriiwa, E. Kitayama, H. Senou, G. Ogihara, M. Meguro, M. Matsunuma, Y. Takata, T. Yoshida, M. Yamashita, S. Kimura, H. Endo, A. Murase, Y. Iwatsuki, Y. Sakurai, S. Harazaki, K. Hidaka, H. Izumi and K. Matsuura. 2010. Annotated checklist of marine and estuarine fishes of Yaku-shima Island, Kagoshima, southern Japan. Pp. 65–247 in Motomura, H. and K. Matsuura, eds. Fishes of Yakushima island — A World Heritage island in the Osumi Group, Kagoshima Prefecture, Southern Japan. National Museum of Nature and Science, Tokyo. (http://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/dl.html)

西山　肇．2013．イットウダイ科．Pp. 22–30．本村浩之・出羽慎一・古田和彦・松浦啓一（編），鹿児島県三島村 — 硫黄島と竹島の魚類．鹿児島大学総合研究博物館，鹿児島・国立科学博物館，つくば．（http://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/dl.html）

西山　肇．2014．イットウダイ科．Pp. 86–100．本村浩之・松浦啓一（編），奄美群島最南端の島 — 与論島の魚類．鹿児島大学総合研究博物館，鹿児島・国立科学博物館，つくば．（http://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/dl.html）

小川真司，1996．久米島の海．I. O. P. Diving News, 7 (8): 7.

Randall, J. E. 1998. Revision of the Indo-Pacific squirrelifishes (Beryciformes: Holocentridae: Holocentrinae) of the genus *Sargocentron*, with description of four new species. Indo-Pacific Fishes, (27): 1–105.

Randall, J. E. and D. W. Greenfield.1996. Revision of the Indo-Pacific holocentrid fishes of the genus *Myripristis*, with description of three new species. Indo-Pacific Fishes, (25): 1–61.

Randall, J. E., T. Shimizu and T. Yamakawa. 1982. A revision of the holocentrid fish genus *Ostichthys*, with descriptions of four new species and a related new genus. Japanese Journal of Ichthyology, 29 (1): 1–26.

Randall, J. E. and T. Yamakawa, 1996. Two new soldierfishes (Beryciformes: Holocentridae: *Myripristis*) from Japan. Japanese Journal of Ichthyology, 43 (3): 211–222.

Schmidt, P. J. 1930. Fishes of the Riu-Kiu Islands. Transactions of the Pacific Committee of the Academy of Sciences of the USSR, 1: 19–156, figs. 1–8, pls. 1–6.

Senou H., Y. Kobayashi and N. Kobayashi. 2007. Coastal fishes of the Miyako Group, the Ryukyu Islands, Japan. Bulletin of the Kanagawa Prefectural Museum (Natural Scinece), 36: 47–74.

Senou H., H. Kodato, T. Nomura and K. Yunokawa. 2006. Coastal fishes of the Ie-jima Island, the Ryukyu Islands, Okinawa, Japan. Bulletin of the Kanagawa Prefectural Museum (Natural Science), 35: 67–92.

清水　長．1984．イットウダイ科．Pp. 109–112, pl. 96-A–99-F．益田　一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫（編），日本産魚類大図鑑．東海大学出版会，東京．

清水　長．1997．イットウダイ科．Pp. 159–167．岡村　収・尼岡邦夫（編），日本の海水魚．山と渓谷社，東京．

Shimizu, T. and T. Yamakawa. 1979. Review of the squrirrelfishes (subfamily Holocentridae: order Beryciformes) of Japan, with a description of a new species. Japanese Journal of Ichthyology, 26 (2): 109–147.

Snyder, J. O. 1912. The fishes of Okinawa, one of the Riu Kiu Islands. Proceedings of the United States National Museum, 42 (1913) : 487–519, pls. 62–70.

高木基裕・平田智法・平田しおり・中田　親．2010．えひめ愛南お魚図鑑．249 pp．創風社出版，松山．

辰馬啓之．1999．与那国の海．I. O. P. Diving News, 10 (11): 7.

冨山晋一・岸本浩和．2013．駿河湾から記録されたイットウダイ科魚類 5 種．日本生物地理学会会報，68: 1–10.

宇都宮英之．2006．南の海の生き物さがし　琉球弧・奄美の海から．194 pp．南方新社，鹿児島．